

お施主様向け取扱説明書

玄関ドア・スライディングドア用電気錠 スマートコントロールキー AC100V式・電池式

《お願い》

YKK AP 商品を長く安全にお使いいただくために、
ご使用前によくお読みいただき、大切に保管ください。

販売店・工務店・建築会社の皆様へ
この取扱説明書は施工後、お施主様へ必ずお渡しください。

'23-3 月 発行

本書の読み方
もくじ

安全にお使い
いただくために

ご使用になる前に
スマートコントロールキー
の機能

ドア本体操作での
キーの登録・削除

ドア本体操作での
各種設定

スマートフォン専用アプリ
「スマートコントロールキー」
をインストールする

スマートフォンの
登録・削除

管理用/一般用
スマートフォンで
できること【共通機能】

管理用スマートフォンで
できること【管理機能】

スマート
コントロールキー
の使い方

お手入れ

困った時には

保守点検

商品の保証
について

このたびは YKK AP 商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。
商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。
商品によっては、本書に掲載されていない場合がありますので、
当社ホームページの情報も併せてご利用ください。



公式アプリ

AP ポケナビ

使い方・お手入れ・サポート情報などが
ご覧いただけます。



専用アプリ

スマートコントロールキー

ドア本体の設定・アップデート時に必要です。
ダウンロードしてください。



App Store



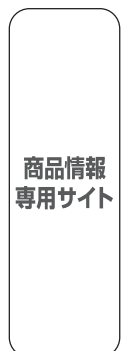
Google Play



お客様
サポート

電装商品の保証書登録

登録すると保証期間が2年に
延長されます。



商品情報
専用サイト

スマートコントロールキー

AC100V 式・電池式
使い方・お手入れなど



ドア



スライディングドア

スマートコントロールキー

顔認証キー
使い方・お手入れなど



ドア



スライディングドア

※ 「Bluetooth」のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
※ 「App Store」、「Apple」、「Apple のロゴ」、「iPhone」は Apple Inc. の商標です。
※ 「Google Play」、「Google Play ロゴ」、「Android」は、Google LLC の商標です。

商品に貼られたラベルから、商品情報をご覧いただけます

ラベルイメージ



※スマートフォンやタブレット端末などの通信料はお客様のご負担となります。
※機種によっては、正常に表示されない場合があります。

本書の読み方

本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、表示内容を守って商品をご使用ください。

■危険／警告／注意／お願い

表 示	意 味
 危険	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いと想定される。
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される。
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うかまたは物的損害（※3）が生じることが想定される。
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報。

（※1）重傷とは、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、身体機能に欠損および／または後遺障害が生じる傷害、または前記に至らないまでも30日以上に加療を要する傷害をいう。

（※2）軽傷とは重傷に至らない傷害をいう。

（※3）物的損害とは、家屋・家財およびペット等にかかわる拡大損害をいう。製品自体の破損は含まない。物的損害の程度は、（財）日本科学技術連盟が開発したリスクマップ（R-Map）の「危害の程度」に準じる。

■記号

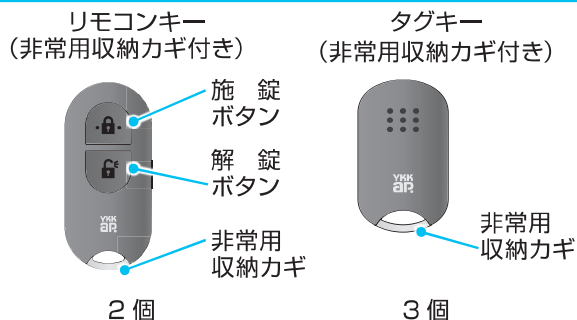
記 号	意 味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

各部の名称

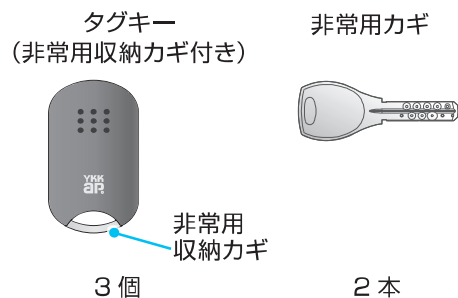
スマートコントロールキーの部品・部材など、各部の名称を示しています。本書を読む前にご確認ください。

■ カギ

ポケットキー

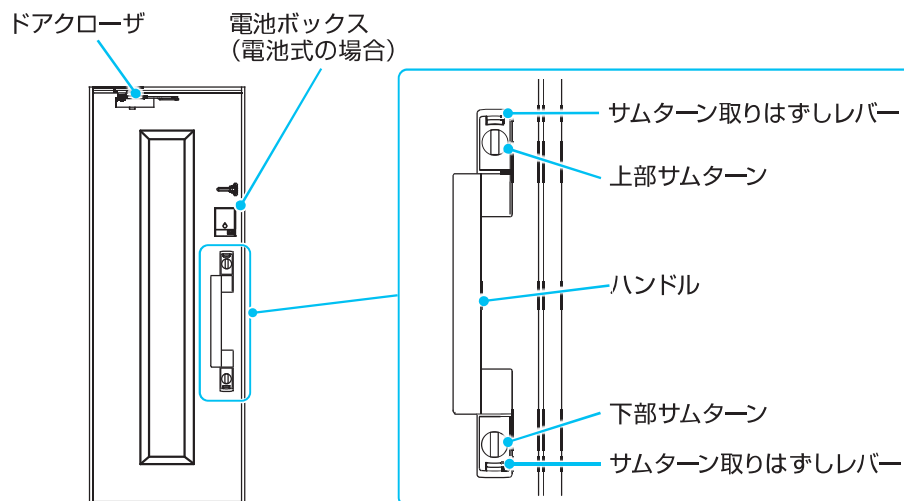


ピタットキー

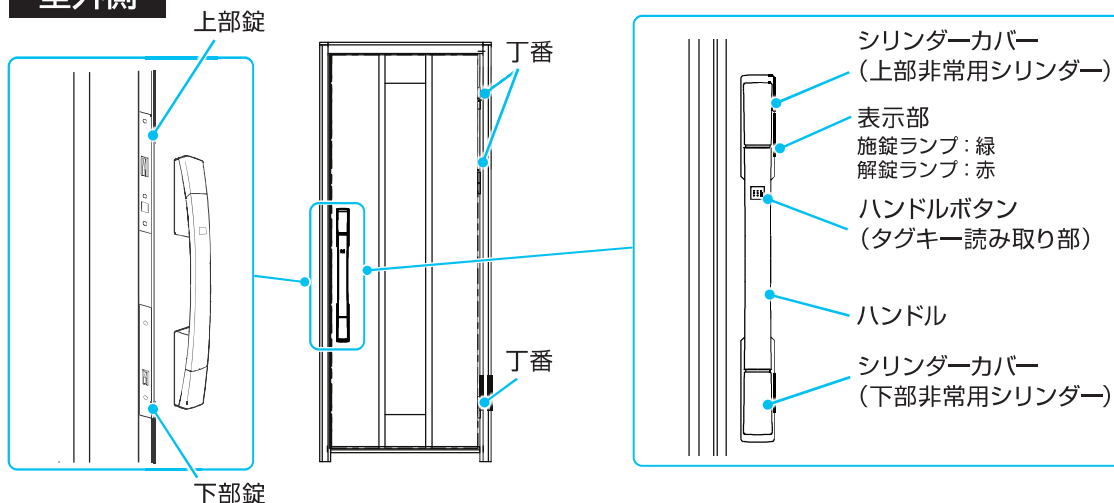


■ 玄関ドア

室内側

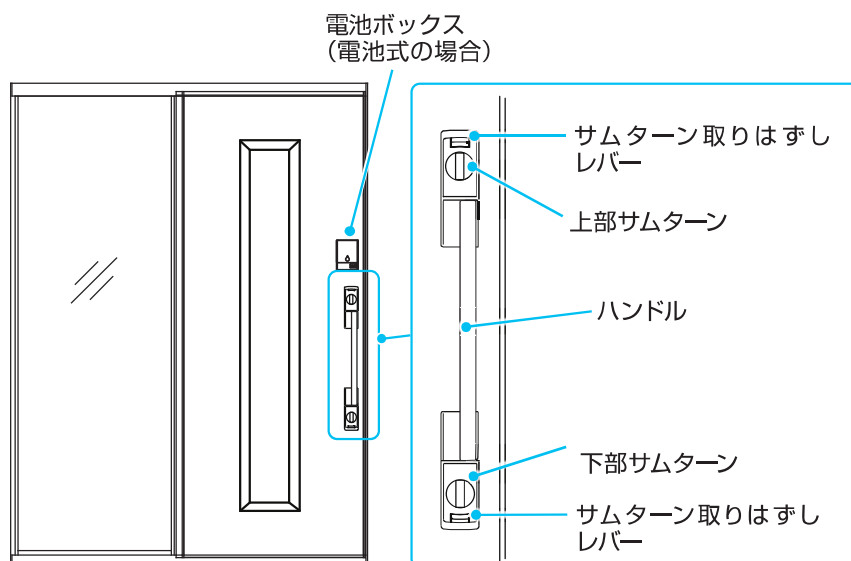


室外側

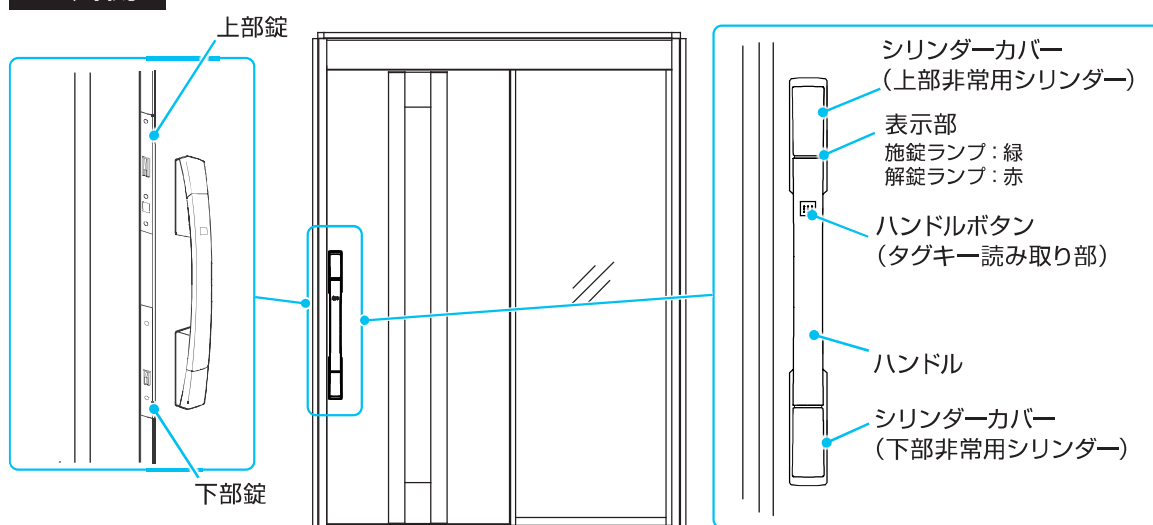


■ スライディングドア

室内側



室外側



もくじ

本書の読み方	P.1
本書内の表示	P.1
各部の名称	P.2
もくじ	P.4
安全にお使いいただくために	P.7
安全上のご注意	P.7
知っていただきたい現象	P.17
ご使用になる前に	P.20
保証書の登録	P.20
シリンダーカバーの取り付け	P.20
工事用力ギの無効化	P.21
非常用収納カギの取り出し方／戻し方	P.22
電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）	P.23
リモコンキーの電池の交換時期と交換方法	P.25
電池ボックスの電池の交換時期と交換方法（電池式の場合）	P.29
スマートコントロールキーの機能	P.31
スマートコントロールキーとは	P.31
スマートコントロールキーの作動範囲	P.32
防犯機能	P.33
お知らせ機能	P.40
ドア本体操作でのキーの登録・削除	P.42
各モードの説明	P.42
登録モードの選択	P.44
登録・削除前の準備	P.45
登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する	P.47
追加登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する	P.53
削除モードですべてのキーの登録を削除する	P.59
リニアシステム：電源の入れ方／切り方	P.61

ドア本体操作での各種設定	P.64
設定項目の選択	P.64
設定前の準備	P.65
自動施錠機能の設定	P.67
タイマー施錠機能の設定	P.69
動作確認音の設定	P.71
ハンドルボタン操作の設定	P.73
音量の設定	P.75
スマートフォン専用アプリ「スマートコントロール」をインストールする	P.77
スマートフォン専用アプリ「スマートコントロール」とは	P.77
専用アプリをインストールする	P.77
スマートフォンの登録・削除	P.78
スマートフォンを登録する	P.78
管理用 / 一般用スマートフォンの機能一覧	P.79
管理用スマートフォンを登録する	P.80
一般用スマートフォンを登録する	P.91
スマートフォンに複数のドア（電気錠）を登録する	P.98
スマートフォンを削除する	P.99
スマートフォンを再登録する	P.102
スマートフォンを機種変更する	P.104
管理用 / 一般用スマートフォンでできること【共通機能】	P.108
メイン画面の説明	P.108
設定画面の説明	P.109
履歴画面の説明	P.110
情報画面の説明	P.111
ドア（電気錠）の選択	P.112
施錠・解錠操作	P.113
スリープモード	P.114
ドア（電気錠）の追加	P.115
ドア（電気錠）の削除	P.116
ハンドルボタン操作の設定	P.118
スマートフォンの履歴確認	P.124

管理用スマートフォンでできること【管理機能】	P.125
本体設定・カギの管理について	P.125
本体設定	P.127
カギの管理	P.130
ドア（電気錠）の名前設定	P.136
パスワードの管理	P.136
履歴（管理機能）について	P.137
商品のアップデート	P.144
スマートコントロールキーの使い方	P.148
リモコンキー／タグキー／スマートフォンで施錠／解錠する	P.148
停電／電池切れの場合	P.152
操作盤（オプション）で施錠／解錠する（AC100V 式の場合のみ）	P.153
技術資料【仕様（AC100V 式）】	P.155
技術資料【仕様（電池式）】	P.156
周波数表示について（AC100V 式／電池式共通）	P.157
お手入れ	P.158
お手入れ時の注意事項	P.158
お手入れ方法	P.160
錠受けの調整（玄関ドアの場合）	P.162
困った時には	P.164
キーを紛失した場合	P.164
LED・ブザー音パターン／音声ガイド一覧	P.166
リモコンキー／タグキー（AC100V 式・電池式共通）	P.170
リモコンキー／タグキー（AC100V 式）	P.173
リモコンキー／タグキー（電池式）	P.173
スマートフォンアプリ（AC100V 式／電池式共通）	P.174
スマートフォンの登録情報について	P.176
Bluetooth® ペ어링情報の削除	P.177
保守点検	P.178
商品点検のお知らせ	P.178
キーの追加購入方法	P.179
商品の保証について	P.180

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

スマートコントロールキーの注意事項

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



[強制]

植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着中の方がタグキーをご使用になる場合は、室外側ハンドルから植え込み型医療機器の装着部位を15cm以上離してご使用ください。
電波の影響を受けて、誤作動につながるおそれがあります。



[強制]

植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着中の方がリモコンキーをご使用になる場合は、事前に電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。



[強制]

植え込み型医療用機器（心臓ペースメーカーなど）を装着中の方がスマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」をご使用になる場合は、室外側ハンドルおよび携帯電話端末（スマートフォン含む）から植え込み型医療機器の装着部位を15cm以上離してご使用ください。
電波の影響を受けて、誤作動などにつながるおそれがあります。



[強制]

植え込み型医療機器以外に医療用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医療用機器の動作に影響を与える可能性があります。

⚠ 注意



[禁止]

本製品は総務省の技術適合基準に適合しています。
本製品は総務省の許可なしに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。

お願い

スマートコントロールキー共通

リモコンキーやタグキー、スマートフォン、ハンドルボタン、その他の操作盤（AC100V 式）などから操作し、サムターンが作動している間は、ハンドルやサムターンを操作しないでください。サムターンの作動中にハンドルやサムターンを操作すると、錠部品に負荷がかかり、故障するおそれがあります。

リモコンキーやタグキーは電子部品のため、水洗いしたり、濡れた手で操作したりすると故障するおそれがあります。ドア本体の電池ボックスなどの電装部にも水をかけないようご注意ください。

精密な電子部品などを使っていますので、分解や改造をしないでください。

落雷による故障に備えて、避雷器などの設置をおすすめします。（AC100V 式）

タグキー／リモコンキーは電子部品です。故障の原因となりますので、下記のような取り扱いはしないでください。

- ・落下させる、ぶつける
- ・ズボンの後ろポケットに入れたまましゃがむ、座る
- ・磁石など磁気を持つものに近づける
- ・直射日光の当たる場所に放置する（車中への放置など）
- ・暖房器具など高温となる場所へ放置する

スマートコントロールキーは電装商品であり、精密機器です。停電や電池切れ、スマートコントロールキーの誤作動、故障など万一の状況にそなえて、リモコンキー／タグキーは必ず非常用収納カギを取り付けた状態で携帯してください。非常用収納カギを携帯しない場合、閉め出しになるおそれがあります。

下記に示すような家電製品や公共施設が出す電波の影響により、リモコンキーやタグキーの作動範囲がせまくなる場合があります。

また、場合によってはリモコンキーやタグキーが作動しなくなることがあります。

- ・テレビ、パソコン、電子レンジ、携帯電話、スマートフォン、コードレス電話機、防犯カメラ
- ・アマチュア無線局、テレビ塔、空港、テレビの送信所、工場、発電所… など

お願い

リモコンキー

ハンドルボタン操作の作動範囲は、室外ハンドルから約20～80cmです。
ドア周辺の環境により作動範囲が変わる場合があります。

ハンドルボタン操作の際、リモコンキーが静止しているとハンドルボタンでの施錠／解錠ができなくなります（「■置き忘れ防止機能」(→P.34)）。リモコンキーを少し揺らしながら操作すると、動きを感知して施錠／解錠します。

ハンドルボタン操作の際、次に示すようなリモコンキーの持ち方をしている場合、体に電波が遮られ、施錠／解錠できない場合があります。

- ・ リモコンキーをリュックサックに入れて背中に背負っている
- ・ リモコンキーをズボンの後ろポケットに入れている
- ・ リモコンキーをカバンなどに入れて腕で覆って持っている
- ・ リモコンキーを手で握りしめて持っている… など

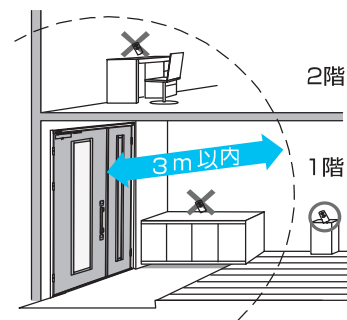
ハンドルボタン操作で、リモコンキーをカバンなどの中に入れてご使用の場合、カバンの材質によっては電波が遮られ、施錠／解錠できない場合があります。

- ・ 金属製のアタッシュケース
- ・ アルミシートを使用した保冷バッグ
- ・ 金属繊維を編み込んだバッグ… など

ハンドルボタン操作で、次に示すようなものと一緒にリモコンキーを入れている場合、電波が遮られ、施錠／解錠できない場合があります。

- ・ 金属製のキーケース
- ・ スマートフォン、スマートフォンケース… など

ドア／スライディングドアから3 m以内にはリモコンキーを保管しないでください。
外部からハンドルボタン操作で解錠されるおそれがあります。



スマートコントロールキーに複数のリモコンキーを登録している場合、ハンドルボタンを押してから施解錠されるまでに時間差があります。登録している順にリモコンキーの信号を確認しますので、登録順が遅いリモコンキーほど反応に時間がかかります。

リモコン操作の作動範囲は、室外ハンドルから約3mです。
ドア周辺の環境により作動範囲が変わる場合があります。

お願い

リモコンキー (つづき)

リモコンキーをカバンやポケットに入れている場合、意図せずに施錠／解錠される場合があります。

- ・ カバンの中でキーホルダーがあたり、「施錠」ボタン・「解錠」ボタンが押される
- ・ かがんだとき、ポケットの中で「施錠」ボタン・「解錠」ボタンが押される… など

複数のドアに同一のリモコンキーを登録している場合、ひとつのドアを操作したつもりでも、他のドアが作動する場合があります。リモコンキーの作動範囲（室外ハンドルから約3m以内）に複数のドアがある場合は、ご注意ください。

リモコンキーにあらかじめ内蔵されている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっている場合があります。電池交換が必要な場合は、「リモコンキー電池の交換時期と交換方法」(→P.25)を参照してください。

家電製品や公共施設が出す電波の影響で、リモコンキーが正常に作動しない場合は、リモコンキーのご使用を停止し、ドアの開閉にはタグキーをご使用ください。詳しくは、「困った時には」(→P.164)をご確認ください。

お願い

タグキー

タグキーを下記の状態で使用すると認証できない場合があります。

- ・ 他のIC カード・磁気カードと重ねる
- ・ 硬貨など金属のものと重ねる
- ・ アルミ箔や金箔などの金属を含んだものと重ねる
- ・ 金属製シールを貼付する
- ・ 表面が非金属であっても直下に金属、電子基板があるものと重ねる… など

ドア／スライディングドアについての注意事項

⚠ 注意



[強制]

風の強い時は、ドアやスライディングドアを閉め、必ずロックしてください。ロックしないと、ドアやスライディングドアが風で急に開閉し、ドアやスライディングドアにぶつかったり、衝撃で破損したりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。やむをえず開閉が必要な場合は、ハンドルや引手をしっかり持って操作してください。



[禁止]

ドアやスライディングドアに寄りかかるなど、無理な力をかけないでください。ドアやスライディングドアが破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

安全にお使いいただくために

お願い

ドアの近くを通る時は、ハンドルにぶつからないようご注意ください。

ドアやスライディングドアの表面や、金属部分は、直射日光などで熱くなる場合があります。やけどをしないようご注意ください。

外出や就寝の際は、必ずドアやスライディングドアを閉め、すべてのカギを確実にロックしてください。ロック後、ドアやスライディングドアが開かないことを確認してください。

ドアの開閉時の注意事項

⚠ 注意



[強制]

周囲に人がいないことを確認

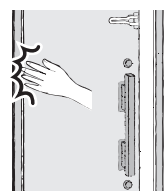
ドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドアと枠のすき間に注意

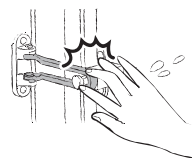
ドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

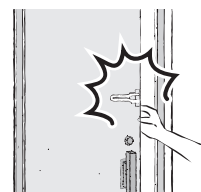
ドアの操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

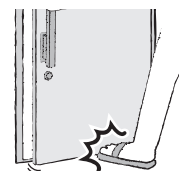
ドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。
ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドア下端部のすき間に注意

ドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。足をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
特に、サンダル履きでの開閉は、ご注意ください。



お願い

ドアの開閉は、ゆっくり静かに行ってください。
無理な操作や誤った操作をすると、ドアを破損するおそれがあります。

スライディングドアの開閉時の注意事項

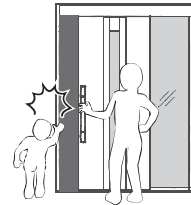
⚠ 注意



[強制]

周囲に人がいないことを確認

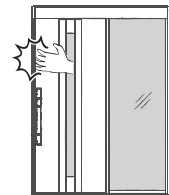
スライディングドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドアと枠のすき間に注意

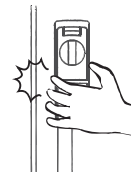
スライディングドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

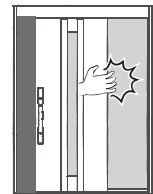
スライディングドアの操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

スライディングドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドア下端部のすき間に注意

スライディングドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。足をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。特に、サンダル履きでの開閉は、ご注意ください。



お願い

スライディングドアの開閉は、ゆっくり静かに行ってください。
無理な操作や誤った操作をすると、ドアを破損するおそれがあります。

ドア／スライディングドアの調整・お手入れ時の注意事項

⚠ 警告



[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様が飲み込み、
思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 注意



[強制]

周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。
ドアやスライディングドアにぶつかり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

調整に必要なネジ以外はゆるめないでください。
商品の不具合や、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

お手入れの際、ドアやスライディングドアの端部や部品の角にご注意ください。
指や手を切ったり、はさんだりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

電池についての注意事項

⚠ 危険



[強制]

電池から漏れた液が目や皮膚に付着した場合は、すぐに水道水でよく水洗いして、医師の治療を受けてください。失明や化学やけどなど、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 警告



[強制]

コイン形リチウム電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。小さなお子様が、コイン形リチウム電池を飲み込み、化学やけどや粘膜損傷など、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



[禁止]

電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄の異なる電池を混ぜて使用しないでください。特性の違いにより、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

電池を火の中に入れたり、加熱、分解したりしないでください。
絶縁物などが損傷し、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

長期間使用しない場合や、使い切った電池は直ぐに機器から取りだしてください。
そのまま放置すると、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 注意



[禁止]

電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

電池を水などで濡らさないでください。
電池が発熱するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

電池が入った機器を高温の場所で使用、放置しないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体の条例に従って廃棄してください。

お願い

電池の種類は、商品仕様をご確認ください。(充電式電池は使用できません。)

- 電池式の場合、電池ボックスの電池が完全に消耗すると作動しなくなります。
- 電池ボックスにあらかじめ入っている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっている場合があります。電池交換が必要な場合は、「電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）」(→ P.23)を参照してください。
- 電池ボックスの電池は、単3形アルカリ乾電池を使用してください。(リチウム乾電池も使用可)
- 電池ボックスの電池は、充電式乾電池、またはマンガン乾電池を使用しないでください。誤作動の原因となります。

知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と覚るることがある現象も、商品の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

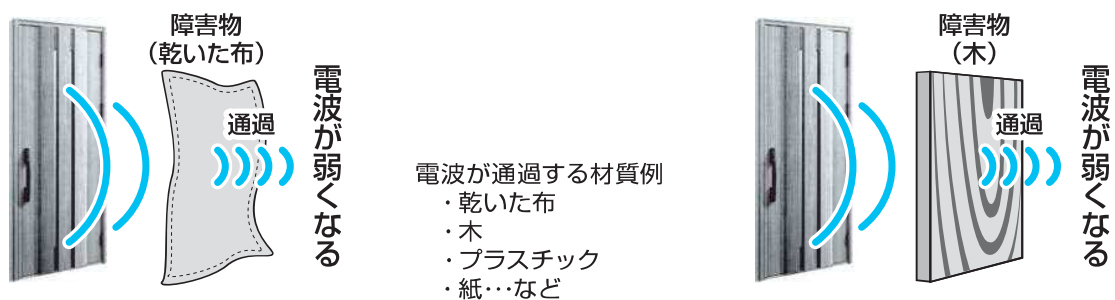
ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

電波の特性について

スマートコントロールキーのリモコンキーでの施錠 / 解錠操作では、室外ハンドルとリモコンキーの間で電波による通信が行われていますが、一般的に電波には次のような特性があります。

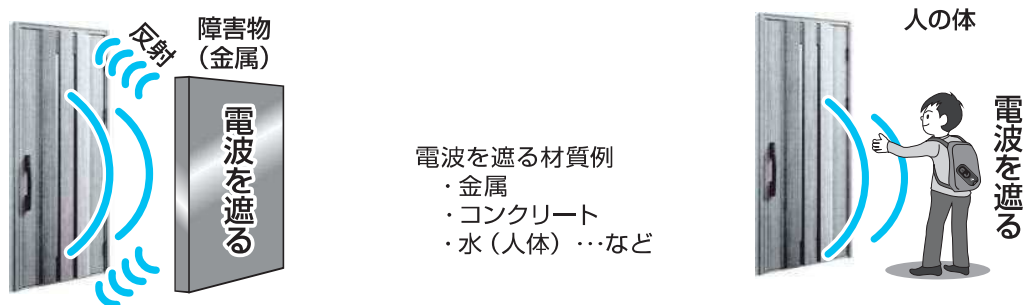
● 電波は、障害物（乾いた布や木など）を通り抜ける

電波は、障害物の材質によっては通り抜けることができます。
ただし、障害物を通り抜ける度に弱くなる特徴があります。



● 電波は、障害物（金属やコンクリート、人の体など）によって遮られる

電波は、障害物の材質によっては遮られることがあります。



※ 特に金属は電波を反射しやすく、電波を遮断します。

※ 電波を遮る材質・素材として「水」もあります。60%以上が水分と言われる人の体も、電波を遮る障壁となります。

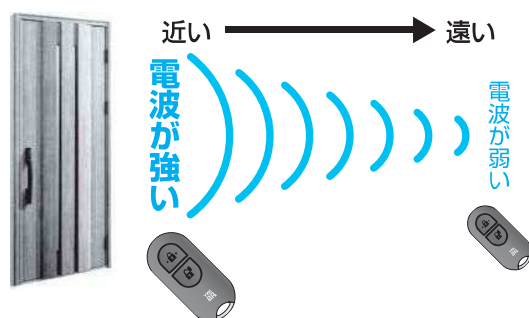
● 電波は、建物などに反射する

電波は、建物の壁や天井、地面などの障害物（特に金属）にあたると反射します。障害物や電波の周波数によって反射の仕方は変化し、複数方向へ乱反射することもあります。ただし、電波は反射を繰り返すことでだんだん弱くなります。また、反射した電波同士が衝突し、弱くなることもあります。



● 電波は遠くなるほど弱くなる

電波は、基本的に届くまでの距離が遠くなるほど弱くなります。



リモコンキーの使い方についてのお願い

電波の特性により、次に示すような使い方や環境では室外ハンドルとリモコンキーの間で電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。

- ① 次に示すようなリモコンキーの使い方や持ち方では電波が届きにくくなり、ハンドルボタン操作での施錠／解錠ができない場合があります。
 - 1) 使用者の身体に電波が遮られている
 - リモコンキーをリュックサックに入れて背中に背負っている
 - リモコンキーをズボンの後ろポケットに入れている
 - リモコンキーをカバンなどに入れて腕で覆って持っている
 - リモコンキーを手で握りしめて持っている … など
 - 2) 電波を遮る材質のカバンなどにリモコンキーを入れている
 - 金属製のアタッシュケース
 - 金属繊維を編み込んだバック
 - アルミシートを使用した保冷バック … など
 - 3) カバンやポケットなどに、リモコンキーと電波を遮る材質のものを一緒に入れている
 - 金属製のキーケース
 - スマートフォン、スマートフォンケース … など
- ② 電波の反射や衝突により、場所によっては電波が弱まり届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。リモコン操作やハンドルボタン操作をする際の立ち位置を変えて、施錠／解錠できるか確認してください。

ご使用になる前に

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

保証書の登録

- ・こちらから保証書登録を行うことによって、保証期間が1年から2年に延長されます。
- ・当社ホームページからも保証書登録が行えます。
- ・登録の際は、あらかじめ「電装商品保証登録票」をお手元にご準備ください。

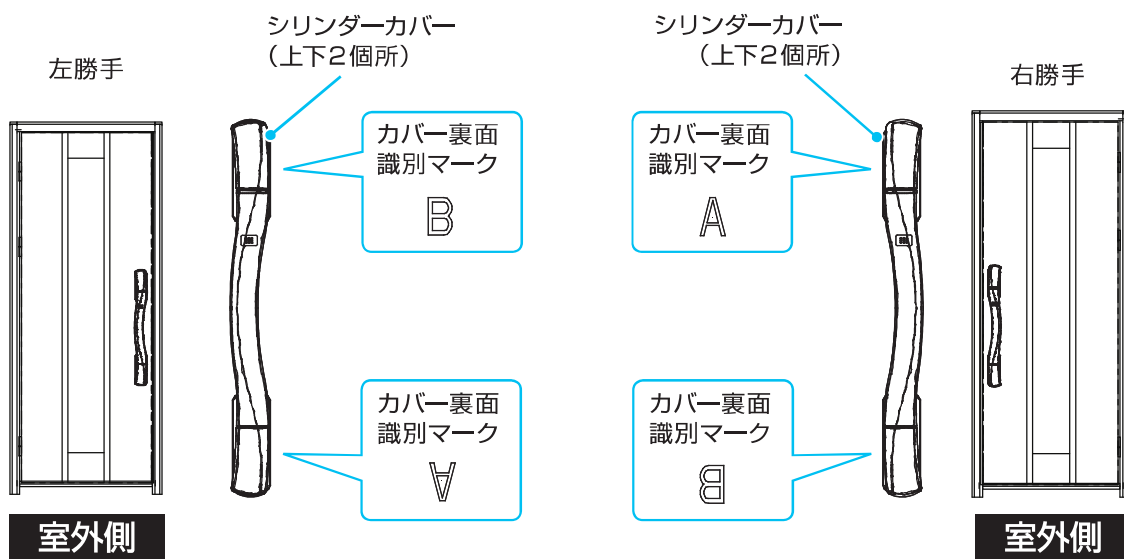
保証書の登録
はこちら



シリンダーカバーの取り付け

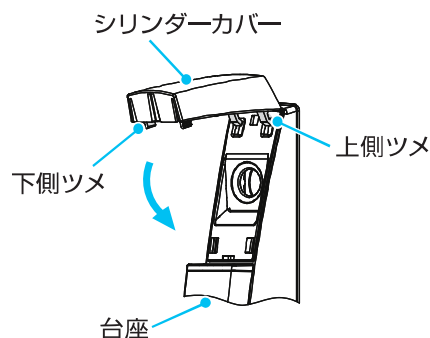
- ・シリンダー（かぎ穴）を見えないようにするため、ハンドルにシリンダーカバーを取り付けてご使用ください。
- ・洋風カーブハンドルは、シリンダーカバー裏面の識別マークを確認してから取り付けてください。洋風カーブハンドルは、玄関ドアの場合のみとなります。

洋風カーブハンドル



1 シリンダーカバーを台座にセットする

シリンダーカバーの上側ツメを台座に差し込んで、回転させながら下側ツメを台座に押し込みます。

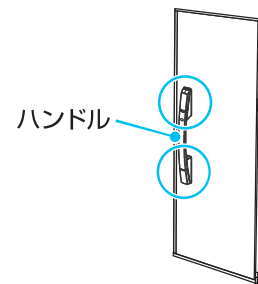


工事用力ギの無効化

ご使用になる前に非常用収納力ギまたは非常用力ギで施錠操作を行ってください。

※ 工事用力ギとは、工事業者が工事期間中に出入りするための専用の力ギです。

一度でも非常用収納力ギまたは非常用力ギを使用すると、工事用力ギは無効化され、使用できなくなります。



ハンドル

室外側

- 防犯配慮のため、必ずお施主様で自身で工事用力ギの無効化を行ってください。

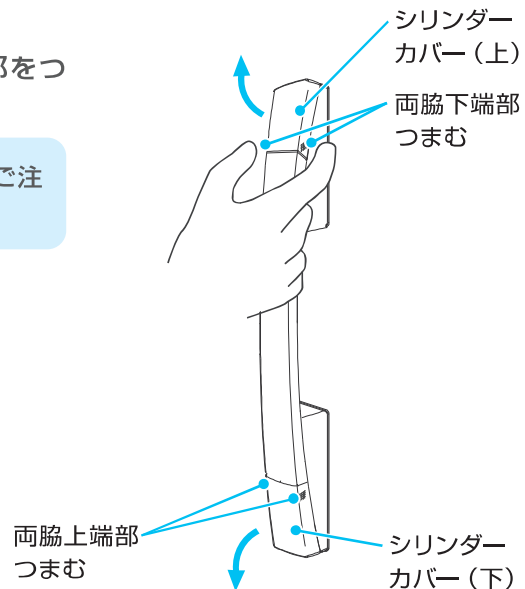
ご使用になる前に

1

シリンダーカバーをはずす

上下のシリンダーカバーの両脇端部をつまみはずします。

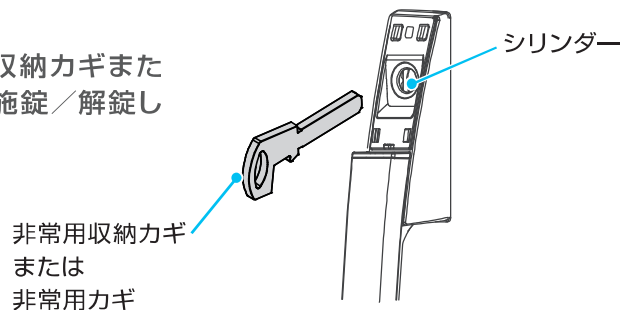
- シリンダーカバーを落とさないようご注意ください。



2

施錠／解錠する

上下のシリンダーに非常用収納力ギまたは非常用力ギを差し込んで施錠／解錠します。



ご使用になる前に

非常用収納カギの取り出し方／戻し方

- ポケットキー／ピタットキーに付属しているリモコンキー／タグキーには非常用収納カギが装着されています。
- 停電や電池切れなどの非常時に、非常用収納カギを取り出し、手動で施錠／解錠できます。
- 不測の事態に備えてリモコンキー／タグキーは非常用収納カギを取り付けた状態で携帯してください。

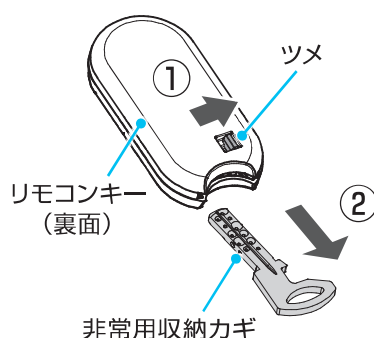
■取り出し方

1

非常用収納カギを引き抜く

リモコンキー裏面のツメをスライドしながら、非常用収納カギを引き抜きます。

- 非常用収納カギでの施錠／解錠方法は「停電／電池切れの場合（→ P.152）」を参照してください。

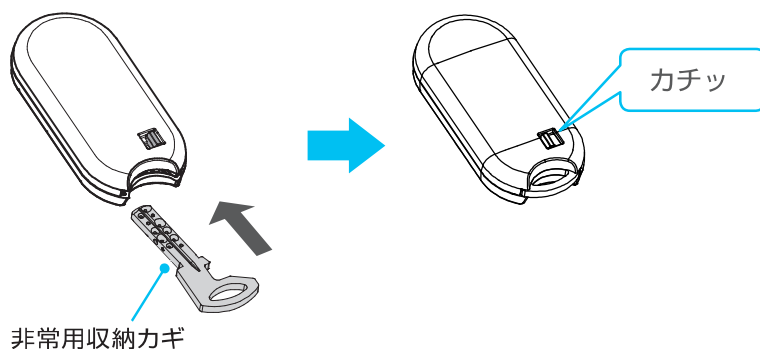


■戻し方

1

非常用収納カギを差し込む

非常用収納カギを「カチッ」と音が鳴るまで差し込みます。



電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）

■電池の入れ方／交換方法

使用電池……単3形アルカリ乾電池 4本（リチウム乾電池も使用可）

- 充電式・マンガン乾電池を使用しないでください。誤作動の原因となります。
- 電池を交換する場合は、4本すべてを新品に交換してください。
古い電池に交換した場合、電池消耗警告が消えないことがあります。また、新しい電池と古い電池、銘柄の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
電池の液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。
- 電池は、電池の極性（+/-）を確認して、電池ボックス内の極性（+/-）の表示と同じ方向に正しく入れてください。
- 濡れた電池を使用しないでください。
- 電池交換の際、電池の脱着等にドライバーなどの電気を通す金属製のものは使用しないでください。
- 電池ボックスにあらかじめ入っている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっているおそれがあります。ご使用になる前に電池を交換することをおすすめします。

ご使用になる前に

1

電池カバーを取りはずす

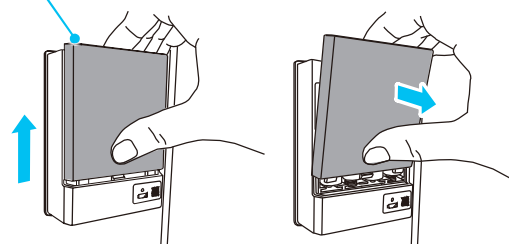
電池ボックス：デザインA

電池ボックスの電池カバーを、溝部を押しながら少し上げ手前に引いてはずします。

- 電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。



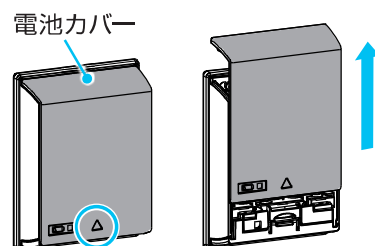
電池カバー



電池ボックス：デザインB

電池ボックスの電池カバーを、○部を指で押さえながら電池カバーを上にはずします。

- 電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。

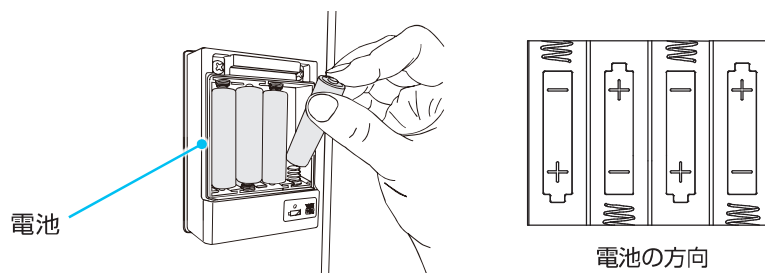


ご使用になる前に

2

電池を入れる

電池を交換する場合は、古い電池をはずします。
次に、新しい電池を電池ボックスの表示(+/-)と同じ方向に正しく入れます。



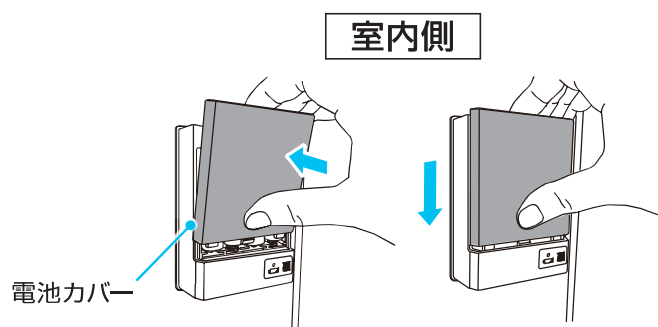
3

電池カバーを取り付ける

電池ボックス：デザインA

手順1と反対の手順で電池カバーを取り付けます。

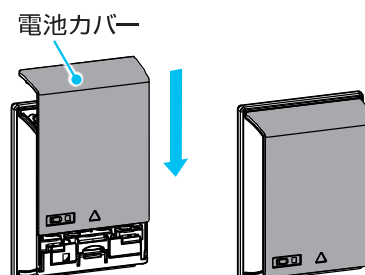
- 電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。



電池ボックス：デザインB

手順1と反対の手順で電池カバーを取り付けます。

- 電池カバーのツメ部が破損しないように注意してください。



リモコンキーの電池の交換時期と交換方法

⚠ 警告



[禁止]

リモコンの電池交換の際は、はずしたコイン形リチウム電池を放置しないでください。小さなお子様が、コイン形リチウム電池を飲み込み、化学やけどや粘膜損傷など、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- タグキーは、電池を使用していないため電池交換は不要です。

タグキー



- リモコンキーにあらかじめ内蔵されている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっているおそれがあります。ご使用になる前に電池を交換することをおすすめします。
- リモコンキーの交換用電池は、コイン形リチウム電池CR2032です。この電池はカメラ店、家電販売店、ホームセンターなどでお買い求めになれます。

交換用電池
CR2032



■電池の交換時期

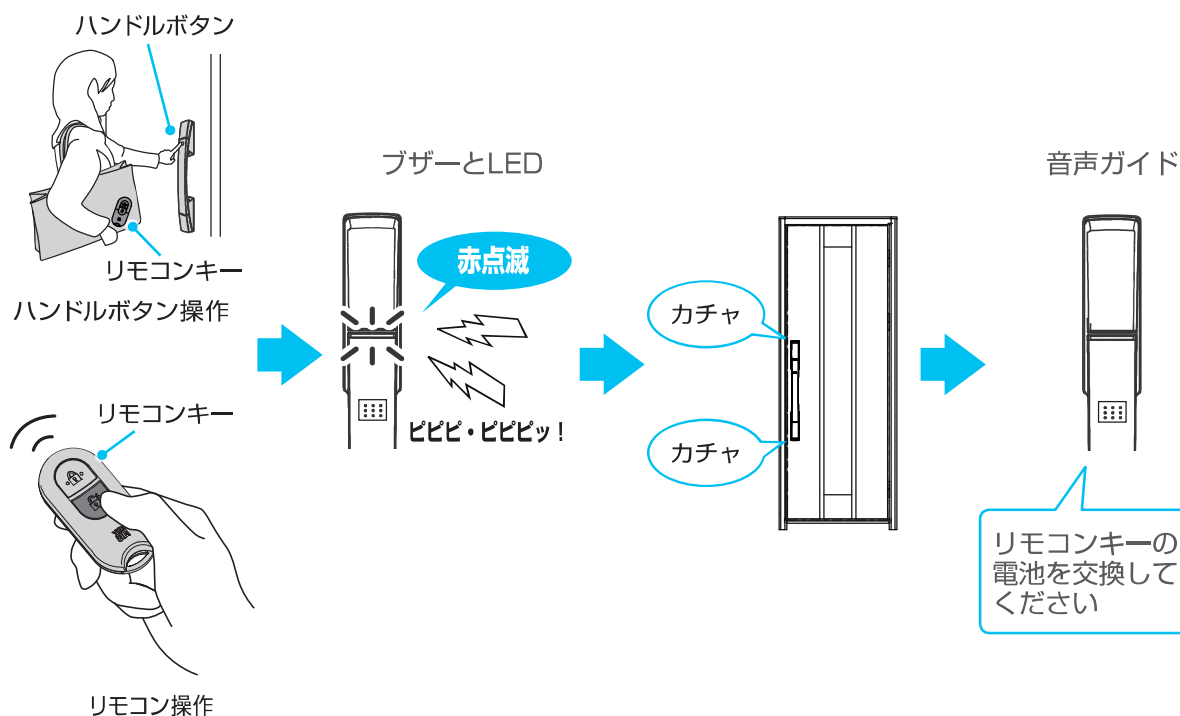
- リモコンキーの電池寿命は、約1年（1日約10回操作を想定）です。
※電池の寿命は、使用頻度や使用環境により異なる場合があります。
- リモコンキーの電池が完全に消耗すると、リモコンキーでの施錠 / 解錠ができなくなります。電池交換のお知らせが出たら、直ちに電池交換を行ってください。万が一の場合は、非常用収納カギや非常用力ギで施錠 / 解錠を行ってください。（→ P.152）

■電池の交換時期のお知らせ

- 電池は、低温環境で一時的に電池電圧が下がる特徴があります。
リモコンキーを寒い場所で保管、使用すると、施錠 / 解錠操作の際、一時的に電池交換のお知らせが出る場合があります。この場合、暖かい場所で保管、使用することで電池電圧が復帰し、お知らせが止まります。
- 電池が消耗していると、急激な温度変化により電池交換のお知らせが出ずに、リモコンキーでの施錠 / 解錠ができなくなる場合があります。
安心してご使用いただくため、電池交換のお知らせが出ていない場合でも、約 1 年を目安に電池交換を行ってください。
- 電池交換のお知らせが出ていない場合でも、約 1 年を目安に電池交換を行ってください。電池の液漏れや腐食により、リモコンキーが故障する場合があります。
- 電池交換のお知らせが出ているリモコンキーの電池をはずし、再度同じ電池を挿入すると、一時的にお知らせが止まります。
これは、挿入された電池の残量を確認している状態で、電池の残量が回復した訳ではありません。
必ず新しい電池に交換してください。

- ・リモコンキーの電池が消耗すると、施錠/解錠操作をする際に、ブザー音とLED、音声ガイドでお知らせしますので、電池交換を行ってください。
※施錠/解錠操作の際、電池交換のお知らせが出てもドアは施錠/解錠されます。
※音声ガイドは、施錠/解錠が終わった後に流れます。
- ・リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、必ず「■電池の交換方法」(→P.27)に従って電池交換を行ってください。

室外側

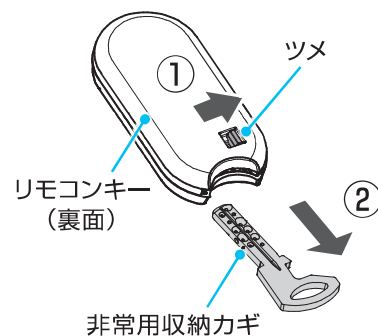


■電池の交換方法

- 基板に触れたり・はずしたりしないでください。
- 電池を取りはずす際は、ドライバーなどの電気を通す金属製のものは使用しないでください。
- 電池は、プラス（+）側を上にしてください。
- リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、電池交換の際は、次のことにご注意ください。
 - ・ 電池交換を行う際は、一度、金属に触って、体に帯電している静電気を逃がしてから行ってください。帯電した状態で電池交換を行うと、静電気により電子部品が故障する場合があります。
 - ・ 濡れた手や汚れた手で電池交換を行わないでください。

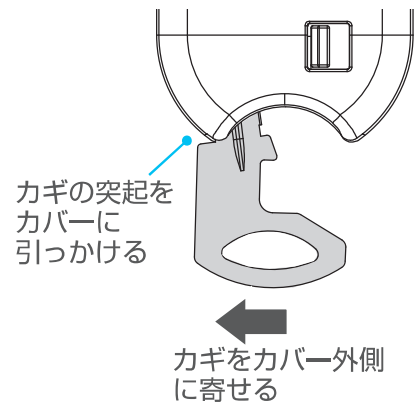
1 非常用収納カギを引き抜く

リモコンキー裏面のツメをスライドしながら、非常用収納カギを引き抜きます。



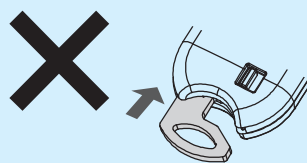
2 非常用収納カギを差し込む

右図の位置に非常用収納カギを差し込みます。

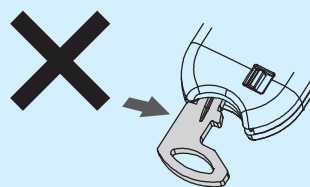


お願い

- カバーが開けにくくなりますので、非常用収納カギを深く挿入し過ぎたり、カバー中央に寄せたりしないでください。



深く挿入する

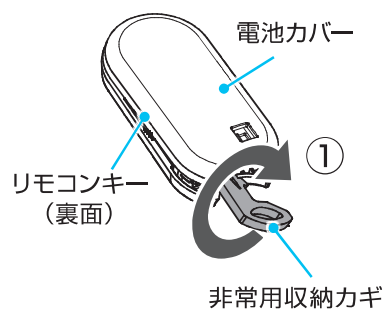


中央に寄せる

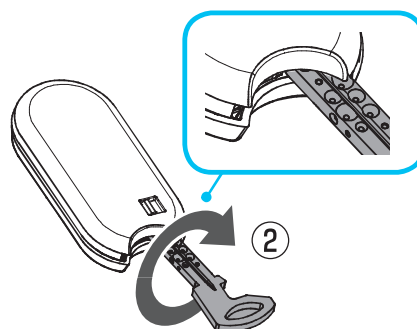
ご使用になる前に

3 電池カバーを取りはずす

- ①差し込んだ非常用収納カギを時計回りにまわします。

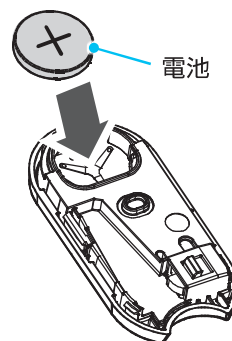


- ②反対側にも非常用収納カギの先端を差し込み、時計回りにまわして電池カバーをはずします。



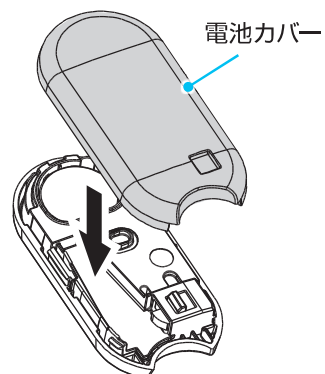
4 電池を入れる

- 電池を取り出し、新しい電池を入れます。



5 電池カバーを取り付ける

- 電池カバーを取り付け、非常用収納カギを元の位置に戻します。



電池ボックスの電池の交換時期と交換方法（電池式の場合）

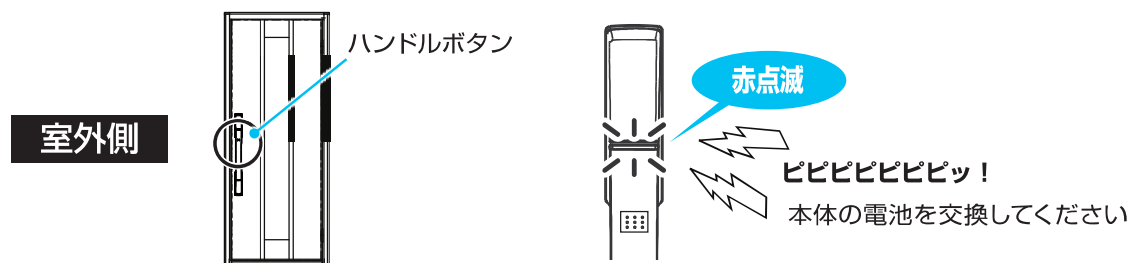
■電池の交換時期

- 電池式の場合、電池ボックスの電池が完全に消耗すると作動しなくなります。
- 電池は、約 1 年で交換になります。（1 日 10 回操作した場合）
※電池交換時期は、使用頻度や使用環境により異なります。特に寒冷地など気温の低い環境下では電池寿命が短くなる場合があります。

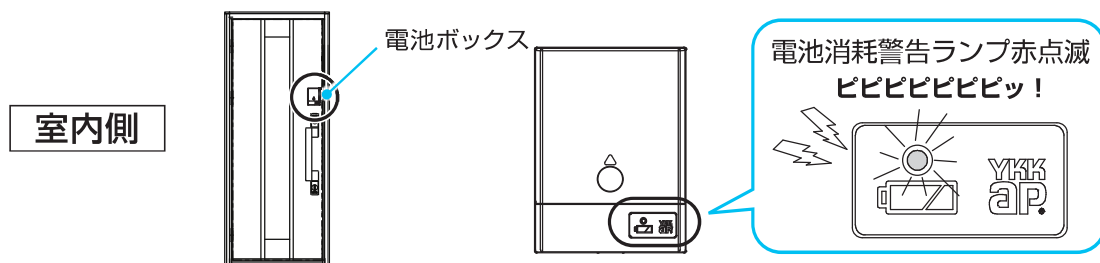
■電池の交換時期のお知らせ

- 電池が消耗し、交換時期が近づくと、電池消耗警告ランプの点滅と音声でお知らせします。
- 電池が消耗している際、次の施錠操作を行うと警告音「ビピビピビピッ!（7回）」と音声ガイド「本体の電池を交換してください」で、電池の交換時期をお知らせします。
 - ・タグキー / リモコンキー / スマートフォンでの施錠操作
 - ・サムターン / 非常用カギ / 非常用収納カギでの施錠操作
 - ・ピッキング防止機能 / タイマー施錠機能 / 自動施錠機能による施錠動作（→ P.33、P.39、P.36）
- 音声ガイドは、お知らせが開始してから20回の施錠動作まで流れ、以降は流れません。

タグキー/リモコンキー/スマートフォンでの施錠操作



手動（サムターン/非常用収納カギ/非常用カギ）での施錠操作、自動施錠



ご使用になる前に

■電池の交換方法

- 「■電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）」（➡ P.23）を参照して新品の電池に交換してください。

■電池消耗時の施錠操作

電池の交換時期のお知らせが開始してから、約100回まで次の電気的な施錠操作ができます。

- ・リモコンキー/タグキー/スマートフォンでの施錠操作
- ・サムターンでの連動施錠
- ・自動施錠機能/タイマー施錠機能/ピッキング防止機能による施錠動作

100回を超えた後は、電気的な施錠ができなくなります。

※サムターン（連動施錠を除く）/非常用力ギ/非常用収納力ギ による手動での施錠操作ができます。

※電池ボックスの電池4本すべてを新品に交換すると、復帰します。

電池消耗時、電池の消耗を抑えるため、リモコンキー/スマートフォンの一部の機能に制限がかかります。

- リモコンキー
 - ・リモコン操作の際は、ハンドルボタンを押して操作待ち受け状態にしてから、施錠ボタン/解錠ボタンを押してください。
- スマートフォン
 - ・リモコン操作の際は、ハンドルボタンを押して操作待ち受け状態にしてから、アプリ画面の施錠ボタン/解錠ボタンをタップしてください。
 - ・アプリのメイン画面で「近くにドアがありません」と表示されます。

スマートコントロールキーの機能

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

スマートコントロールキーとは

- ・リモコンキーを身につけて（ポケットやカバンの中など）ハンドルボタンを押すことで認証し、施錠／解錠ができます。（➡P.148）
- ※リモコンキーをリュックサックに入れて背負ったり、ズボンなどの後ろポケットに入れたりしてご使用の場合、人体で電波が遮られ、電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。
- ・リモコンキーの施錠／解錠ボタンを押して、施錠／解錠ができます。（➡P.148）
- ・タグキーを室外側ハンドルの読み取り部へ近づけることで、施錠／解錠ができます。（AC100V式）（➡P.148）
- ・ハンドルボタンを押して読み取り待ち受け状態にし、タグキーを室外側ハンドルの読み取り部へ近づけることで、施錠／解錠ができます。（電池式）（➡P.148）
- ・スマートフォンを身につけて（ポケットやカバンの中など）ハンドルボタンを押すことで認証し、施錠／解錠ができます。（➡P.113）
- ※スマートフォンをリュックサックに入れて背負ったり、ズボンなどの後ろポケットに入れたりしてご使用の場合、人体で電波が遮られ、電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。
- ・スマートフォンアプリの施錠／解錠ボタンをタップして、施錠／解錠ができます。（➡P.113）
- ・スマートフォンアプリでのハンドルボタン操作およびリモコン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によって異なります。また、スマートフォンの機種によってはご使用にできない機種があります。動作確認済みスマートフォンについては、ホームページよりご確認ください。
<https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/>
- ・管理用スマートフォンでキーの管理（登録／削除／名前設定）や各種設定ができます。「本体設定・カギの管理について」（➡P.125）
- ・万一、リモコンキーやタグキーを破損・故障した場合は、非常用収納カギや非常用力ギによる操作で施錠／解錠ができます。（➡P.152）
- ・上部錠と下部錠の2ロックで施錠／解錠を行います。（「■連動施錠」（➡P.33））
- ・LEDの光と音で、施錠／解錠動作をお知らせします。
- ・リモコンキーは最大8個まで登録することができます。
- ・タグキーは最大20個まで登録することができます。
- ・管理用スマートフォン2台、一般用スマートフォン5台まで登録することができます。
- ・リモコンキー／タグキー／スマートフォンは2つ以上のドアに登録することができます。



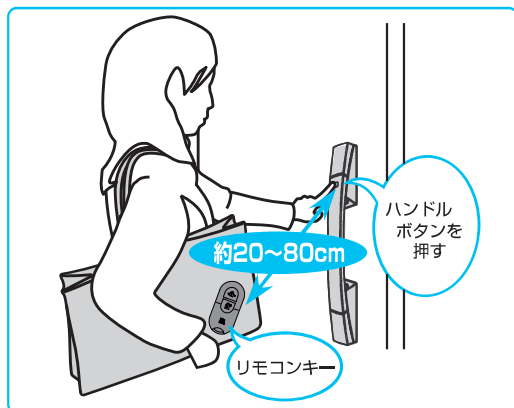
動作確認済み
スマートフォン

スマートコントロールキーの作動範囲

■リモコンキーの作動範囲

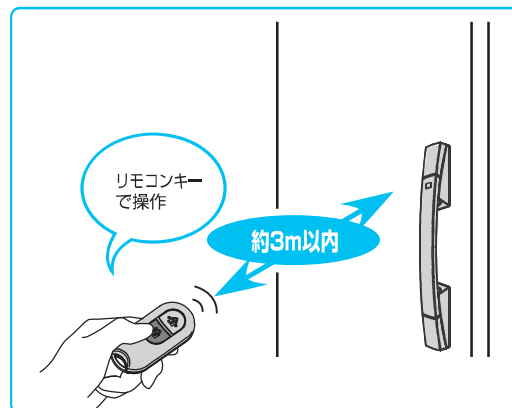
ハンドルボタン操作の場合

- ・ 室外側ハンドルから約20～80cm以内
＜操作のイメージ＞



リモコン操作の場合

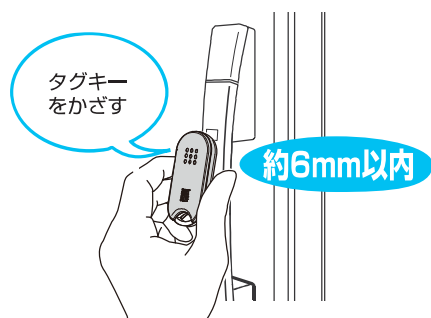
- ・ 室外側ハンドルから約3m以内
＜操作のイメージ＞



※リモコンキーの作動範囲は使用環境によって異なる場合があります。
詳しくは「知っていただきたい現象」(→P.17)をご覧ください。

■タグキーの作動範囲

- ・ 室外側ハンドルから約6mm以内
＜操作のイメージ＞



■スマートフォンの作動範囲

※スマートフォンアプリでのハンドルボタン操作およびリモコン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によって異なります。また、スマートフォンの機種によってはご使用にできない機種があります。動作確認済みスマートフォンについては、ホームページからご確認ください。
<https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/>

※アプリの設定については、「■ハンドルボタン操作の設定」(→P.118)をご覧ください。



動作確認済み
スマートフォン

防犯機能

■連動施錠

- 施錠する場合、上部錠と下部錠が連動して施錠します。
- 連動施錠機能は標準仕様です。OFFにすることができません。
- 非常用収納カギまたは非常用力ギで上部非常用シリンダーをまわすと、下部非常用シリンダーが連動してまわり、施錠されます。
※ 下部非常用シリンダーをまわしても上部非常用シリンダーは連動しません。
- 上部サムターンをまわすと、下部サムターンが連動してまわり、施錠されます。
※ 下部サムターンをまわしても上部サムターンは連動しません。
- 解錠する場合、上部錠・下部錠共に解錠してください。(連動しません)

■ピッキング防止機能

- 外部からの不正解錠を防止する機能です。
- ピッキング防止機能は標準仕様です。OFFにすることができません。
- 上部錠または下部錠のどちらか一方が解錠されてから、50秒以内にもう片方を解錠し、ドアを開けなかった場合、再度自動的に施錠します。
- ピッキング防止機能は、サムターン/非常用収納カギ/非常用力ギで解錠した場合も機能がはたります。

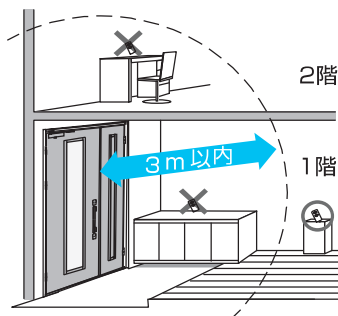
■置き忘れ防止機能

ハンドル近くにリモコンキーを置き忘れていることをお知らせする機能です。

置き忘れ防止機能は標準仕様です。OFFにすることができません。

- ハンドル近くに数秒以上放置されているリモコンキーがあるときに、室外側ハンドルのボタンが押されると、施錠／解錠がされずに「ピッピッピッ…」と警告音が鳴り、LEDが10秒間点滅し、「リモコンキーの置き忘れがあります」と音声がかかります。
これはハンドル近くにリモコンキーの置き忘れがあることをお知らせしています。ハンドルボタンを押して警告を止めて、置き忘れているリモコンキーをハンドルから離れた場所で保管してください。
- 室外側ハンドルのボタンを押したとき、自分の持っているリモコンキーが静止していると、置き忘れ防止機能が働き、施錠／解錠されない場合があります。
このとき、自分の持っているリモコンキーを少し揺らすことで復帰し、警告音が止まり、施錠・解錠されます。
- 置き忘れ防止機能が作動してから、復帰操作をせずに約10秒経過すると警告音が自然に止まります。このとき、室外側ハンドルのボタンが押されても、置き忘れられたリモコンキーでは一時的に施錠／解錠できなくなります。置き忘れられたリモコンキーの「施錠」ボタンまたは「解錠」ボタンを押すことで復帰し、再びハンドルボタン操作での施錠／解錠ができるようになります。

＜置き忘れ防止機能の作動範囲＞



室内側

●作動範囲

ドアから約3m以内

※使用環境によって作動範囲
が異なる場合があります。

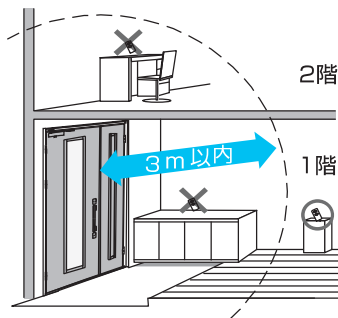
※置き忘れ防止機能が搭載されていますが、防犯上、ドアから約3m以内にリモコンキーを保管しないでください。

■スリープ機能

外部からのハンドルボタン操作防止とリモコンキーの電池消耗を低減する機能です。

- ハンドル近くに数分間放置されたリモコンキーは、室外側ハンドルのボタンを押されても一時的に反応しない状態（スリープモード）となり、ドアは施錠／解錠されません。
- スリープモードとなったリモコンキーは、「施錠」ボタンまたは「解錠」ボタンを押すことで復帰し、再びハンドルボタン操作での施錠／解錠ができるようになります。

<スリープ機能の作動範囲>



室内側

- 作動範囲
ドアから約3m以内

※使用環境によって作動範囲
が異なる場合があります。

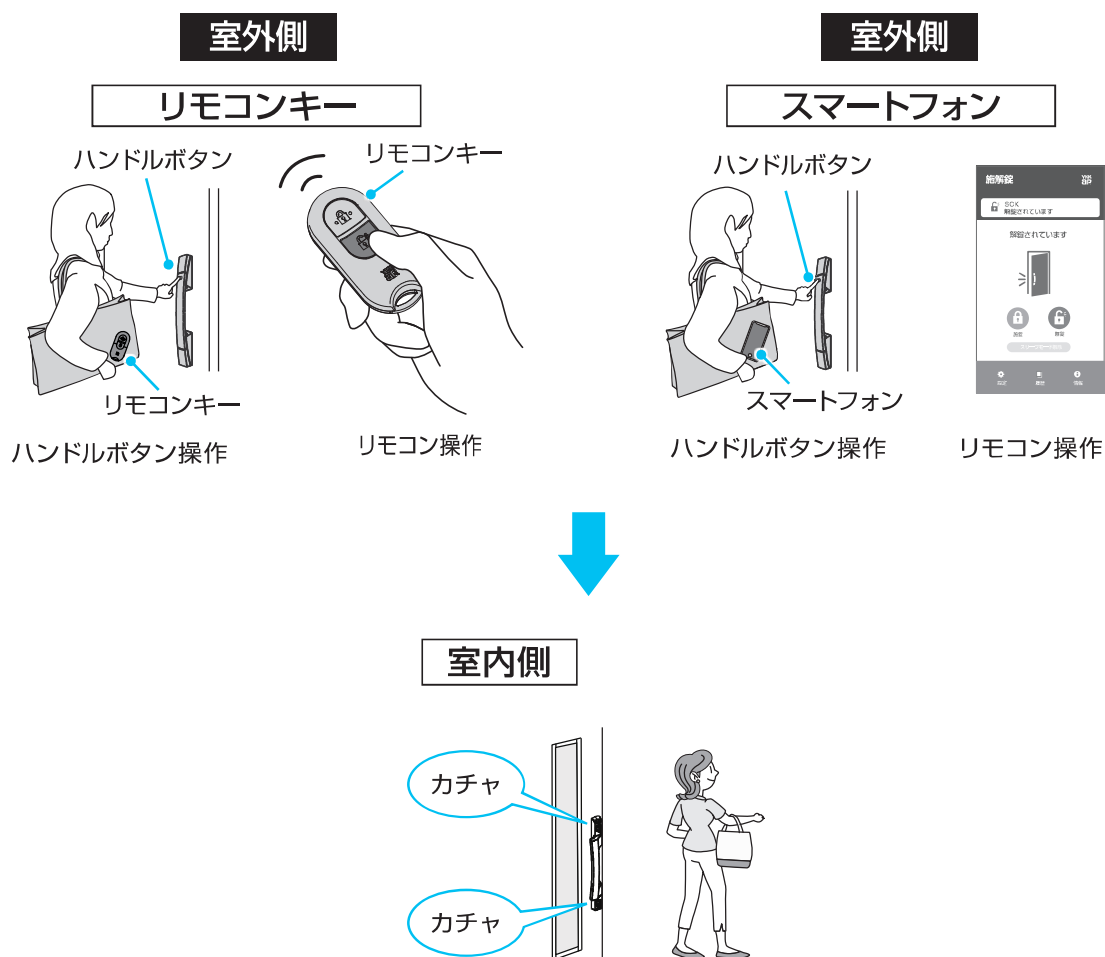
※スリープ機能が搭載されていますが、防犯上、ドアから約3m以内にリモコンキーを保管しないでください。

■自動施錠

- 自動施錠機能を「ON」に設定すると、タグキー/リモコンキー/スマートフォンで解錠操作をした時、ドアを開いて室内に入り、ドアを閉めると1秒後に上下2つの錠が自動で施錠されます。
 - 工場出荷時点では、「**自動施錠OFF**」に設定されています。
 - 自動施錠機能の設定は、「自動施錠機能の設定」(→P.67)に従って行ってください。
 - 自動施錠機能を「ON」にして使用する場合は、閉め出しに対してご注意ください。(「閉め出しに関するご注意」(→P.38))
- また、不測の事態に備えて必ず非常用力ギまたは非常用収納力ギを携帯してください。

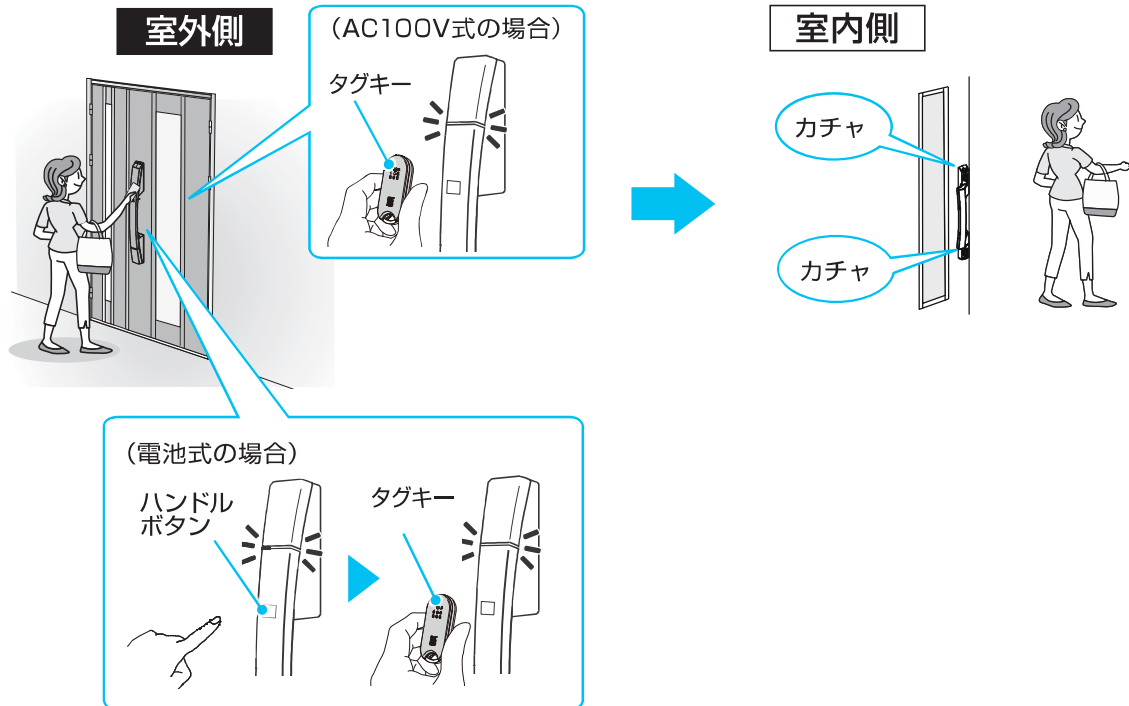
リモコンキー/スマートフォンでの解錠

- リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で解錠した場合やリモコン操作で解錠した場合、ドアを開いて室内に入り、ドアを閉めると上下2つの錠が自動施錠されます。



タグキーの解錠

- タグキーで解錠した場合、ドアを開いて室内に入り、ドアを閉めると上下2つの錠が自動施錠されます。



お願い

- ドアがしっかり閉まっていないと、自動施錠されません。
自動施錠を設定している場合でも、施錠された事を確認してください。

自動施錠されない例

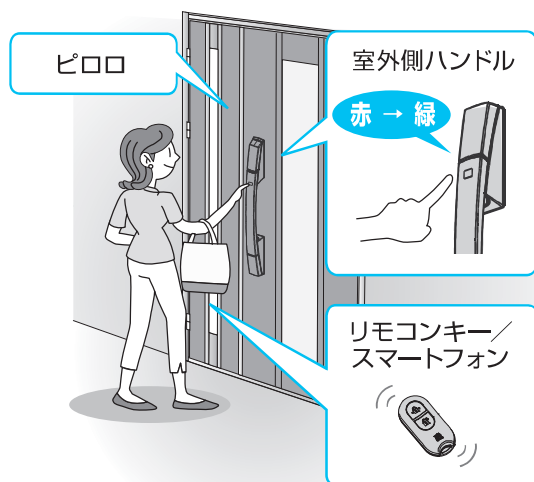
- 非常用収納カギまたは非常用カギやサムターン、操作盤付インターフェースユニットおよび増設操作盤 (AC100V 式の場合) で解錠した場合は、自動施錠されません。
- リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で解錠した場合、リモコン操作で解錠した場合、タグキーで解錠した場合でも扉を 25 秒以上開いたままにすると自動施錠されません。
- 他社製の電気錠操作器または電気錠コントローラーを使用した場合の自動施錠とは機能が異なります。詳しくは各システム機器の取扱説明書をご覧ください。(AC 100V 式の場合)

閉め出しに対するご注意

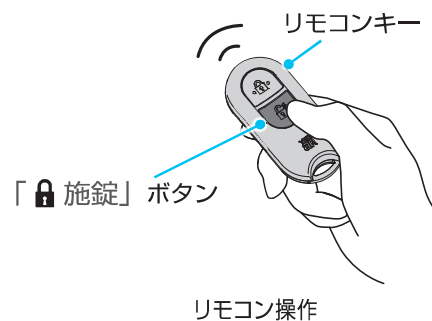
- 自動施錠を設定した場合、タグキー / リモコンキー / スマートフォンで解錠したあと、タグキー / リモコンキー / スマートフォンを室内に置いて外に出てドアを閉めないでください。自動施錠され、閉め出しになります。

室外側

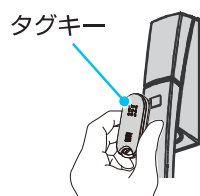
リモコンキー / タグキー / スマートフォンでの解錠



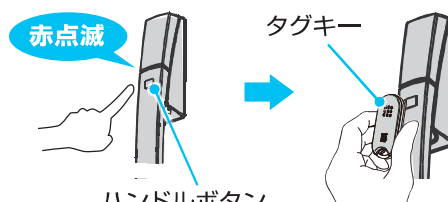
ハンドルボタン操作



リモコン操作



タグキー (AC100Vの場合)



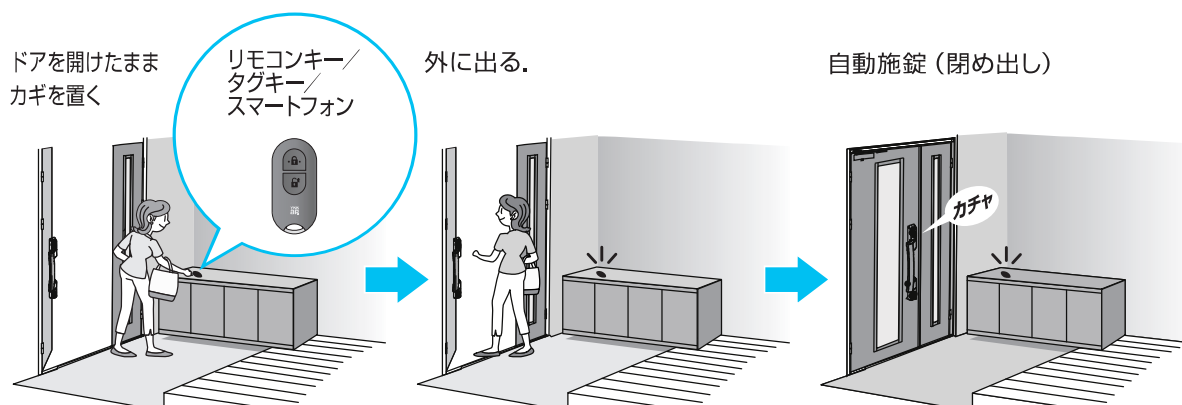
ハンドルボタン

タグキー (電池式の場合)

ドアを開け、室内に入る

室内側

リモコンキー / タグキー / スマートフォンを室内に置いたまま外へ



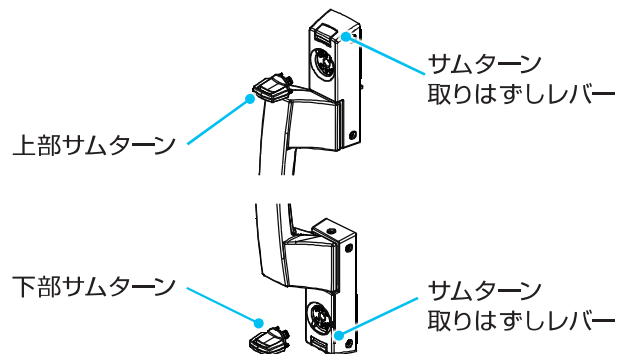
■タイマー施錠機能

- タグキー/リモコンキー/スマートフォン/操作盤付インターフェースユニットおよび増設操作盤で上下2箇所とも解錠しても25秒または50秒、ドアが開かなかった場合は、誤操作として再度自動的に施錠します。
- タイマー施錠機能は標準機能です。OFFにすることができません。
- タイマー施錠機能が働くまでの時間（25秒または50秒）を設定できます。
- 工場出荷時点では、「25秒」に設定されています。
- タイマー施錠機能の設定は、「タイマー施錠機能の設定」（→P.69）に従って行ってください。

■サムターンの脱着

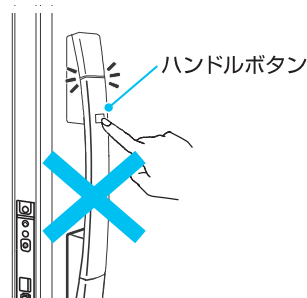
- 取りはずしたサムターンは、紛失しないようご注意ください。
- 取り付ける時、施錠時はヨコ、解錠時はタテ向きに差し込んでください。

- サムターンはサムターン取りはずしレバーを押して取りはずしができます。
- 外出時・就寝時などに取りはずしておく、万が一ガラスを割られても、サムターンを使った手動操作による解錠ができません。



■ハンドルボタン操作ON／OFF切り替え機能

- リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で施錠／解錠する機能をON／OFF切り替えることができます。
- 「OFF」に設定すると、リモコンキー、スマートフォンでのハンドルボタン操作ができなくなります。
- 工場出荷時点では、「ON」に設定されています。
- ハンドルボタン操作の設定は、「ハンドルボタン操作の設定」（→P.73）に従って行ってください。



お知らせ機能

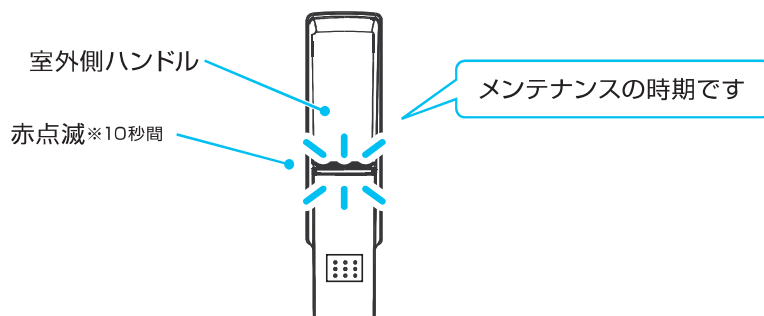
■点検時期お知らせ機能

- スマートコントロールキーを長く安心してご使用いただくために定期的に点検をおすすめしています。点検時期については、ハンドルのランプと音声ガイドでお知らせします。
- 点検の時期がきましたら、当社窓口までお問い合わせください。

●電装商品に関するお問い合わせ

☎ 0120-177-881

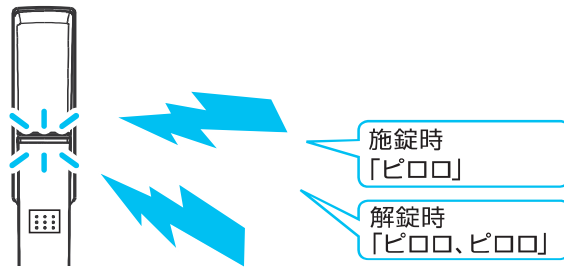
使用を開始してから約10年経過または約10万回開閉されると一定期間、施錠／解錠後に室外側ハンドルのランプが10秒間赤色点滅し、音声ガイドが「メンテナンスの時期です」と案内が流れます。製品が点検時期にきていることをお知らせする機能です。一定期間経過すると通知は終了します。



- ※点検時のお知らせ（赤点滅）は約1週間で通知期間が終了しますが、使用状況により変動します。
- ※音声ガイドは、点検時期のお知らせが始まってから、タグキー/リモコンキー/スマートフォンでの解錠操作20回まで流れます。
- ※通知期間中にドアを開けた状態で、登録済みリモコンキーを持ち、ハンドルボタンを5秒間押すか、（電池式の場合はハンドルボタンを押してから）タグキーを5秒間近づけることで、通知期間終了前にお知らせ機能を終了させることもできます。

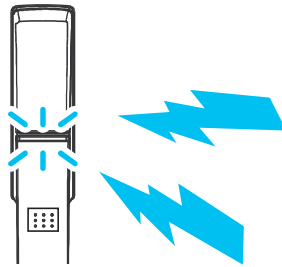
■動作確認音のON／OFF切り替え機能

- タグキー/リモコンキー/スマートフォンで施錠/解錠する際の動作確認音のON／OFF切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「ON」に設定されています。
- 動作確認音の設定は、「動作確認音の設定」(→P.71)に従って行ってください。
- 音声ガイド、エラー音(ブザー音)は消えません。



■音量の大／小 切り替え機能

- 音声ガイドの音量を大／小 切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「大」に設定されています。
- 音量の設定は、「音量の設定」(→P.75)に従って行ってください。
- 動作確認音、エラー音(ブザー音)の音量は変わりません。



ドア本体操作でのキーの登録・削除

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

この章ではドア本体を操作してのカギの登録と削除について説明します。

各モードの説明

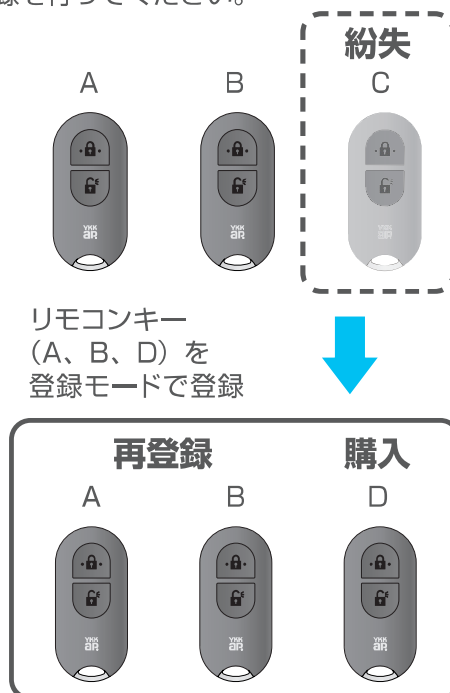
スマートコントロールキーに搭載されているモードについて説明しています。
現在の状況に合わせてモードを選択し、リモコンキー、タグキーを登録してください。

■登録モード

- ・リモコンキー、タグキーを登録するモードです。
 - ・登録モードで登録を実行すると、以前あった同種のカギ情報を削除して、新たな登録情報を上書きします。（リモコンキーを登録した場合は、以前のすべてのリモコンキーの登録情報が上書き保存されますが、別種のカギであるタグキーの情報は削除されません。）
 - ・以前の登録情報を残したまま、キーを登録したいときは、追加登録モードをご利用ください。（→P.53）
 - ・登録モードでリモコンキーを登録するときは、使用するすべてのリモコンキーを登録してください。
 - ・登録モードでタグキーを登録するときは、使用するすべてのタグキーを登録してください。
 - ・万一、リモコンキーやタグキーを一つでも紛失した場合は、残りのすべてのリモコンキー、またはタグキーを登録モードで再登録して、紛失したカギの情報を無効にしてください。（紛失以前までの登録情報は削除され、カギ情報は上書きされます。）
- ※リモコンキーやタグキーを再登録しても、スマートフォンの情報は削除されません。
※リモコンキーを再登録しても、タグキーの情報は削除されません。
タグキーを紛失した場合は、タグキーの再登録を行ってください。
※タグキーを再登録してもリモコンキーの情報は削除されません。
リモコンキーを紛失した場合は、リモコンキーの再登録を行ってください。

（例）
お使いのリモコンキー（C）を紛失し、
新しいリモコンキー（D）を購入して
登録したい場合・・・

紛失したリモコンキー（C）の情報が削除され、
リモコンキー（A、B、D）を登録できます



■スマートフォン登録モード

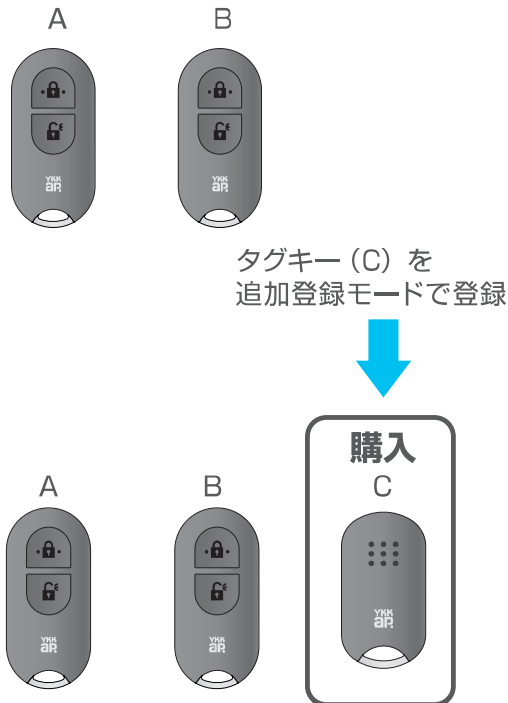
- ・現在、お使いのスマートフォンを管理用スマートフォンとして登録するモードです。
- ・スマートフォンを登録すると、アプリを使って、キーの管理（登録／削除／名前設定）や各種設定をすることができます。詳細は「スマートフォンを登録する」（➡P.78）を参照してください。

■追加登録モード

- ・新たに購入したリモコンキー、タグキーを追加登録するモードです。
 - ・リモコンキー、タグキーを新たに追加したい時に、
現在お使いのリモコンキー、タグキーの情報を残しつつ、登録することができます。
- ※追加登録モードでリモコンキー、タグキーを登録しても、
現在お使いのリモコンキー、タグキーの情報は削除されません。

（例）

お使いのリモコンキー（A、B）に加えて、
タグキー（C）を追加したい場合・・・



お使いのリモコンキーの情報はそのまま、
タグキー（C）を追加登録できます

■削除モード

- ・現在登録されている、すべてのリモコンキー／タグキー／スマートフォンの情報を一括で削除するモードです。
- ・次のような場合、削除モードを使うと便利です。
 - ・リモコンキー／タグキー／スマートフォンの登録状況がわからなくなったので削除して、登録し直したい
 - ・お施主様がお引っ越しされる時

※スマートフォンを登録している場合は、削除を行った後、スマートフォンごとに「ドア（電気錠）の削除」（➡P.116）と「Bluetooth® ペ어링情報の削除」（➡P.177）もセットで行ってください。

※ドア本体操作では、リモコンキー／タグキー／スマートフォンを1台ずつ削除することはできません。
管理用スマートフォンを登録することで、管理用スマートフォンからの操作で個別削除ができるようになります。
（「スマートフォン専用アプリ「スマートコントロール」」をインストールする（➡P.77）を参照）

登録モードの選択

登録したい状況に合わせた登録モードを紹介しています。

下記を参考にリモコンキー、タグキー、スマートフォンを登録してください。

- リモコンキー、タグキーを登録する前に、事前準備が必要です。
詳細は、「登録・削除前の準備」(➡P.45)をご確認ください。
登録前の準備をした上で、下記参照先をご覧ください。

想定されるシーン	使用するモード	作業手順
初めてリモコンキー／タグキーを登録する	登録モード	P.47
新しいリモコンキー／タグキーを購入したので、追加で登録する	追加登録モード	P.53
使用していたリモコンキー／タグキーを紛失したため、改めてリモコンキー／タグキーを再登録する(※1)	登録モード	P.47
初めてスマートフォンを登録する ※1台目の登録は管理用スマートフォンとなります 「登録するスマートフォンの種類」	スマートフォン登録モード	P.78
リモコンキー／タグキー／スマートフォンのすべての登録を削除したい	削除モード	P.59

※1：非常用収納カギ付きのリモコンキー、タグキーを紛失した場合は、防犯配慮のため、シリンダーを交換することを推奨しています。

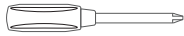
建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

- ・スマートフォン登録モードで専用アプリ「スマートコントロール」をインストールしたスマートフォンを登録すると、スマートフォンからの操作でカギの登録や削除などができるようになります。
- ・アプリのインストール方法については、「スマートフォン専用アプリ「スマートコントロール」をインストールする」(➡P.77)を参照ください。
- ・スマートフォンの機能については「スマートフォンを登録する」(➡P.78)を参照ください。

登録・削除前の準備

- 防犯配慮のため、必ずお施主様で自身で「工事用カギの無効化」(→ P.21)を行ってください。
- 防犯配慮のため、キーの登録は自身で行ってください。
- 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。

■用意するもの



プラスドライバー



ドアストッパー



非常用収納カギまたは非常用カギ

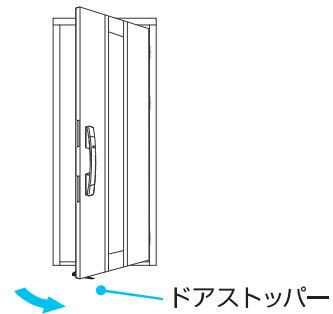
■登録前の準備

1

ドアを固定する

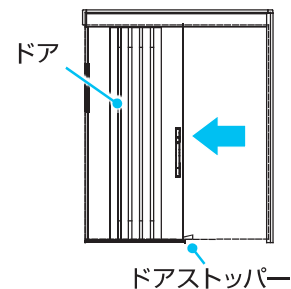
ドアの場合

ドアを開け、ドアストッパーなどで固定します。



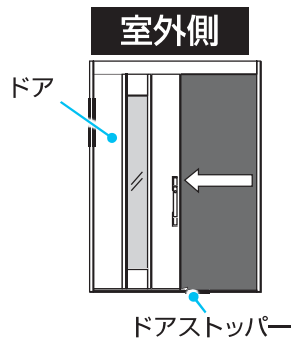
スライディングドアの場合

ドアを全開にして、ドアストッパーなどで固定します。



リニアシステムの場合

リニアシステムの電源を切ってから、ドアをドアストッパーなどで固定します。
「リニアシステムの電源の切り方」(→ P.61)

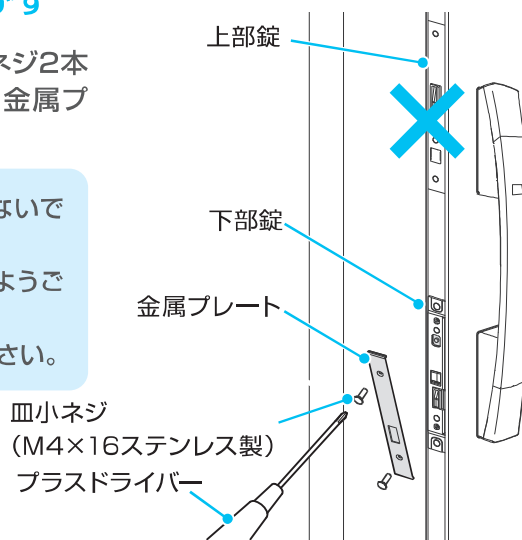


2

下部錠の金属プレートをはずす

下部錠の金属プレートの取り付けネジ2本をプラスドライバーで取りはずし、金属プレートをはずします。

- 上部錠の取り付けネジははずさないでください。
- ネジ、金属プレートをなくさないようご注意ください。
- 金属プレートの落下にご注意ください。



登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する

現在、登録されているリモコンキーの情報を削除しつつ、新たにリモコンキーを登録します。
お持ちのすべてのリモコンキーをご準備ください。



動画は玄関ドアで説明しています。

- 防犯配慮のため、キーの登録はお施主様自身で行ってください。
- 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「登録・削除前の準備」(→ P.45)

■用意するもの



使用するすべてのリモコンキー



使用するすべてのタグキー



非常用収納カギまたは非常用力ギ

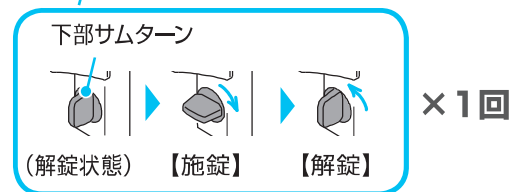
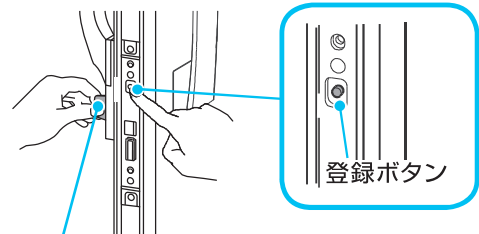
■登録手順

1

登録モードにする

登録ボタンを押しながら、下部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】の操作を1回行ってください。

※「登録モードです」と音声がかかります。

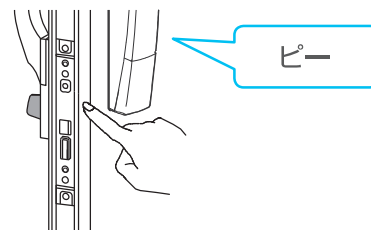


音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。

【登録モード】が確定します。

※【登録モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

※30秒間登録操作がない場合、自動で登録モードが終了します。

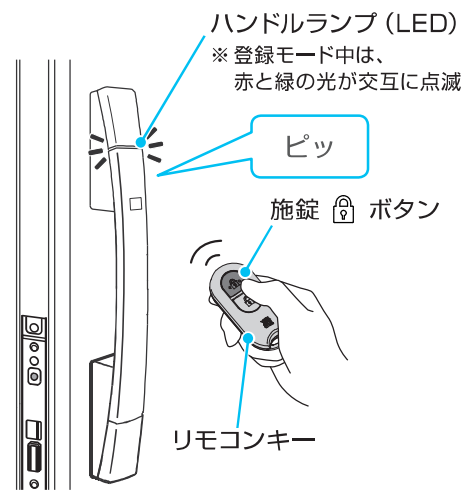


2 リモコンキー／タグキーを登録する

リモコンキーを登録する場合

リモコンキーの施錠ボタンを1回押してください。

※「ピッ」と短く音が鳴ります。

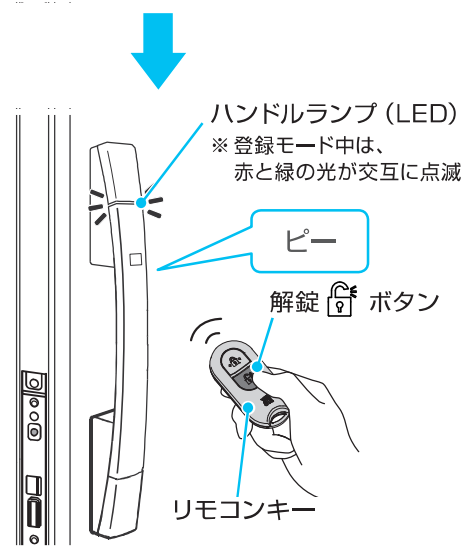


続けて、リモコンキーの解錠ボタンを1回押してください。

※「ピー」と音が鳴ります。

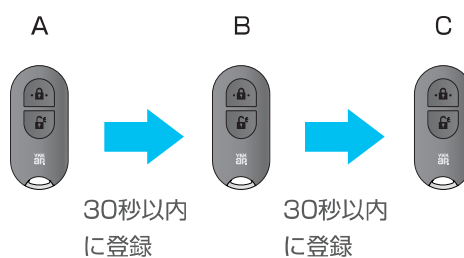
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。

- 最大 8 個まで登録できます。
- リモコンキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が出て、自動で登録モードを終了します。



状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	 登録完了	登録したリモコンキーで施錠／ 解錠できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声 flowed	 登録失敗	すでに登録済みのリモコンキー を登録しようとした
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声 flowed	 登録失敗	9個目のリモコンキーを登録し ようとした (リモコンキーは最大8個まで登 録できます)
「ピピピ」と音が鳴りハンドルの赤ランプが 3回点灯後「登録エラーです」と音声 flowed	 登録失敗	リモコンキーの登録で、ボタン を押す順番を間違えた

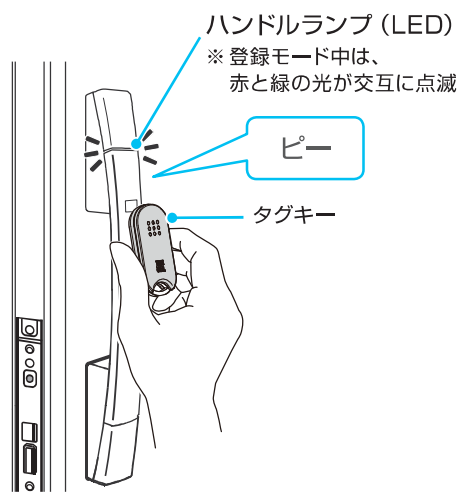
タグキーを登録する場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけてください。

※「ピー」と音が鳴ります。

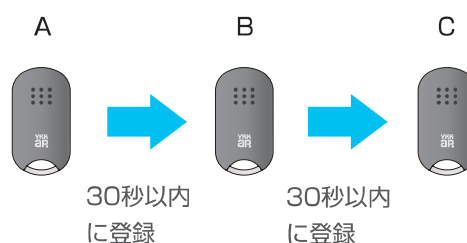
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。

- 最大 20 個まで登録できます。
- タグキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が出て、自動で登録モードを終了します。



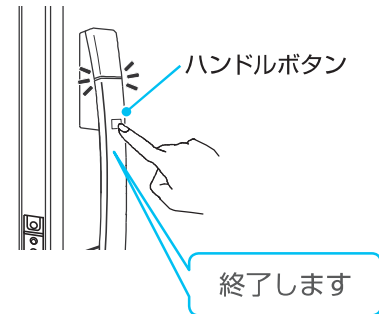
状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	登録完了	登録したタグキーで施錠／解錠 できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声が出て流れた	登録失敗	すでに登録済みのタグキーを登録 しようとした
「ピピピ」と音が鳴りハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声が出て流れた	登録失敗	21個目のタグキーを登録しよう とした(タグキーは最大20個まで 登録できます)

3 登録モードを終了する

ハンドルボタンを2秒以上押して登録モードを終了します。

※終了する際、「終了します」と音声がかかります。

※30秒間操作なしでも「終了します」の音声が流れて、自動で登録モードを終了します。



4 ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

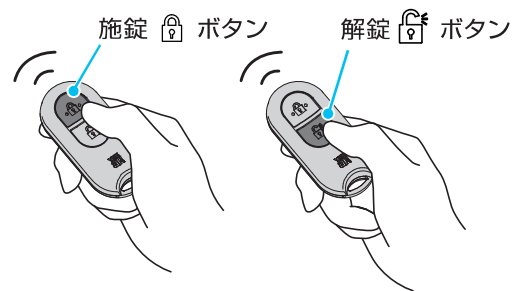
5 施錠 / 解錠の確認をする

登録したリモコンキー/タグキーで施解錠できるか確認します。

リモコンキーの確認

リモコンキーの施錠/解錠ボタンを押して、施解錠できるかを確認します。

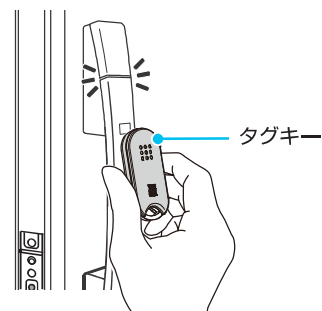
- 施錠／解錠ができないリモコンキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



タグキーの確認／AC100Vの場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけて、施解錠されるかを確認します。

- 施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。

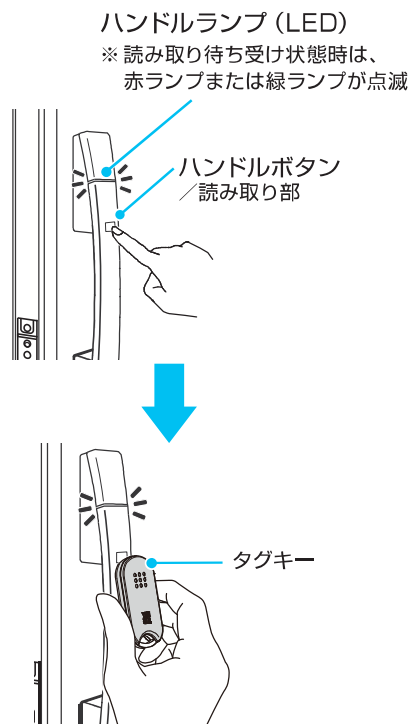


タグキーの確認／電池式の場合

ハンドルボタンを押して、読み取り待ち受け状態にしてから、タグキーをハンドル読み取り部に近づけて施解錠されるかを確認してください。

※読み取り待ち受け状態になると、ハンドルの赤ランプまたは緑ランプが点滅します。

- 施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



状態	状況	備考
〈リモコンキー/タグキー共通〉 「ビピビピビ」 と音が5回鳴り、 ハンドルの緑と赤ランプが交互に 5回点滅した	施錠／解錠失敗	• 施錠／解錠動作に異常が発生した場合は、(→P.45)を参照してください。 • 玄関ドアの場合は、錠受けを調整してください(→P.162)
〈タグキーの場合〉 ピーピーピーと音が3回鳴り ハンドルの赤ランプが3回点滅した	施錠／解錠失敗	• 登録していないタグキーがかざされた

6 下部錠の金属プレートを取り付ける

「登録前の準備」(→P.45)と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→P.62)

追加登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する

現在、登録されているリモコンキー／タグキーの情報は残しつつ、新たにリモコンキー／タグキーを追加登録します。
追加登録するすべてのリモコンキー／タグキーをご準備ください。



- 防犯配慮のため、キーの登録はお施主様自身で行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「登録・削除前の準備」(→ P.45)

■用意するもの



追加登録するリモコンキー



追加登録するタグキー



非常用収納カギまたは非常用カギ

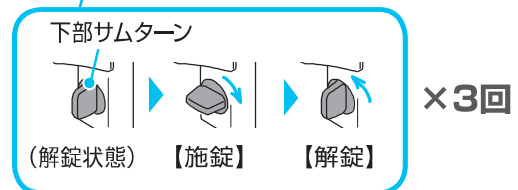
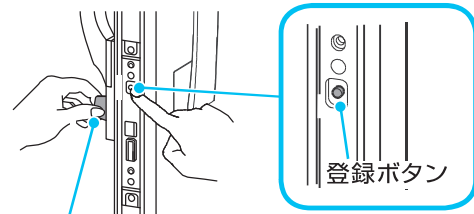
■登録手順

1

追加登録モードにする

登録ボタンを押しながら、下部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】を3回 行ってください。

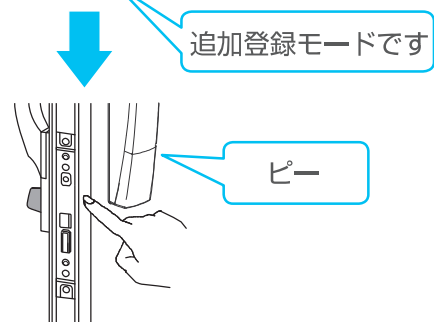
※「追加登録モードです」と音声流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【追加登録モード】が確定します。

※【追加登録モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

※30秒間登録操作がない場合、自動で登録モードを終了します。

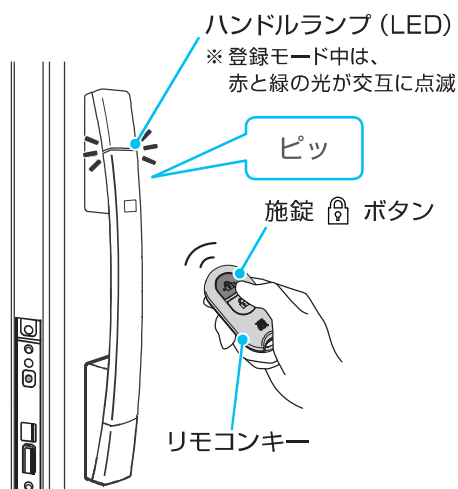


2

リモコンキーを登録する

リモコンキーの施錠ボタンを1回押してください。

※「ピッ」と短く音が鳴ります。

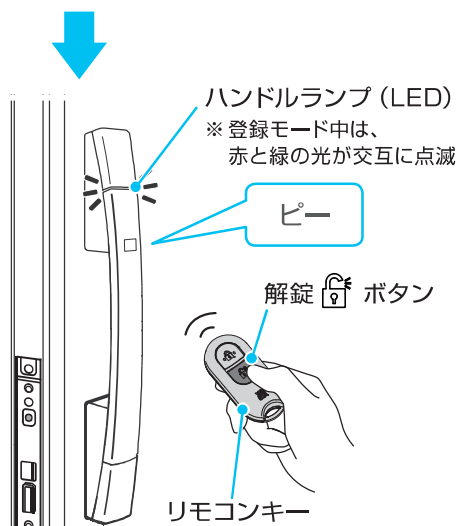


続けて、リモコンキーの解錠ボタンを1回押してください。

※「ピー」と音が鳴ります。

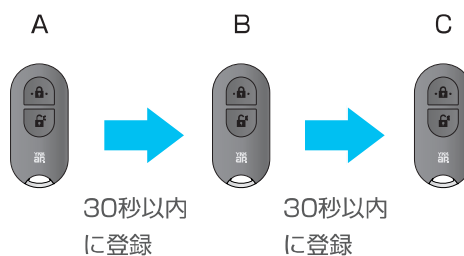
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。

- 最大8個まで登録できます。
- リモコンキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が出て、自動で登録モードを終了します。



状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	 登録完了	登録したリモコンキーで施錠／ 解錠できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声 flowed	 登録失敗	すでに登録済みのリモコンキー を登録しようとした
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声 flowed	 登録失敗	9個目のリモコンキーを登録し ようとした (リモコンキーは最大8個まで登 録できます)
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後 「登録エラーです」と音声 flowed	 登録失敗	リモコンキーの登録で、ボタン を押す順番を間違えた

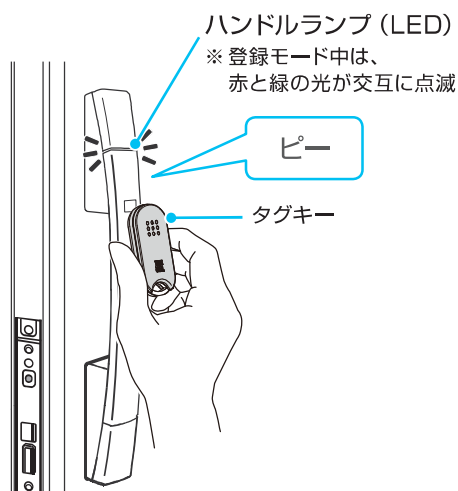
タグキーを登録する場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけてください。

※「ピー」と音が鳴ります。

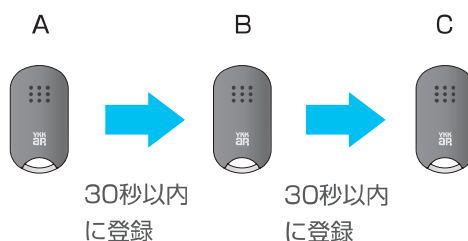
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。

- 最大 20 個まで登録できます。
- タグキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が出て、自動で登録モードを終了します。



状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	登録完了	登録したタグキーで施錠／解錠 できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声が出た	登録失敗	すでに登録済みのタグキーを登 録しようとした
「ピピピ」と音が鳴りハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声が出 れた	登録失敗	21個目のタグキーを登録しよう とした(タグキーは最大20個まで 登録できます)

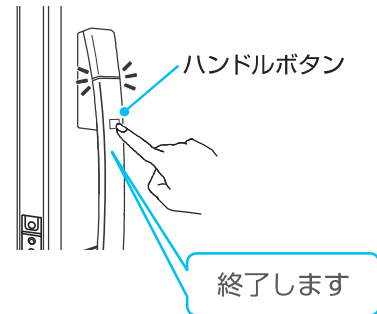
3

登録モードを終了する

ハンドルボタンを2秒以上押して登録モードを終了します。

※終了する際、「終了します」と音声がかかります。

※30秒間操作なしでも「終了します」の音声がかかって、自動で登録モードを終了します。



4

ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

5

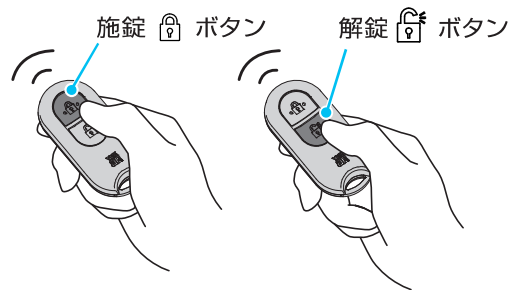
施錠 / 解錠の確認をする

登録したリモコンキー/タグキーで施解錠できるか確認します。

リモコンキーの確認

リモコンキーの施錠/解錠ボタンを押して、施解錠できるかを確認します。

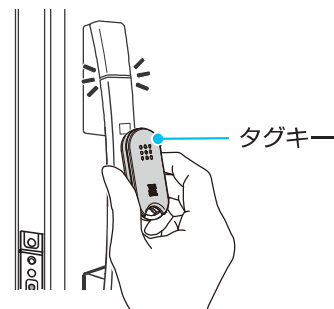
- 施錠／解錠ができないリモコンキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



タグキーの確認／AC100Vの場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけて、施解錠されるかを確認します。

- 施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。

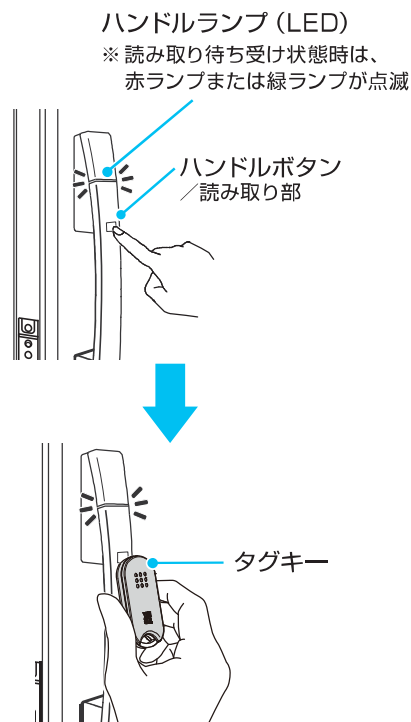


タグキーの確認／電池式の場合

ハンドルボタンを押して、読み取り待ち受け状態にしてから、タグキーをハンドル読み取り部に近づけて施解錠されるかを確認してください。

※読み取り待ち受け状態になると、ハンドルの赤ランプまたは緑ランプが点滅します。

- 施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



状態	状況	備考
〈リモコンキー/タグキー共通〉 「ピピピピピ」と音が5回鳴り、 ハンドルの緑と赤ランプが交互に 5回点滅した	施錠／解錠失敗	• 施錠／解錠動作に異常が発生した場合は、(→P.45)を参照してください。 • 玄関ドアの場合は、錠受けを調整してください (→P.162)
〈タグキーの場合〉 ピーピーピーと音が3回鳴り ハンドルの赤ランプが3回点滅した	施錠／解錠失敗	• 登録していないタグキーがかざされた

6

下部錠の金属プレートを取り付ける

「登録前の準備」(→P.45)と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→P.62)

削除モードですべてのキーの登録を削除する

現在、登録されているすべてのリモコンキー、タグキー、スマートフォンの情報を削除します。

- 削除の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納力ギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「登録・削除前の準備」(→ P.45)

■用意するもの



非常用収納力ギまたは非常用力ギ

■削除手順

1

削除モードにする

登録ボタンを押しながら、下部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】を4回 行ってください。

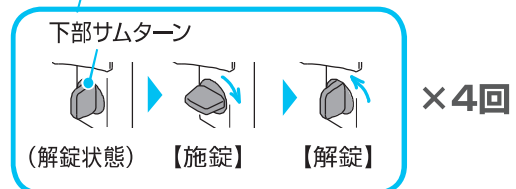
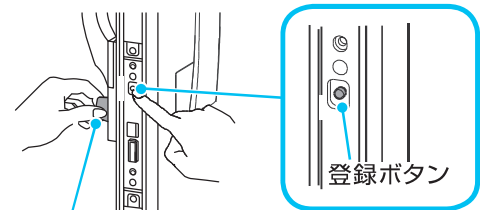
※「削除モードですべての登録を削除します」と音声流れます。

音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。

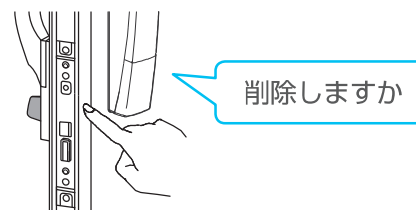
【削除モード】が確定します。

※【削除モード】が確定すると、「削除しますか」と音声流れます。

- 削除を中止する場合は、ハンドルボタンを2秒以上押してください。「終了します」と音声流れ、削除モードを終了します。
- 10秒間無操作でも「削除を中止します」と音声流れ、削除モードを中止します。



削除モードです。
すべての登録を
削除します



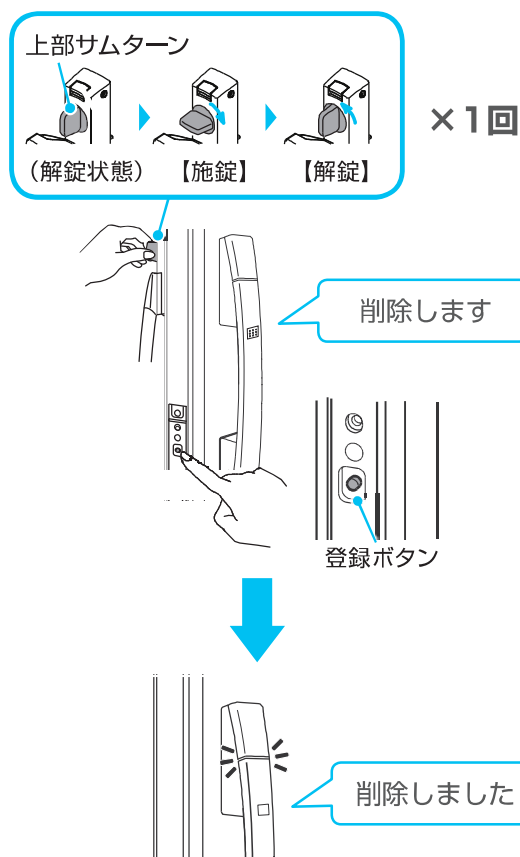
2 すべてのキーの登録を削除する

登録ボタンを押しながら、上部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】の操作を1回行ってください。

※「削除します」と音声がかかります。
※削除が完了したら、「削除しました」と音声がかかります。

これで削除完了し、削除モードを終了します。

- 削除に失敗した時は、「削除に失敗しました」と音声がかかります。再度、手順1からやり直してください。



3 ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

4 施錠／解錠の確認をする

お持ちのリモコンキー、タグキー、スマートフォンが使用できないことを確認します。

※削除後、アプリは「？」表示になります。



5 下部錠の金属プレートを取り付ける

「登録前の準備」(→P.45)と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→P.62)

リニアシステム：電源の入れ方/切り方

リニアシステムの場合、カギの登録・削除やドアの設定作業を行う際は、次の手順で電源を切り、作業完了後、電源を入れて復帰してください。

電源スイッチを入れた後、リニアシステムが「全開」、「全閉」の位置を記憶するため、初期設定動作として自動でドアが閉まります。

■電源を切る

お願い

- ドアが動いている状態で電源スイッチを切ると、ドアがそのまま惰性で動きます。必ずドアが止まっている状態で電源スイッチを切ってください。

1

ドアを全開保持状態にする

ドアが全開位置まで開いた状態で、ブザーが鳴るまでドアが閉まらないよう手で押さえます。

※ブザーが鳴り、全開状態が保持されます。

※全開保持機能については、リニアシステム用取扱説明書をご参照ください。

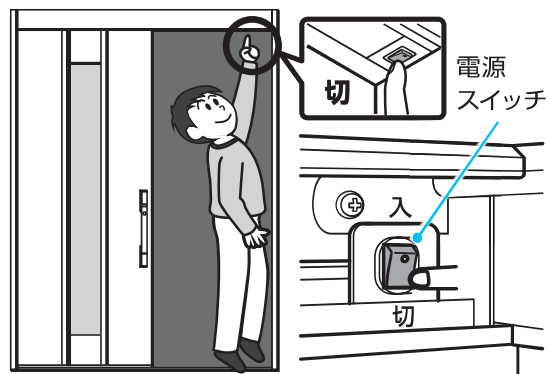


2

電源スイッチを切る

上枠の戸先側に設置された電源スイッチの「切」側を押し電源を切ります。

- 電源スイッチを切った後もスマートコントロールキーおよび顔認証ユニットの電源は切れません。それぞれの機能はそのままご使用になれます。

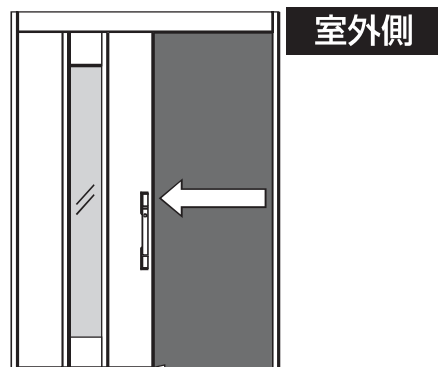


■電源を入れる

お願い

- 電源を入れた後は、ドアが自動で閉まってきます。
可動範囲内および検知エリア内に物を置かないようにしてください。
- 電源スイッチを操作する前に、ドアの可動範囲に障害物がないこと、開閉がスムーズに行えることをご確認ください。
- 脚立などをご使用になる場合は、ドアの開閉軌跡上に置かないでください。
スイッチ操作後にドア可動範囲からスムーズに離れられるように脚立を配置してください。
- 初期設定動作中は、比較的速い速度でドアが開閉します。
- 初期設定動作中は、ドアに触らないでください。
閉まりきらない、開閉動作が不安定など、正しく設定されていない場合があります。
正しく設定されていない場合、一度電源を切り、手順 1 から電源を入れ直してください。

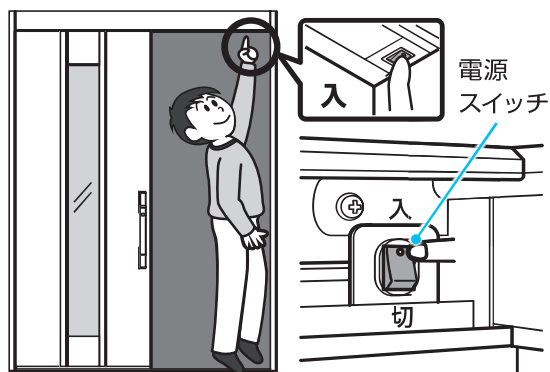
1 ドアを全開にする



2 電源を入れる

上枠の戸先側に設置された電源スイッチの「入」側を押し電源を入れます。

※数秒後、ドアが閉じ始めます。



3

自動でドアが閉まるのを待つ

ドアの可動範囲および検知エリアから離れて自動でドアが閉まるのを待ちます。



4

ドアを開ける

ドアが完全に閉まりきったことを確認してからドアを2cm以上開けてハンドルから手を離します。

※ドアが自動で開きます。



5

ドアが自動で閉まったことを確認する

ドアが全開位置まで開いた後、全閉位置まで自動で閉まります。

※初期設定が完了です。



ドア本体操作での各種設定

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

設定項目の選択

ドア本体から、各機能の設定・変更を行うことができます。

下記を参考に、各機能の設定・変更を行ってください。

また、各機能内容については、「スマートコントロールキーの機能」(→P.31)をご覧ください。

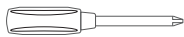
- 各種設定を行う前に、事前準備が必要です。詳細は「設定前の準備」(→P.65)をご確認ください。
設定前の準備を行った上で、下記参照先をご覧ください。

設定項目	各機能内容	作業手順
自動施錠機能	ドア（電気錠）の自動施錠機能をON／OFF設定できます。	P.67
タイマー施錠機能	タイマー施錠機能が働くまでの時間25秒／50秒を設定できます。	P.69
動作確認音のON／OFF 切り替え機能	施錠／解錠する際の動作確認音をON／OFF設定できます。	P.71
ハンドルボタン操作 ON／OFF切り替え機能	リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で施錠／解錠する機能をON／OFF設定できます。	P.73
音量の大／小切り替え機能	音声ガイドの音量を大／小設定できます。	P.75

設定前の準備

- 防犯配慮のため、必ずお施主様で自身で「工事用力ギの無効化」(→ P.21)を行ってください。
- 防犯配慮のため、キーの登録はお施主様自身で行ってください。
- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納力ギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。

■用意するもの



プラスドライバー



ドアストッパー



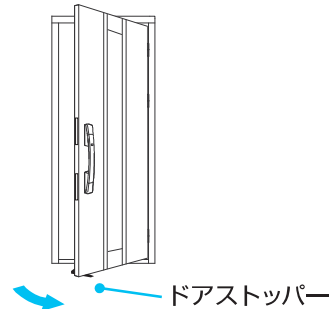
非常用収納力ギまたは非常用力ギ

■設定前の準備

1 ドアを固定する

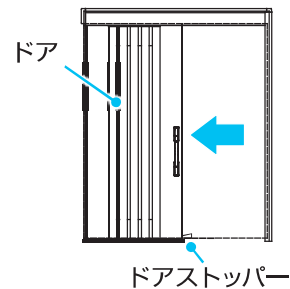
ドアの場合

ドアを開け、ドアストッパーなどで固定します。



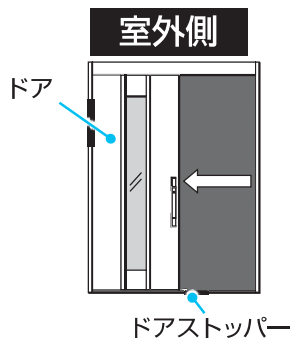
スライディングドアの場合

ドアを全開にして、ドアストッパーなどで固定します。



リニアシステムの場合

リニアシステムの電源を切ってから、ドアをドアストッパーなどで固定します。
「リニアシステムの電源の切り方」(→P.61)

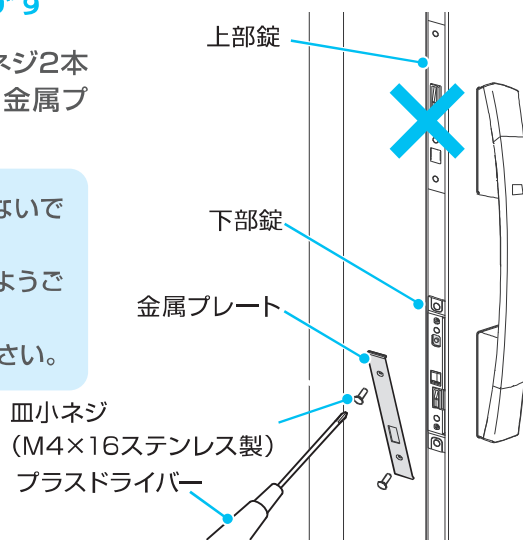


2

下部錠の金属プレートをはずす

下部錠の金属プレートの取り付けネジ2本をプラスドライバーで取りはずし、金属プレートをはずします。

- 上部錠の取り付けネジははずさないでください。
- ネジ、金属プレートをなくさないようご注意ください。
- 金属プレートの落下にご注意ください。



自動施錠機能の設定

- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(→ P.65)

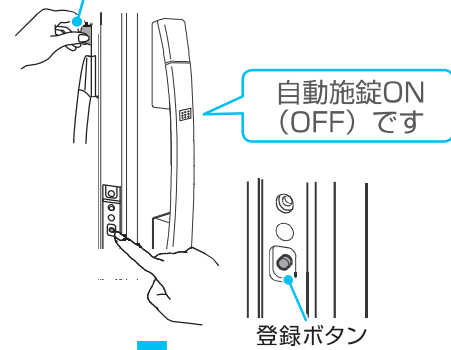
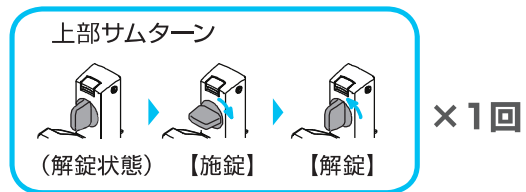
■ 設定手順

1

自動施錠機能設定モードにする

登録ボタンを押しながら、上部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】の操作を1回行ってください。

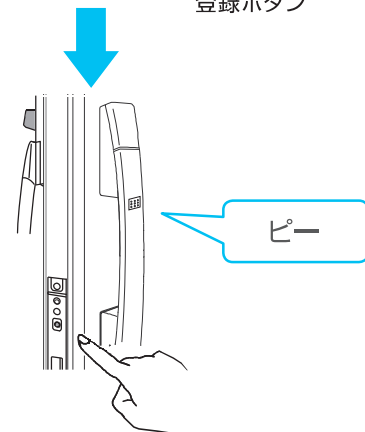
※「自動施錠ON (OFF) です」と現在の設定状態が音声で流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。

【自動施錠機能設定モード】が確定します。

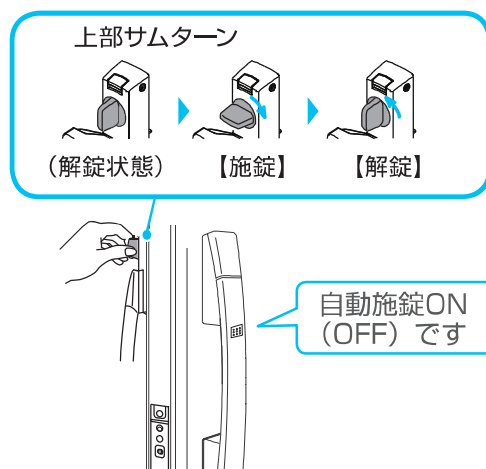
※【自動施錠機能設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。



2 自動施錠の設定・解除をする

登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。

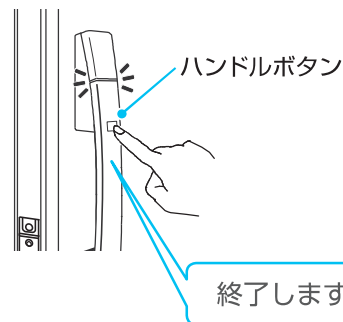
- ※「ON（OFF）です」と音声が出ます。
設定したい場合は、「ONです」
解除したい場合は、「OFFです」
の音声を確認してください。
- ※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
ON／OFFが切り替わります。



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

- ※ 設定モードを終了します。
- ※ 10秒間無操作でも設定モードを終了します。
- ※ 「終了します」と音声が出ます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」(→P.65)と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

- ※ リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→ P.62)

● 他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

タイマー施錠機能の設定

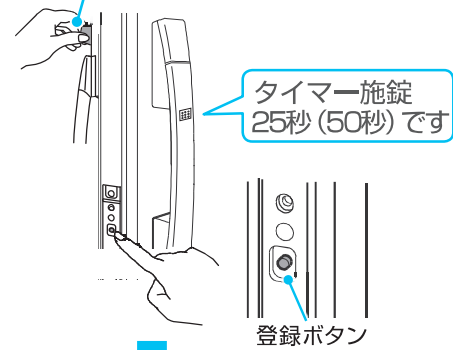
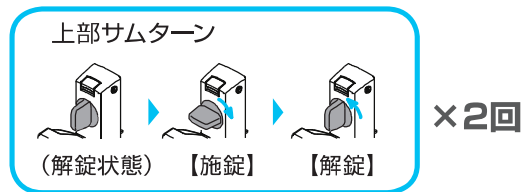
- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(→ P.65)

■ 設定手順

1 タイマー施錠機能設定モードにする

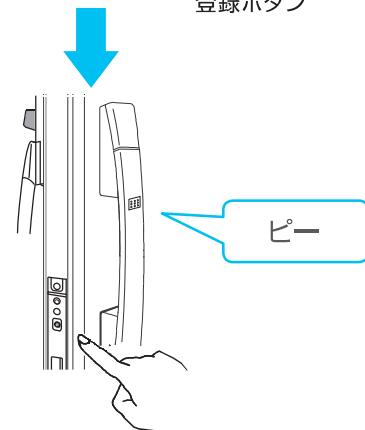
登録ボタンを押しながら、上部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】の操作を2回行ってください。

※「タイマー施錠25秒(50秒)です」と現在の設定状態が音声で流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【タイマー施錠機能設定モード】が確定します。

※【タイマー施錠機能設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

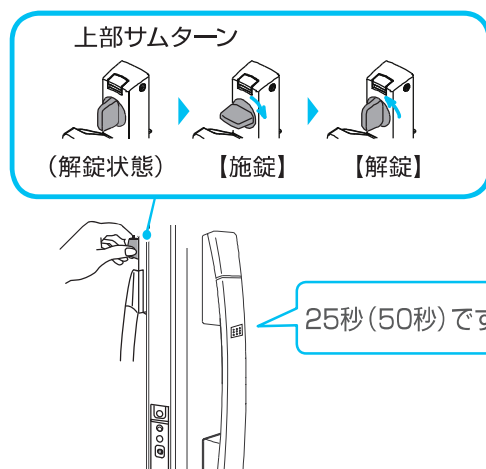


2 タイマー施錠の設定をする

登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。

※「25秒（50秒）です」と音声が出ます。
25秒に設定したい場合は、「25秒です」
50秒に設定したい場合は、「50秒です」
の音声を確認してください。

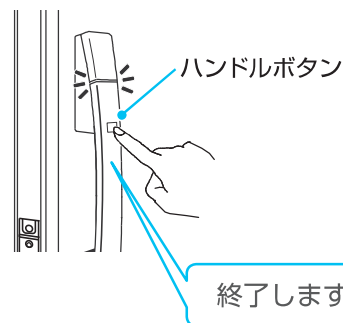
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
25秒／50秒が切り替わります。



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※ 設定モードを終了します。
※ 10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※ 「終了します」と音声が出ます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」(→P.65) と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして
電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→ P.62)

● 他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

動作確認音の設定

- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(→ P.65)

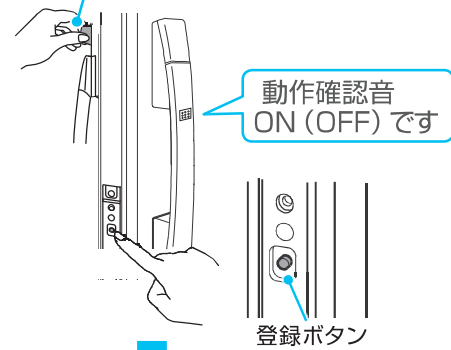
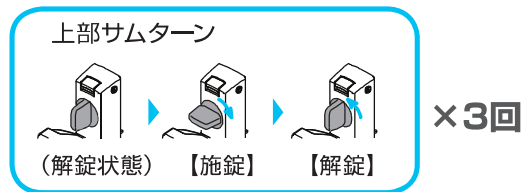
■ 設定手順

1

動作確認音設定モードにする

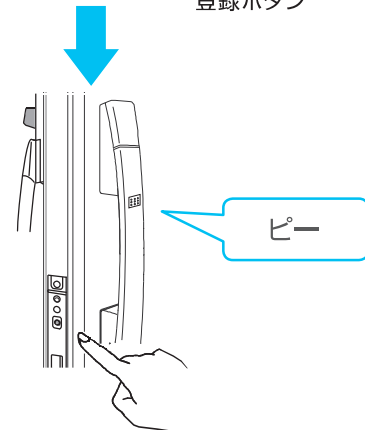
登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を**3回** 行ってくだ
さい。

※「動作確認音ON (OFF) です」と現在の
設定状態が音声で流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をは
なしてください。
【動作確認音設定モード】が確定します。

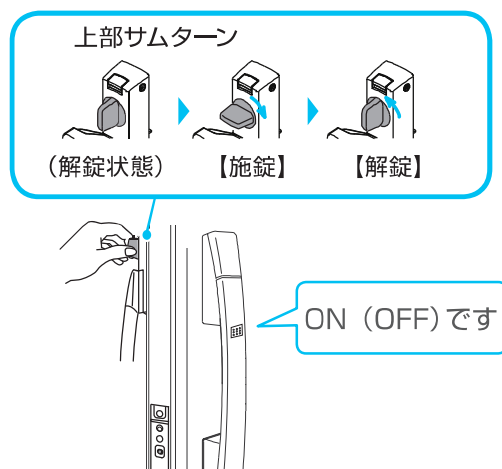
※【動作確認音設定モード】が確定すると、
「ピー」と音が鳴ります。



2 動作確認音のON/OFFを切り替える

登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。

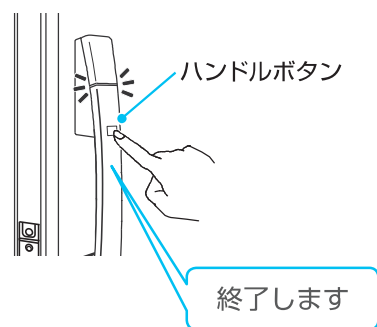
- ※「ON（OFF）です」と音声流れます。
設定したい場合は、「ONです」
解除したい場合は、「OFFです」
の音声を確認してください。
- ※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
ON/OFFが切り替わります。



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

- ※ 設定モードを終了します。
- ※ 10秒間無操作でも設定モードを終了します。
- ※ 「終了します」と音声流れます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」(→P.65)と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

- ※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→P.62)

● 他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

ハンドルボタン操作の設定

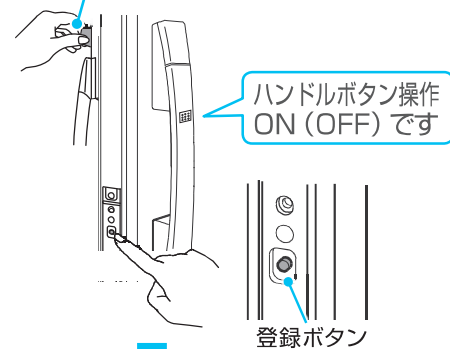
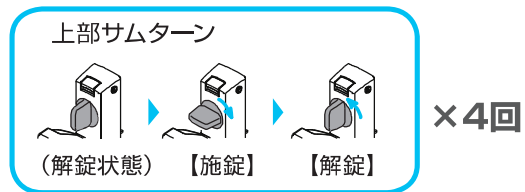
- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(→ P.65)

■ 設定手順

1 ハンドルボタン操作設定モードにする

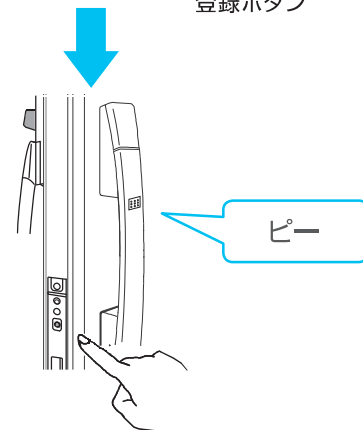
登録ボタンを押しながら、上部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】の操作を4回行ってください。

※「ハンドルボタン操作ON (OFF) です」と現在の設定状態が音声で流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【ハンドルボタン操作設定モード】が確定します。

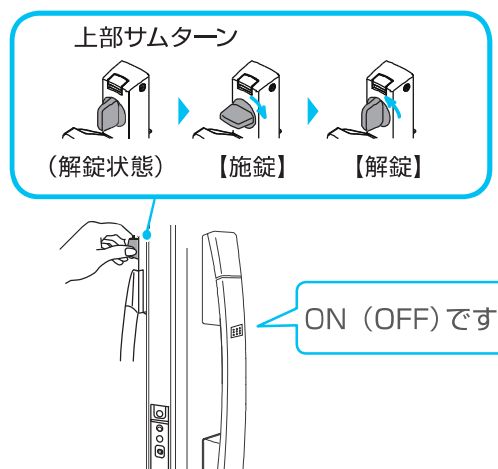
※【ハンドルボタン操作設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。



2 ハンドルボタン操作のON／OFFを切り替える

登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。

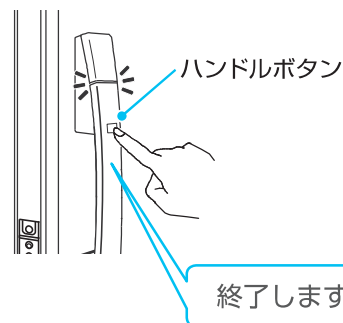
- ※「ON（OFF）です」と音声がかかります。
- 設定したい場合は、「ONです」
- 解除したい場合は、「OFFです」
- の音声を確認してください。
- ※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
ON／OFFが切り替わります



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

- ※ 設定モードを終了します。
- ※ 10秒間無操作でも設定モードを終了します。
- ※ 「終了します」と音声がかかります。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」(→P.65)と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

- ※ リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→ P.62)

● 他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

音量の設定

- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納力ギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(→ P.65)

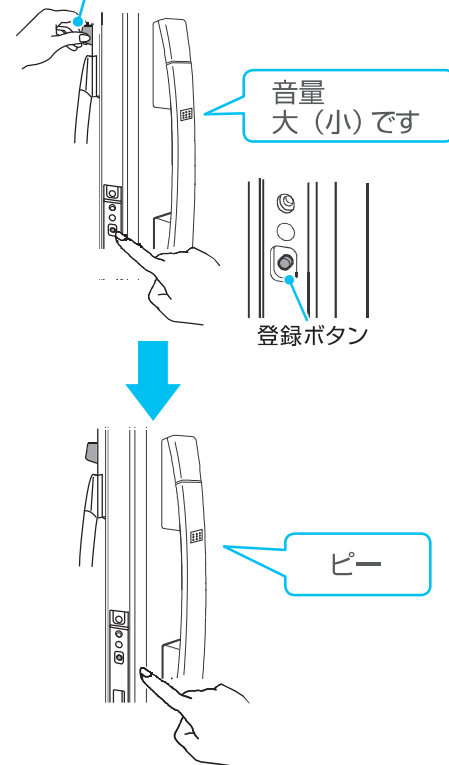
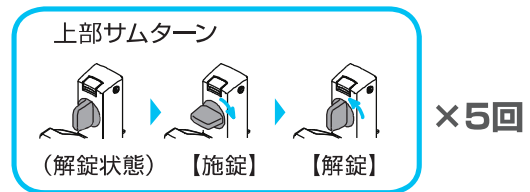
■ 設定手順

1

音量設定モードにする

登録ボタンを押しながら、上部サムターンを解錠状態から【施錠】⇒【解錠】の操作を5回行ってください。

※「音量大（小）です」と現在の設定状態が音声で流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。

【音量設定モード】が確定します。

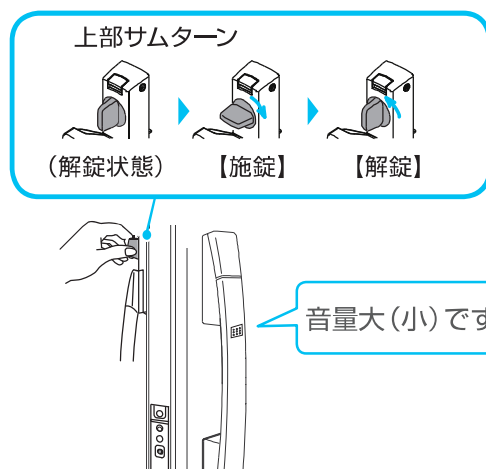
※【音量設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

2 音量の大／小を切り替える

登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。

※「音量大（小）です」と音声が出ます。
音量を大きくしたい場合は、「音量大です」
音量を小さくしたい場合は、「音量小です」
の音声を確認してください。

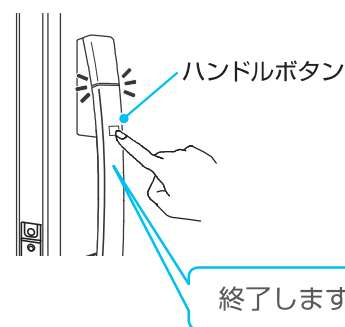
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
大／小が切り替わります



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※ 設定モードを終了します。
※ 10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※ 「終了します」と音声が出ます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」(→P.65) と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→ P.62)

● 他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

スマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」をインストールする

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

スマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」とは

お使いのスマートフォンに専用アプリ「スマートコントロールキー」をインストールし、ドア(電気錠)に登録することで、アプリを通してスマートフォンから施錠/解錠操作ができます。また、管理用スマートフォン(→P.80)では施錠/解錠操作の他に、アプリを通してドア(電気錠)の設定やカギの登録・削除、履歴の確認などができます。

専用アプリ「スマートコントロールキー」の動作確認済みスマートフォン
<https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/>



- 専用アプリ「スマートコントロールキー」は Bluetooth® を使用してドア(電気錠)と接続し、施錠/解錠操作などを行います。アプリを使用する際は、スマートフォンの Bluetooth® 機能を“ON”にしてください。
- 専用アプリ「スマートコントロールキー」は、バックグラウンドで Bluetooth® を用いてドア(電気錠)と接続するため、スマートフォンの位置情報にアクセスします。アプリを使用する際は、スマートフォンの位置情報を ON にし、アプリに「位置情報のアクセス」を許可してください。

専用アプリをインストールする

お使いのスマートフォンに専用アプリ「スマートコントロールキー」をインストールします。

ダウンロードはこちらから



スマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」をインストールする

スマートフォンの登録・削除

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

スマートフォンを登録する

■登録するスマートフォンの種類

- 防犯配慮のため、スマートフォンの登録はお施主様自身で行ってください。
- 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。

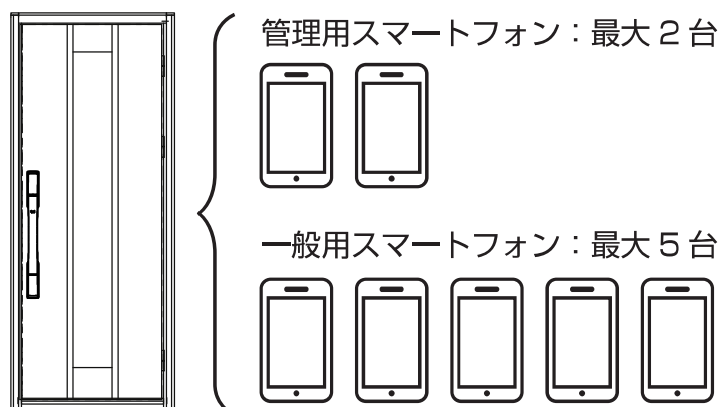
スマートフォンは管理用/一般用を選んで登録することができます。
それぞれできることが異なりますので、下記を参照し登録するスマートフォンを選んでください。
※1台目の登録は、必ず管理用スマートフォンになります。

スマートフォンの種類	できること	登録方法
管理用スマートフォン	・ドア(電気錠)の施錠/解錠操作 ・ドア(電気錠)の設定、カギの登録削除 ・施解錠履歴/設定履歴などの確認	P.80
一般用スマートフォン	・ドア(電気錠)の施錠/解錠操作	P.91

管理用/一般用スマートフォンの機能詳細は
「管理用/一般用スマートフォンの機能一覧」(→P.79)

■スマートフォンの登録台数

ドア(電気錠)1台に対して、管理用スマートフォンを最大2台、一般用スマートフォンを最大5台登録できます。



管理用/一般用スマートフォンの機能一覧

操作／機能		機能説明	管理用	一般用	参照先
施錠／ 解錠機能	リモコン操作	アプリメイン画面の[施錠]アイコン/[解錠]アイコンをタップし、施錠/解錠します。	○	○	P.113
	ハンドルボタン 操作	アプリを起動したスマートフォンを携帯し、 ハンドルボタン操作で施錠/解錠します。	○	○	
スマートフォンのスリープ機能		ハンドルボタン操作の作動範囲内に放置されたスマートフォンは、一時的に反応しない状態となります。	○	○	P.114
ドア(電気錠)の追加		スマートフォンにドア(電気錠)を追加登録できます。	○	○	P.115
ドア(電気錠)の削除		スマートフォンからドア(電気錠)の登録を削除できます。	○	○	P.116
ハンドル ボタン操作	ON/OFF設定	スマートフォンごとにハンドルボタン操作のON/OFFを設定します。	○	○	P.119
	操作範囲の設定	スマートフォンごとにハンドルボタン操作範囲を3段階「大/中/小」で設定します。	○	○	P.120
	操作範囲の リセット	スマートフォンごとにハンドルボタン操作範囲の基準を再設定します。	○	○	P.121
ドア(電気錠)の名前更新		ドア(電気錠)の名前を更新します。	○	○	P.122
本体設定	自動施錠機能の設定	自動施錠機能のON/OFFを設定します。	○	×	P.127
	タイマー施錠機能の設定	タイマー施錠機能の時間（25秒/50秒）を設定します。	○	×	P.128
	動作確認音の設定	動作確認音のON/OFFを設定します。	○	×	P.128
	ハンドル ボタン 操作	すべてのハンドルボタン操作に対して一括でON/OFFを設定します。	○	×	P.129
		リモコンキーでの操作	○	×	P.129
カギの管理	タグキーの管理	追加登録/個別削除/名前を設定します。	○	×	P.130
	リモコンキーの管理	追加登録/個別削除/名前を設定します。	○	×	
	スマートフォンの管理	追加登録/個別削除/名前を設定します。	○	×	
名前設定		ドア(電気錠)の名前を設定します。	○	×	P.136
パスワードの 管理	パスワードの設定	パスワードを設定します。	○	×	P.136
履歴確認	スマートフォンの履歴	スマートフォンごとに自身の施錠/解錠履歴を確認できます。	○	○	P.124
	施錠／解錠の履歴確認	すべての施錠/解錠の履歴を確認できます。	○	×	P.139
	設定変更の履歴確認	設定の履歴を確認できます。	○	×	P.140
	エラー通知の履歴確認	エラー通知の履歴を確認できます。	○	×	P.141
情報確認	商品のバージョン確認	商品のバージョンを確認できます。	○	○	P.111
	商品のアップデート	商品のバージョンをアップデートできます。	○	×	P.144
	お知らせの確認	電池交換時期や点検時期のお知らせを確認できます。	○	○	-
	取扱説明書	当社WEBサイトへ移動し、取扱説明書を閲覧できます。	○	○	-
	保証書登録	当社WEBサイトへ移動し、保証書を登録できます。	○	○	-
	利用規約	本アプリの利用規約を閲覧できます。	○	○	-
	プライバシーポリシー	本アプリのプライバシーポリシーを閲覧できます。	○	○	-

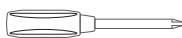
管理用スマートフォンを登録する

- 防犯配慮のため、スマートフォンの登録はお施主様自身で行ってください。
 - 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯して行ってください。
- ・ 管理用スマートフォンの登録方法について説明します。
登録するスマートフォンの種類は（「■登録するスマートフォンの種類」(→P.78)) をご確認ください。
 - ・ 管理用スマートフォンは2台まで登録できます。
 - ・ 1台目の管理用スマートフォンの登録は、ドア本体を操作して登録します。
 - ・ この章では、ドア本体操作による管理用スマートフォンの登録について説明します。
 - ・ 2台目の管理用スマートフォンは、1台目の管理用スマートフォンからの操作で登録できます。
（「スマートフォンの追加登録」(→P.133)） また、1台目と同様にドア本体操作でも登録できます。

■用意するもの



管理用として
登録するスマートフォン



プラスドライバー



ドアストッパー



非常用力ギ または
非常用収納カギ

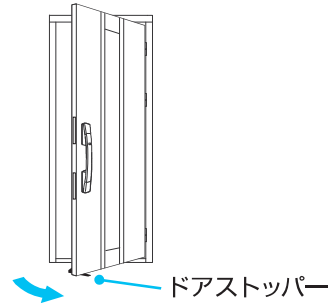
■登録手順

1

ドアを固定する

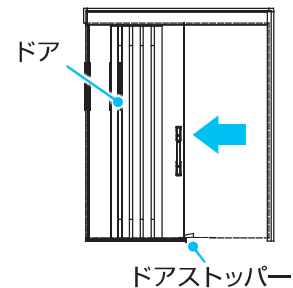
ドアの場合

ドアを開け、ドアストッパーなどで固定します。



スライディングドアの場合

ドアを全開にして、ドアストッパーなどで固定します。

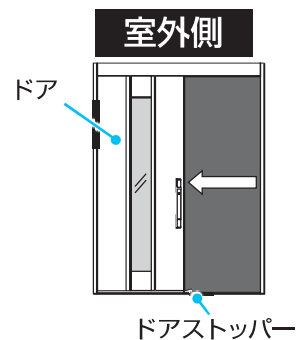


リニアシステムの場合

リニアシステムの電源を切ってから、ドアをドアストッパーなどで固定します。

「リニアシステムの電源の切り方」

(→P.61)

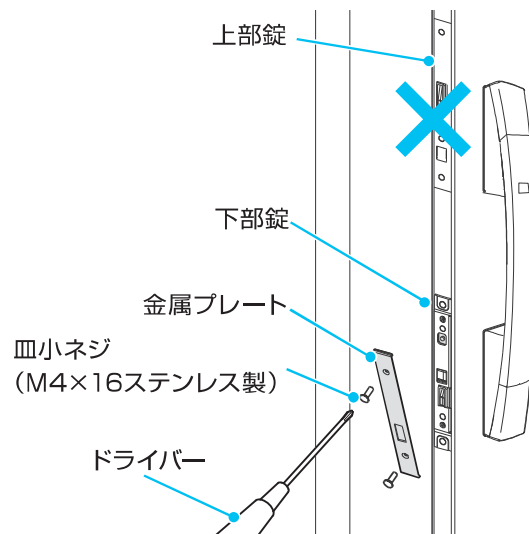


2

下部錠の金属プレートははずす

下部錠の金属プレートの取り付けネジ2本をドライバーで取りはずし、金属プレートははずします。

- 上部錠の取り付けネジははずさないでください。
- ネジ、金属プレートをなくさないようご注意ください。
- 金属プレートの落下にご注意ください。



3

アプリを起動する

アプリを起動してください。



4

Bluetooth® 機能の使用、位置情報へのアクセスを許可する

【許可】を選択します。

※【許可しない】を選択すると、アプリをご利用いただけません。

※端末/OSによっては、画面表示が異なる場合があります。



管理用スマートフォン

5

利用規約に同意する

利用規約をよくお読みになり、同意いただける場合は、同意するにチェックを入れ、【続ける】をタップします。



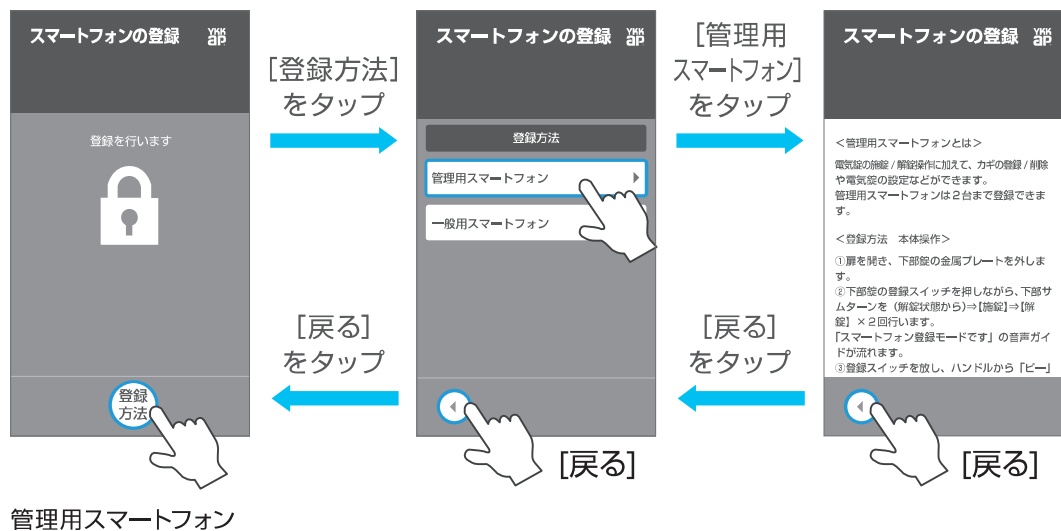
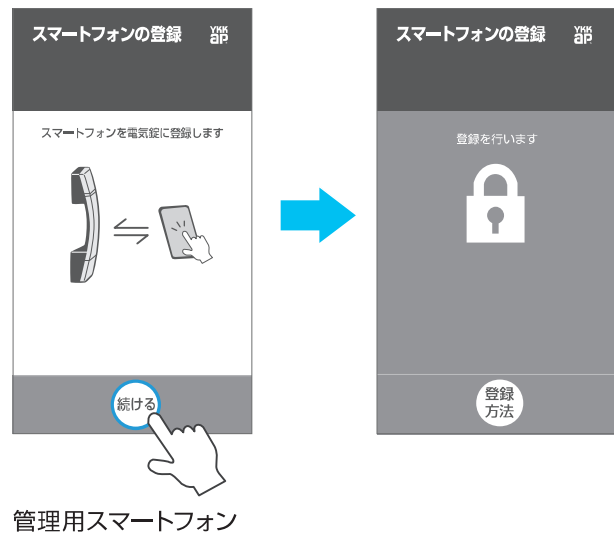
管理用スマートフォン

6

「スマートフォンの登録」に進む

【続ける】をタップし、登録画面になったことを確認します。

※「登録方法」から管理用スマートフォンの登録方法を確認することができます。
手順7へ進む際は、【戻る】アイコンをタップして登録画面に戻してください。



7 スマートフォン登録モードにする

お願い

- 手順 7 ～ 11 の作業では次の点にご注意ください。
 - ・ 各手順の作業をそれぞれ 30 秒以内に行ってください。
30 秒経過するとスマートフォン登録モードが自動で終了し、中断されますので、作業を開始する前に手順 7 ～ 11 の内容をご一読ください。。
 - ・ 各手順の作業でスマートフォンの「戻る」アイコンをタップしないでください。
作業が中断されるおそれがあります。
万一、登録作業を中断された場合は、手順 7 からやり直してください。

手順 7	スマートフォン登録モードにする。
------	------------------



手順 8	スマートコントロールキーを登録する。(30秒以内に設定)
------	------------------------------



手順 9	パスワードを設定する。(30秒以内に設定)
------	-----------------------



手順 10	「続ける」をタップする。(30秒以内に設定)
-------	------------------------

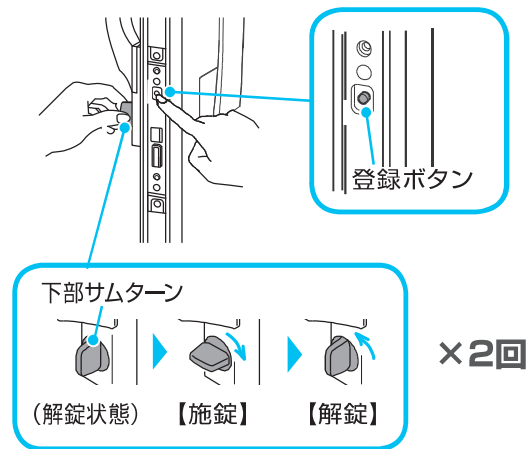


手順 11	ドア（電気錠）の名前を設定する。(30秒以内に設定)
-------	----------------------------

- 作業を中断された場合、スマートフォンにドア（電気錠）の Bluetooth® 情報が残る場合があります。手順 7 から登録をやり直す前に Bluetooth® 情報を削除してください。
（「Bluetooth® ペ어링情報の削除」(→ P.177)）
Bluetooth® 情報が残っていると正常に登録できない場合があります。

下部錠の登録ボタンを押しながら、
下部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を2回 行ってく
ださい。

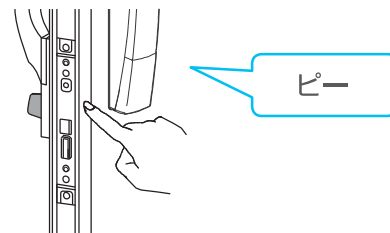
※「スマートフォン登録モードです」と音声
が流れます。



スマートフォン
登録モードです
登録ボタンをはなす

音声を確認したら、登録ボタンから指を
はなしてください。
【スマートフォン登録モード】が確定します。

※【スマートフォン登録モード】が確定すると、
「ピー」と音が鳴ります。



- 30 秒以内に手順 8 へ進んでください。
- 30 秒間操作がないと【スマートフォン登録モード】は自動で終了し、中断されます。
中断した場合は、やり直してください。

8

ドア（電気錠）を登録する

アプリの登録画面に登録する
ドア（電気錠）【SCK〇〇】が表示
されていることを確認します。

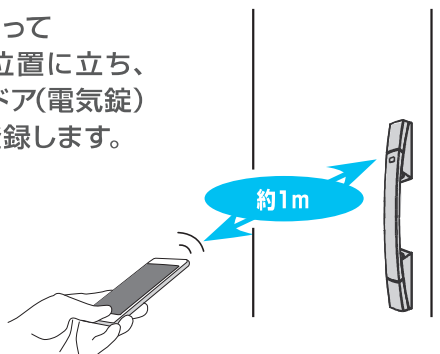
※ “〇〇” はランダムな数字です。



管理用スマートフォン



登録するスマートフォンを持って
室外ハンドルから約1mの位置に立ち、
登録画面に表示されているドア（電気錠）
【SCK〇〇】をタップして登録します。



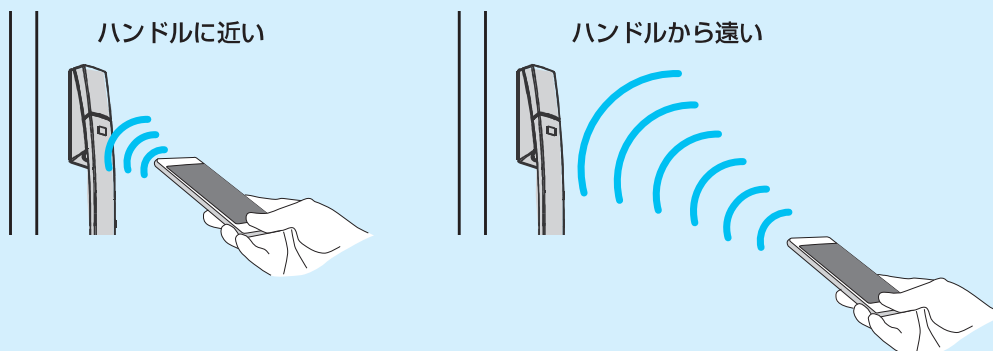
- スマートフォンから Bluetooth[®] 機器のペアリングを要求される場合は、30 秒以内に同意してください。端末や OS によっては表示が異なる場合があります。



【SCK〇〇】の
表示をタップ

- 手順8のスマートコントロールキー【SCK ○○】をタップした位置が、スマートフォンのハンドルボタン操作範囲の基準となります。（「ハンドルボタン操作の操作範囲設定」（→ P.120））

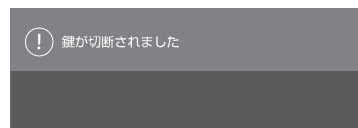
室外ハンドルから近い位置でタップした場合、ハンドルボタン操作範囲が狭くなります。反対に室外ハンドルから離れた位置（1m 以上）でタップした場合、ハンドルボタン操作範囲は広がりますが、スマートフォンの保管禁止エリアも広がるので、ご注意ください。



- 作業の途中で、スマートフォンの「戻る」ボタンをタップしないでください。作業が中断されるおそれがあります。
- 30 秒以内に手順 9 へ進んでください。
- 30 秒間操作がないと【スマートフォン登録モード】は自動で終了し、中断されます。中断した場合は、手順7からやり直してください。

登録に失敗した時、アプリ画面上部にエラー通知が表示されます。（エラー通知は数秒間表示後、消えます）下記の表を参照し、エラー内容に合わせて登録作業をやり直してください。

エラー通知（赤い帯） ↓



エラー通知		考えられる要因	対処方法	参照
アプリ通知	音声ガイド			
カギが切断されました	なし	作業を30秒間で完了できなかった。	Bluetooth® のペアリング情報がないことを確認し、手順7からやり直してください。	P.84
「SCK」のカギが登録できませんでした	なし	スマートフォンにBluetooth® のペアリング情報が残っている可能性があります。	Bluetooth® のペアリング情報を削除して、手順7からやり直してください。（ペアリング情報がない場合は、そのまま作業をやり直してください）	P.177： Bluetooth® ペアリング 情報の削除
「SCK」のカギが登録できませんでした	「登録数が最大です」	スマートフォンの登録台数が最大に達しています。管理用スマートフォンは最大2台まで登録できます。	登録をやり直すスマートフォンにBluetooth® のペアリング情報が残っていないことを確認してください。その後、ドア（電気錠）から不要な管理用スマートフォンを削除し、手順7からやり直してください。	P.99： スマートフォンを 削除する

9

パスワードを設定する

30秒以内にパスワード「111111」（数字6桁）を入力し、「登録」をタップします。

- 登録が完了した後、必ず施主様自身でパスワードを変更してください。パスワードは任意の数字（6桁）です。
「パスワードの設定」(→ P.136)
- パスワードは、キーの登録・削除や各種機能の設定の際に使用します。メモを取るなどして紛失しないようにご注意ください。
- 作業の途中で、スマートフォンの「戻る」ボタンをタップしないでください。作業が中断されるおそれがあります。
- 30秒以内に手順10へ進んでください。
- 30秒間操作がないと【スマートフォン登録モード】は自動で終了し、中断されます。中断した場合は Bluetooth® のペアリング情報がないことを確認した後、手順7からやり直してください。



管理用スマートフォン

10

【続ける】をタップする

30秒以内に【続ける】をタップします。

※この段階ではまだ登録は完了していません。

- 作業の途中で、スマートフォンの「戻る」ボタンをタップしないでください。作業が中断されるおそれがあります。
- 30秒以内に手順11へ進んでください
- 30秒間操作がないと【スマートフォン登録モード】は自動で終了し、中断されます。中断した場合はもう一度、手順7からやり直してください。



管理用スマートフォン

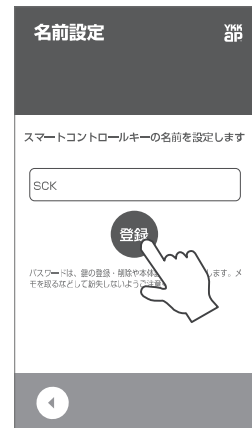
11 ドア（電気錠）の名前を設定し、スマートフォンの登録を完了する

30秒以内に初期設定の『SCK』のまま【登録】をタップします。以上で登録完了です。

※登録が完了すると「終了します」と音声流れ、【スマートフォン登録モード】が終了します。

※2台目の管理用スマートフォンの登録では、名前設定はありません。

- スマートコントロールキーの名前は、管理用スマートフォン登録後にも変更可能です。「■名前設定」(→ P.136)



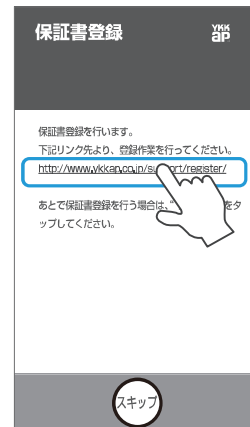
管理用スマートフォン

12 保証書を登録する

画面に表示されているリンクよりホームページに移動し、保証書の登録を行ってください。

※保証書を登録していただくと、保証期間が1年から2年に延長されます。

※保証書登録はスキップできます。あとで保証書を登録する場合や、既に登録している場合は、【スキップ】をタップしてください。



管理用スマートフォン

13 メイン画面へ移動する

情報画面が表示されたら【戻る】アイコンをタップしてメイン画面へ移動します。



【戻る】

情報画面

管理用スマートフォン

【戻る】
をタップ



メイン画面

14

ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

15

施錠／解錠の確認をする

メイン画面の[施錠アイコン]
[解錠アイコン] をタップして
施錠/解錠されることを確認します。



管理用スマートフォン

16

下部錠の金属プレートを取り付ける

手順1 (→P.81) と同じように再度ドアを固定し、
取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(→P.62)

- 2 台目の管理用スマートフォンをドア本体操作で登録する場合は、金属プレートを取り付ける前に、手順 3 ～ 15 を行って登録してください。
また 2 台目の管理用スマートフォンは、1 台目の管理用スマートフォンからの操作で登録することもできます。 (「スマートフォンの追加登録」(→ P.133))

一般用スマートフォンを登録する

- 防犯配慮のため、スマートフォンの登録はお施主様自身で行ってください。
- 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。

- ・ 一般用スマートフォンの登録方法について説明します。
- ・ 登録するスマートフォンの種類は（「■登録するスマートフォンの種類」（→P.78））をご確認ください。
- ・ 一般用スマートフォンは5台まで登録できます。
- ・ 一般用スマートフォンは登録済みの管理用スマートフォンを使って登録します。
- ・ ドア本体操作では登録できません。

■用意するもの



■登録手順

1 アプリを起動する

登録するスマートフォンでアプリを起動してください。

一般用として登録するスマートフォンでの操作



2 Bluetooth® 機能の使用、位置情報へのアクセスを許可する

【許可】を選択します。

※【許可しない】を選択すると、アプリをご利用いただけません。

※端末/OSによっては、画面表示が異なる場合があります。

一般用として登録する
スマートフォンでの操作



一般用スマートフォン

3 利用規約に同意する

利用規約をよくお読みになり、同意いただける場合は、同意するにチェックを入れ、【続ける】をタップします。

一般用として登録する
スマートフォンでの操作



一般用スマートフォン

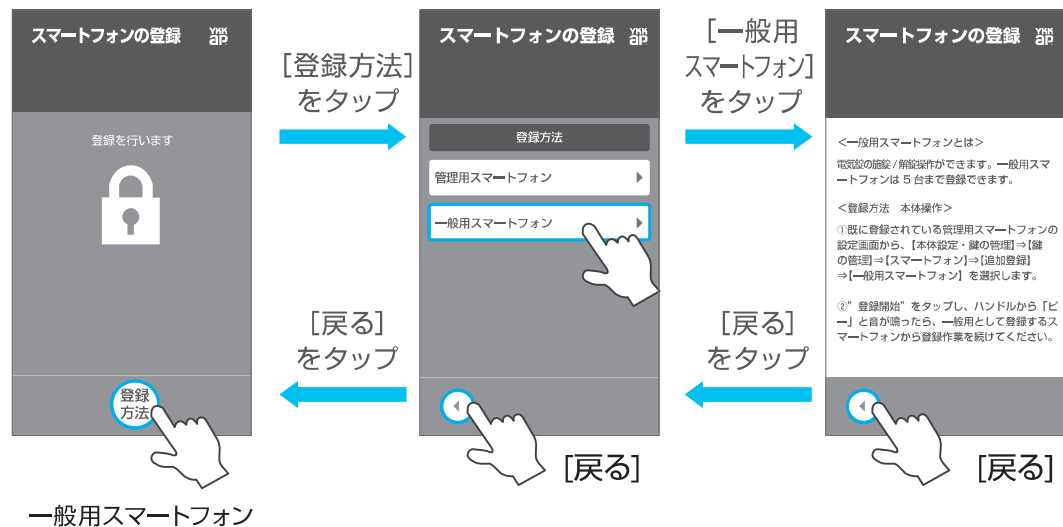
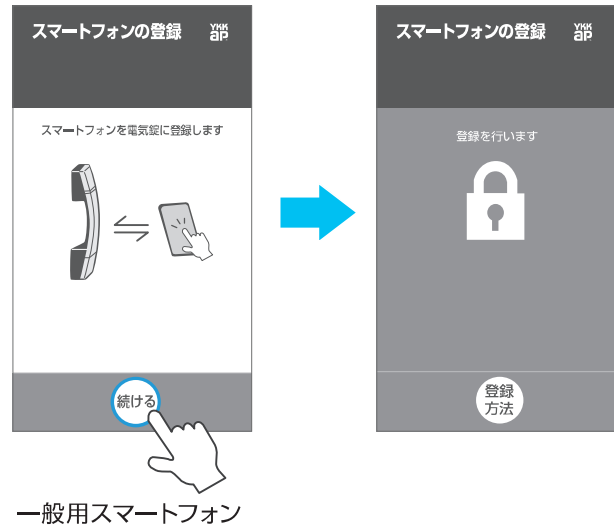
4

「スマートフォンの登録」に進む

【続ける】をタップし、登録画面になったことを確認します。

※「登録方法」から一般用スマートフォンの登録方法を確認することができます。
手順5へ進む際は、[戻る] アイコンをタップして登録画面に戻してください。

一般用として登録する
スマートフォンでの操作



5 スマートフォン登録モードにする

管理用スマートフォンのアプリで、下記の順にタップし、スマートフォン登録モードにします。

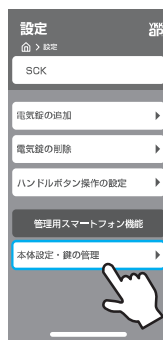
登録済みの管理用
スマートフォンでの操作

①【設定】

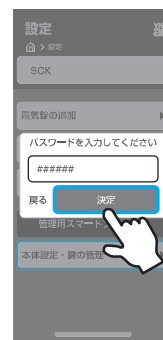


管理用スマートフォン

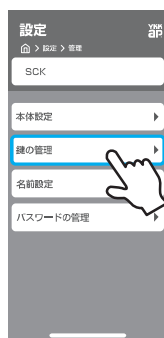
②【本体設定・カギの管理】



③【パスワードの入力】



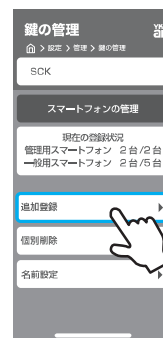
④【カギの管理】



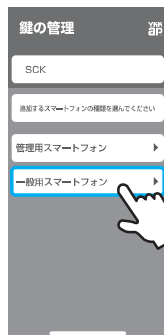
⑤【スマートフォン】



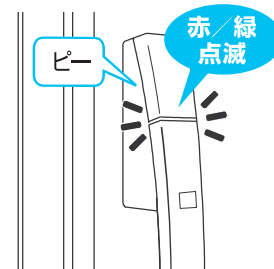
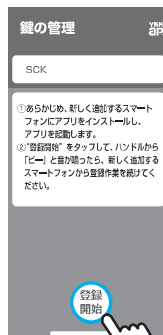
⑥【追加登録】



⑦【一般用スマートフォン】



⑧【登録開始】



※ドア本体が「ピー」となり、
【一般用スマートフォン登録モード】
になります。

※アプリは、設定画面へ戻ります。

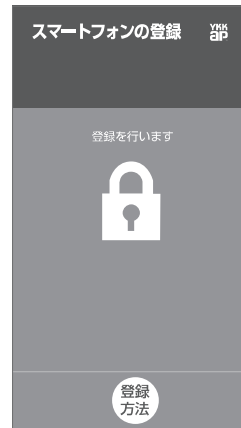
6

スマートコントロールキーを登録する

アプリの登録画面に登録するスマートコントロールキー【SCK〇〇】が表示されていることを確認します。

※“〇〇”はランダムな数字です。

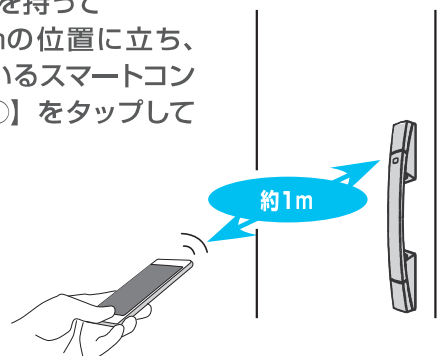
一般用として登録するスマートフォンでの操作



一般用スマートフォン



登録するスマートフォンを持って
室外ハンドルから約1mの位置に立ち、
登録画面に表示されているスマートコントロールキー【SCK〇〇】をタップして登録します。



【SCK〇〇】の表示をタップ

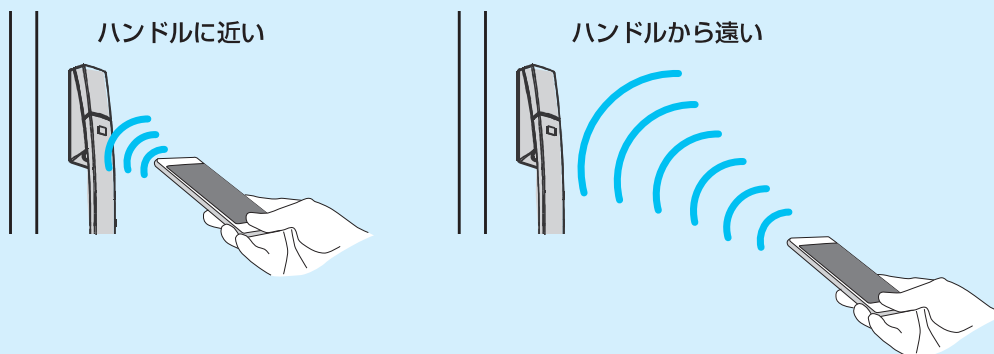
- スマートフォンから Bluetooth[®] 機器のペアリングを要求される場合は、30 秒以内に同意してください。端末や OS によっては表示が異なる場合があります。



スマートフォンの登録・削除

- 手順 6 のスマートコントロールキー【SCK ○○】をタップした位置が、スマートフォンのハンドルボタン操作範囲の基準となります。（「ハンドルボタン操作の操作範囲設定」（→ P.103））

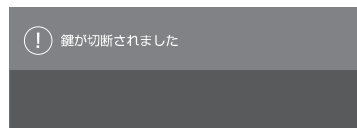
室外ハンドルから近い位置でタップした場合、ハンドルボタン操作範囲が狭くなります。反対に室外ハンドルから離れた位置（1m 以上）でタップした場合、ハンドルボタン操作範囲は広がりますが、スマートフォンの保管禁止エリアも広がるので、ご注意ください。



- 作業の途中で、スマートフォンの「戻る」ボタンをタップしないでください。作業が中断されるおそれがあります。
- 30 秒以内に手順 7 へ進んでください。
- 30 秒間操作がないと【スマートフォン登録モード】は自動で終了し、中断されます。中断した場合はもう一度、手順 5 からやり直してください。

登録に失敗した時、アプリ画面上部にエラー通知が表示されます。（エラー通知は数秒間表示後、消えます）下記の表を参照し、エラー内容に合わせて登録作業をやり直してください。

エラー通知（赤い帯） ↓



エラー通知		考えられる要因	対処方法	参照
アプリ通知	音声ガイド			
カギが切断されました	なし	作業を30秒間で完了できなかった。	Bluetooth® のペアリング情報がないことを確認し、手順5からやり直してください。	P.94
「SCK」のカギが登録できませんでした	なし	スマートフォンにBluetooth® のペアリング情報が残っている可能性があります。	Bluetooth® のペアリング情報を削除して、手順5からやり直してください。（ペアリング情報がない場合は、そのまま作業をやり直してください）	P.177： Bluetooth® ペアリング 情報の削除
「SCK」のカギが登録できませんでした	「登録数が最大です」	スマートフォンの登録台数が最大に達しています。一般用スマートフォンは最大5台まで登録できます。	登録をやり直すスマートフォンにBluetooth® のペアリング情報が残っていないことを確認してください。その後、ドア（電気錠）から不要な一般用スマートフォンを削除し、手順7からやり直してください。	P.99： スマートフォンを 削除する

7 メイン画面になったことを確認する

アプリがメイン画面に切り替わったことを確認します。



一般用スマートフォン

8 施錠／解錠の確認をする

新たに登録した一般用スマートフォンの「施錠ボタン」「解錠ボタン」をタップして、施錠／解錠されるかを確認します。



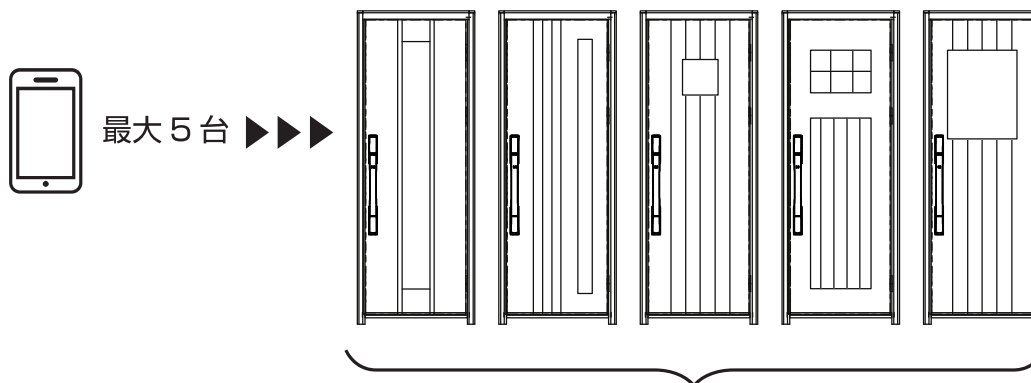
一般用スマートフォン

スマートフォンに複数のドア（電気錠）を登録する

スマートフォン1台に対し最大5台のドア（電気錠）を登録できます。

2世帯住宅などの登録に便利です。

最大5台のドア（電気錠）に対し、それぞれ管理用/一般用とスマートフォンの種類を選んで登録できます。



最大5台のドア（電気錠）を登録できます。

それぞれのドア（電気錠）に対し、それぞれ管理用/一般用を選んで登録できます。

※最大5台のドア（電気錠）に対し、管理用/一般用の台数制限はありません。

■作業手順

- ・「管理用／一般用スマートフォンでできること」>> 電気錠の追加（→P.115）を参照し、2台目以降のドア（電気錠）を登録してください。

スマートフォンを削除する

スマートフォンの登録を削除する手順について説明します。

削除の際は、次の3つの登録情報をすべて削除してください。

「スマートフォンの登録情報について」(→P.176))」

1. ドア（電気錠）に保存されるスマートフォンの登録情報
2. スマートフォン専用アプリ「スマートコントーラー」に保存されるドア（電気錠）の登録情報
3. スマートフォンに保存されるドア（電気錠）のBluetooth® ペ어링情報

※3つの登録情報を一度に削除することはできません。それぞれを個別に削除します。

※3つの登録情報は必ずすべて削除してください。いずれかの情報が残っているとスマートフォンの再登録する時などで支障をきたすおそれがあります。

※登録を削除し使わなくなったスマートフォンからは、専用アプリをアンインストールしてください。

削除するスマートフォンの種類や現在の登録状況によって、作業方法が異なります。

下記の表を参照し作業を行ってください。

削除する場面	削除理由	参照先
管理用スマートフォンを1台登録したが、その登録を削除したい（スマートフォンの登録が1台のみの時、そのスマートフォンは管理用スマートフォンとして登録されています）	・スマートフォンを使わなくなった ・スマートフォンが故障・紛失した	ケース1：P.100
管理用スマートフォンを2台登録したが、どちらか一方の登録を削除したい		ケース2：P.101
管理用スマートフォンを2台登録したが、2台とも登録を削除したい		ケース3：P.100
一般用スマートフォンの登録を1台または複数台削除したい		ケース4：P.101
すべてのスマートフォンの登録を削除したい	・スマートフォンの登録状況が分からなくなった ・転居などで登録情報を削除したい	ケース5：P.100

- ケース1：管理用スマートフォンを1台登録したが、その登録を削除したい
- ケース3：管理用スマートフォンを2台登録したが、2台ともを削除したい
- ケース5：すべてのスマートフォンの登録を削除したい

●作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯してください。

- ・本ケースの場合、ドア本体操作でのキー削除により、すべての管理用スマートフォン/一般用スマートフォンの登録を削除します。
- ・ドア本体操作でのキー削除を行うと、同時にリモコンキー/タグキーの登録もすべて削除されます。
- ・リモコンキー/タグキーを使用している場合は、キー削除後、再登録を行ってください。
「登録モードでの登録（→P.47）」
- ・登録を削除し使わなくなったスマートフォンからは、専用アプリを削除してください。

■用意するもの

- ・削除するすべての管理用/一般用スマートフォン
- ・非常用力ギ または 非常用収納カギ
- ・ドアストッパー／ドライバー（ドア本体操作時に使用する）
- ・現在、使用しているリモコンキー/タグキー（使用している場合）

■作業手順

1	削除モードでスマートフォンの登録を削除する ※すべてのリモコンキー/タグキー/スマートフォンの登録が削除されます	P.59 削除モードでのキー削除
 ※紛失や故障により手順1で削除したスマートフォンが手元にない場合は、手順2、3の作業は不要です。		
2	手順1で削除したスマートフォン上のアプリからドア（電気錠）の登録情報を削除する（削除したスマートフォンごとに1台ずつ作業を行ってください）	P.116 ドア（電気錠）の削除
		
3	手順1で削除したスマートフォンの端末設定からドア（電気錠）のBluetooth® ペ어링情報を削除する（削除したスマートフォンごとに一台作業を行ってください）	P.177 Bluetooth® ペ어링情報の削除

■ケース2：管理用スマートフォンを2台登録したが、一方の登録を削除したい

■ケース4：一般用スマートフォンを削除したい

●作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯してください。

- ・本ケースの場合、管理用スマートフォンからの操作で1台ずつ個別に管理用/一般用スマートフォンの登録を削除します。
- ・リモコンキー/タグキーを使用している場合、本作業にて登録が削除されることはありません。本作業後もそのままお使いいただけます。
- ・登録を削除し使わなくなったスマートフォンからは、専用アプリを削除してください。

■用意するもの

- ・削除したい管理用スマートフォン/一般用スマートフォン
- ・管理用スマートフォン1台
- ・非常用力ギ または 非常用収納カギ
- ・パスワード（数字6桁）

■作業手順

1	管理用スマートフォンからの個別削除で、もう一方の管理用スマートフォン または 一般用スマートフォンの登録情報をドア（電気錠）から削除する	P.134 個別削除
 ※紛失や故障により手順1で削除したスマートフォンが手元にない場合は、手順2、3の作業は不要です。		
2	削除したスマートフォン上のアプリからドア（電気錠）の登録情報を削除する（削除したスマートフォンごとに1台ずつ作業を行ってください）	P.116 ドア（電気錠）の削除
		
3	手順1で削除したスマートフォンの端末設定からドア（電気錠）のBluetooth® ペ어링情報を削除する（削除したスマートフォンごとに1台ずつ作業を行ってください）	P.177 Bluetooth® ペ어링情報の削除

スマートフォンを再登録する

スマートフォンを再登録する手順について説明します。

アプリが下記に示す場面となった時は一度スマートフォンの登録を削除して、再登録する必要があります。

再登録するスマートフォンの種類/他スマートフォンの登録状況に合わせて再登録を行ってください。

再登録する場面	参照先
アプリからの操作ができない ・アプリメイン画面で「近くにドアがありません」と表示される ・アプリメイン画面の施錠/解錠アイコンをタップしても施解錠されない ・パスワードを入力すると「パスワードチェックエラー」と表示される ・パスワードを忘れてしまった	再登録ケース1：P.102
3つの登録情報（→P.176）のいずれかを誤って削除した	再登録ケース2：P.102
誤ってアプリをアンインストールした	再登録ケース3：P.102
スマートフォンの登録状況が分からなくなった	再登録ケース4：P.103

■再登録ケース1：アプリからの操作ができない

■再登録ケース2：3つの登録情報のいずれかを誤って削除した

■再登録ケース3：誤ってアプリをアンインストールした

- 作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯してください。
- スマートフォンから専用アプリを削除してしまった場合は、各ストアより再度ダウンロードしてください。（→ P.77）

■作業手順

1	再登録するスマートフォンの登録を一度削除する ※「スマートフォンを削除する」（→P.99）のケース 1・2・3・4を参照し、再登録するスマートフォンの 種類や現在の登録状況に合わせた作業を行ってください。	P.99 スマートフォンを削除する
		
2	スマートフォンを再登録する	P.80 管理用スマートフォンの登録 P.91 一般用スマートフォンの登録

スマートフォンの登録・削除

■再登録ケース4：スマートフォンの登録状況が分からなくなった

- 作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用力ギを携帯してください。
- スマートフォンから専用アプリを削除してしまった場合は、各ストアより再度ダウンロードしてください。
(⇒ P.77)

■作業手順

一度すべてのスマートフォンの登録を削除してから、再登録を行います。

1	スマートフォンの登録をすべて削除する ※「スマートフォンを削除する」(⇒P.99) のケース5 を参照し、作業を行ってください。	P.99 スマートフォンを削除する
↓		
2	スマートフォンを再登録する	P.80 管理用スマートフォンの登録 P.91 一般用スマートフォンの登録

スマートフォンを機種変更する

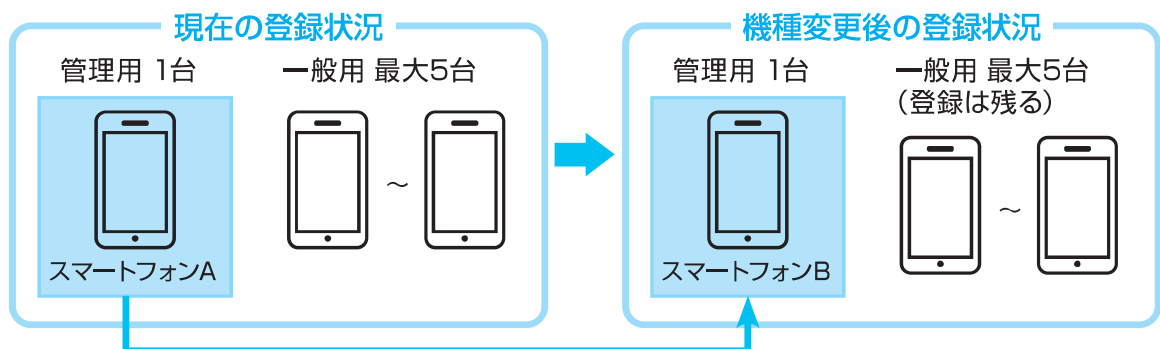
- ・現在 登録しているスマートフォンを機種変更した際に行って頂きたい作業について記載します。
- ・機種変更後のスマートフォンに機種変更前のスマートフォンの情報を引き継ぐことはできません。機種変更後のスマートフォンを使うには、新たに登録し直す必要があります。
- ・機種変更したスマートフォンの種類や現在の登録状況によって作業内容が異なりますので、下記の表を参照し作業を行ってください。

場 面	参照先
現在管理用スマートフォンを1台登録しており、その1台を機種変更した (スマートフォンの登録が1台のみの時、そのスマートフォンは管理用 スマートフォンでの登録となっています。)	ケース1：P.105
現在管理用スマートフォンを2台登録しており、どちらか一方、 または2台とも機種変更した	ケース2：P.106
現在登録している一般用スマートフォンを機種変更した	ケース3：P.107

■ケース1：管理用スマートフォンを機種変更する (現在 管理用スマートフォンの登録が1台の場合)

- 防犯配慮のため、スマートフォンの機種変更はお施主様自身で行ってください。
- 作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯してください。

- ・ 現在、管理用スマートフォンを1台登録しており、そのスマートフォンを機種変更する方法を説明します。
- ・ 本作業において、一般用スマートフォン/リモコンキー/タグキーの登録情報が削除されることはありません。機種変更後もそのままお使いいただけます。



現在の管理用スマートフォンAをスマートフォンBに機種変更する

■用意するもの

- ・ 現在の管理用スマートフォンA（機種変更前）
- ・ 新しく管理用として登録するスマートフォンB（機種変更後）
- ・ パスワード（数字6桁）
- ・ 非常用カギ または 非常用収納カギ

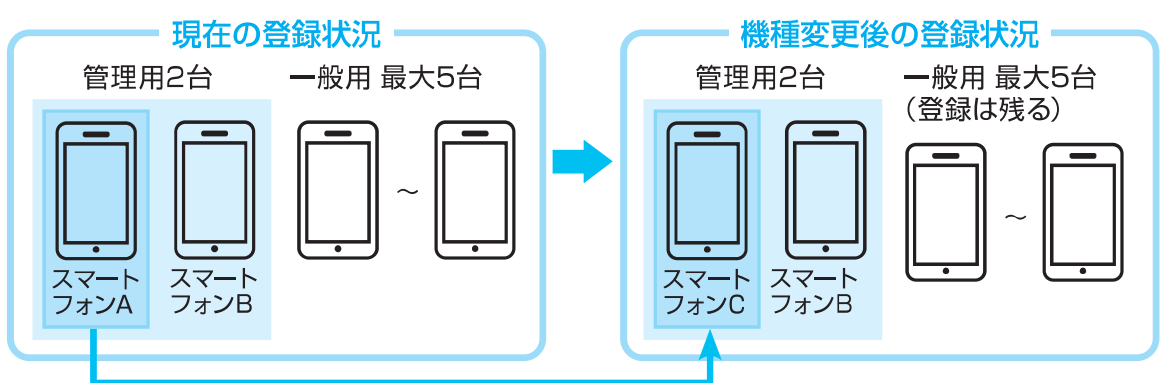
■作業手順

1	管理用スマートフォンA（機種変更前）からの追加登録でスマートフォンB(機種変更後)を2台目の管理用スマートフォンとして登録する	P.133 追加登録（スマートフォン）
2	手順1で登録した管理用スマートフォンBからの個別削除で、ドア（電気錠）から管理用スマートフォンAの登録情報を削除する	P.134 個別削除（スマートフォン）
3	手順2で削除した管理用スマートフォンAの端末設定からドア(電気錠) とのBluetooth® ペ어링情報を削除し、専用アプリを削除する	P.177 Bluetooth® ペ어링情報の削除

■ケース2：管理用スマートフォンを機種変更する (現在 管理用スマートフォンの登録が2台の場合)

- 防犯配慮のため、スマートフォンの機種変更はお施主様自身で行ってください。
- 作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯してください。

- ・ 現在、管理用スマートフォンを2台登録しており、そのうち1台を機種変更する方法を説明します。2台とも機種変更した場合は、1台ごとに本作業を行ってください。
- ・ 本作業において、一般用スマートフォン/リモコンキー/タグキーの登録情報が削除されることはありません。機種変更後もそのままお使いいただけます。



現在の管理用スマートフォンAをスマートフォンCに機種変更する

■用意するもの

- ・ 現在の管理用スマートフォンA（機種変更する端末）／
管理用スマートフォンB（機種変更しない端末）
- ・ 新しく管理用として登録するスマートフォンC（機種変更後の端末）
- ・ パスワード（数字6桁）
- ・ 非常用カギ または 非常用収納カギ

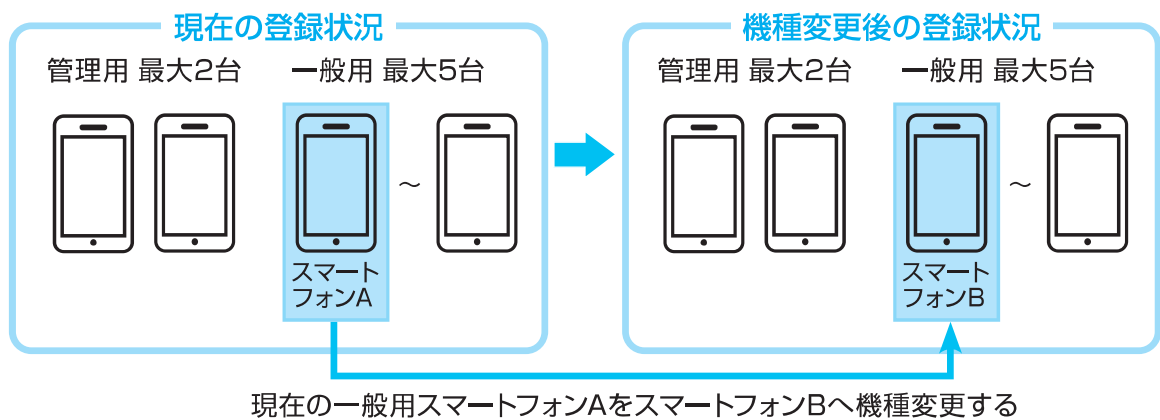
■作業手順

1	管理用スマートフォンBからの個別削除で 管理用スマートフォンA（機種変更前）を削除する	P.134 個別削除（スマートフォン）
2	管理用スマートフォンBからの追加登録で スマートフォンC(機種変更後) を管理用として登録する	P.133 追加登録（スマートフォン）
3	手順1で削除した管理用スマートフォンAの端末設定から ドア(電気錠) とのBluetooth® ペ어링情報を削除し、 専用アプリを削除する	P.177 Bluetooth® ペ어링 情報の削除

■ケース3：一般用スマートフォンを機種変更する

- 防犯配慮のため、スマートフォンの機種変更はお施主様自身で行ってください。
- 作業の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯してください。

- ・ 現在 登録している一般用スマートフォンを機種変更する方法について説明します。
- ・ 複数台機種変更する場合は、1台ずつ本作業を行ってください。
- ・ 本作業において、管理用スマートフォン/リモコンキー/タグキーの登録情報が削除されることはありません。機種変更後もそのままお使いいただけます。



■用意するもの

- ・ 管理用スマートフォン1台
- ・ 現在の一般用スマートフォンA（機種変更前）
- ・ 新しく一般用として登録するスマートフォンB（機種変更後）
- ・ パスワード（数字6桁）
- ・ 非常用カギ または 非常用収納カギ

■作業手順

1	管理用スマートフォンからの個別削除でドア（電気錠）から一般用スマートフォンA（機種変更前）の登録を削除する	P.134 個別削除（スマートフォン）
2	管理用スマートフォンからの追加登録で、スマートフォンB（機種変更後）を一般用として新たに登録する	P.133 追加登録（スマートフォン）
3	手順1で削除した一般用スマートフォンAの端末設定からドア（電気錠）とのBluetooth® ペ어링情報を削除し、専用アプリを削除する	P.177 Bluetooth® ペ어링情報の削除

管理用/一般用スマートフォンでできること【共通機能】

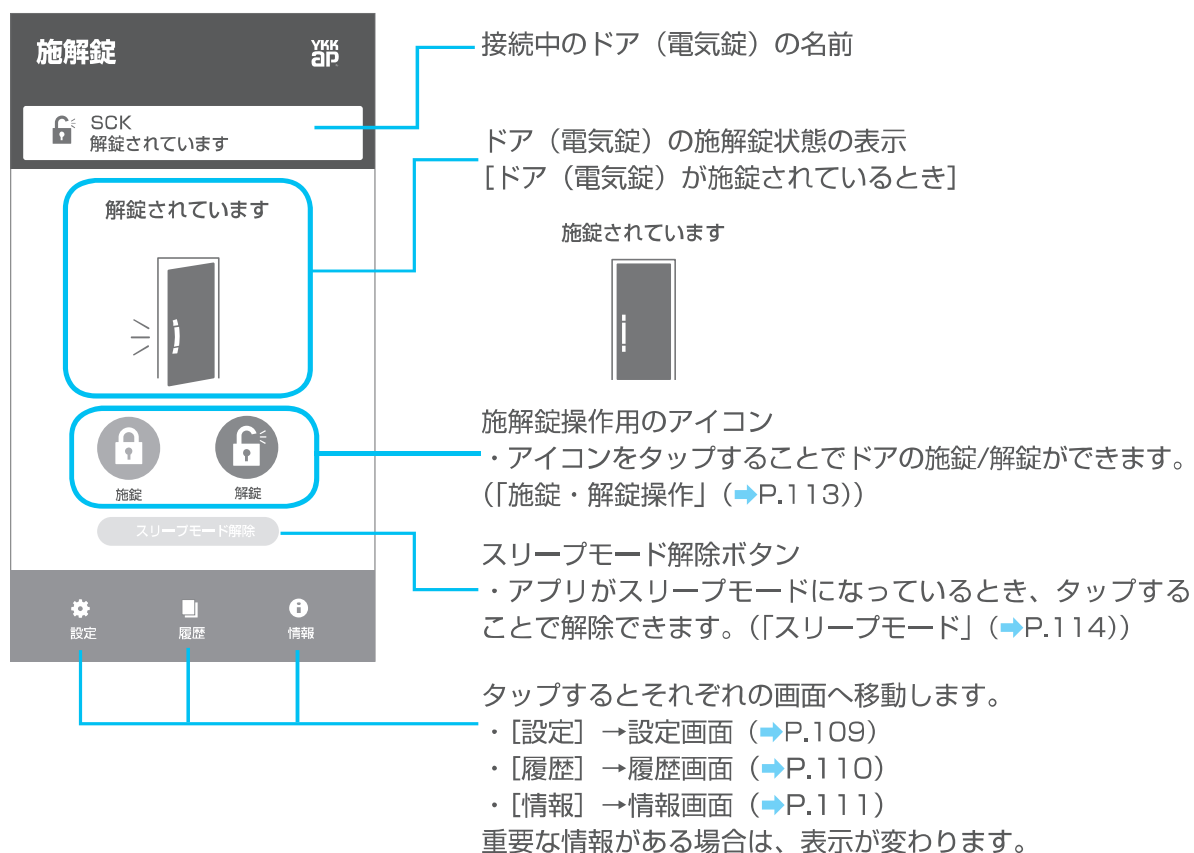
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

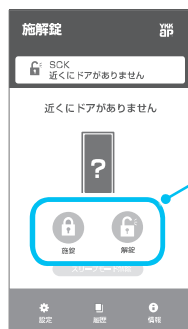
メイン画面の説明

Bluetooth® でドア本体と接続しているとき、ドア(電気錠)の状態を確認したり、施解錠操作をしたりする画面です。

管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通



Bluetooth® 非接続状態の場合



[施錠] / [解錠] アイコンがグレイアウト表示となり、タップできません

設定画面の説明

Bluetooth® でドア本体と接続しているとき、ドア(電気錠)の設定を確認したり、変更したりする画面です。

管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通



The screenshot shows the '設定' (Settings) screen of the YKK AP mobile app. The screen has a dark header with the YKK AP logo and a home icon. Below the header, there's a list of settings options: 'SCK' (the connected door name), '電気錠の追加' (Add electric lock), '電気錠の削除' (Delete electric lock), 'ハンドルボタン操作の設定' (Handle button operation settings), '電気錠の名前更新' (Update electric lock name), '管理用スマートフォン機能' (Management smartphone functions), and '本体設定・鍵の管理' (Main body settings and key management). A blue arrow points from the 'SCK' text to the '接続中のドア（電気錠）の名前' label. Another blue arrow points from the '電気錠の追加' option to the '電気錠の追加' label. A third blue arrow points from the '電気錠の削除' option to the '電気錠の削除' label. A fourth blue arrow points from the 'ハンドルボタン操作の設定' option to the 'ハンドルボタン操作の設定' label. A fifth blue arrow points from the '電気錠の名前更新' option to the '電気錠の名前更新' label. A sixth blue arrow points from the '本体設定・鍵の管理' option to the '本体設定・カギの管理' label. A seventh blue arrow points from the '管理用スマートフォン機能' option to the '管理用スマートフォン機能' label.

接続中のドア（電気錠）の名前

電気錠の追加

- ・スマートフォンにドア(電気錠)を追加できます。(→P.115)

電気錠の削除

- ・スマートフォンからドア(電気錠)を削除できます。(→P.116)

ハンドルボタン操作の設定

- ・スマートフォンごとにハンドルボタン操作の作動範囲などの設定変更ができます。(→P.118)

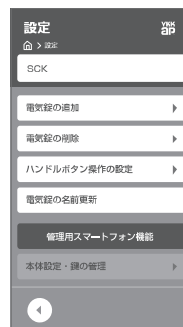
電気錠の名前更新

- ・接続中のドア（電気錠）の名前表示を更新できます。(→P.136)

本体設定・カギの管理（管理用スマートフォンのみ）

- ・管理用スマートフォンで、接続中のドア（電気錠）の本体設定・カギの管理を行います。(→P.125)
- 一般用スマートフォンではグレースアウト表示になりタップできません。

一般用スマートフォン



履歴画面の説明

Bluetooth® でドア本体と接続しているとき、ドア(電気錠)の施解錠履歴、設定変更履歴、エラー通知履歴を表示する画面です。

管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通



接続中のドア（電気錠）の名前

スマートフォンの履歴

- ・現在のスマートフォンで行った施解錠の履歴を表示します。
管理用/一般用スマートフォンで確認できます。
(→P.124)

履歴(管理機能) (管理用スマートフォンのみ)

- ・管理用スマートフォンから、接続中のドア（電気錠）の施解錠履歴、設定変更履歴、エラー通知履歴を表示します。(→P.137)
一般用スマートフォンではグレースアウト表示になりタップできません。

一般用スマートフォン

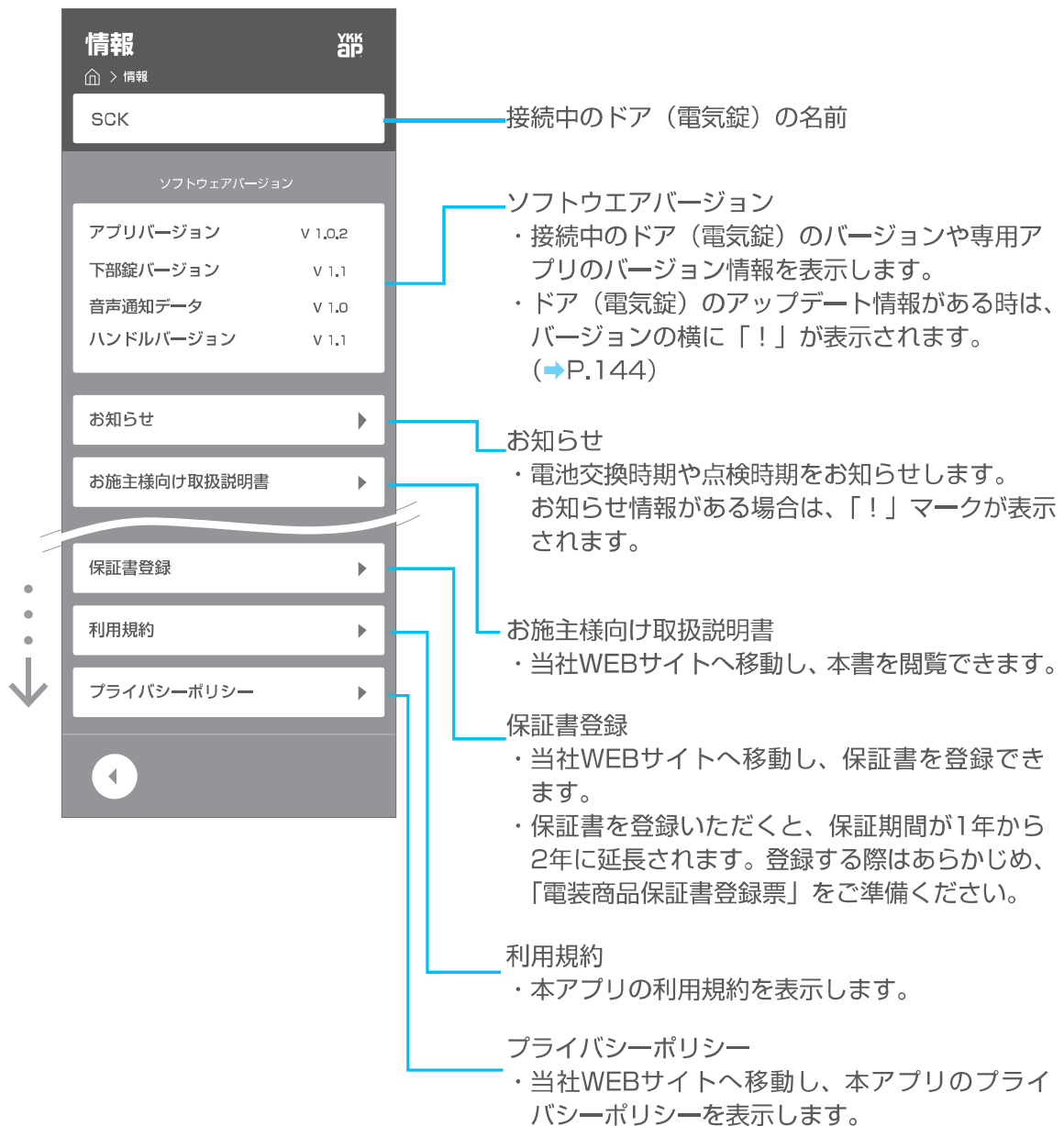


情報画面の説明

Bluetooth® でドア本体と接続しているとき、ドア(電気錠)の情報を表示する画面です。

- 当社 WEB サイトへ移動する際に発生する通信料はお施主様のご負担となります。

管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通



ドア（電気錠）の選択

1台のスマートフォンに対し複数のドア（電気錠）を登録している場合、メイン画面に表示するドアを選択します。メイン画面に表示しているドアの状態確認や施解錠操作ができます。

※ドア（電気錠）は最大5台まで登録できます。「ドア(電気錠)の追加」(→P.115)

1

表示中の【ドアの名前】をタップする

メイン画面で表示されている【ドア(電気錠)の名前】をタップする。



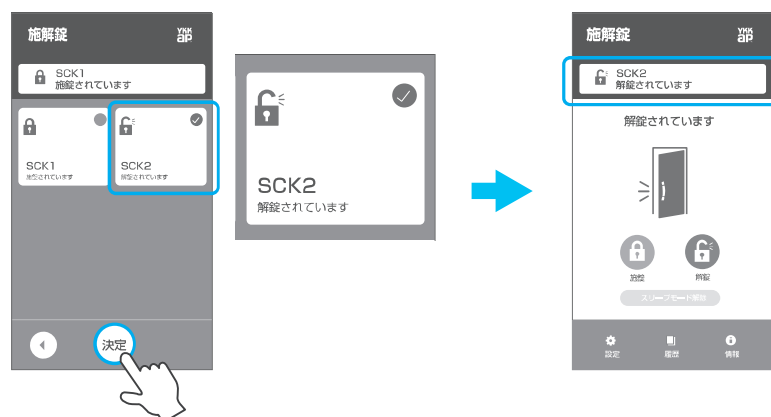
管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

2

ドア（電気錠）を決定する

メイン画面に表示するドア（電気錠）をタップします。

※【決定】をタップすると、選択したドアが表示されているメイン画面へ戻ります。



管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

施錠・解錠操作

- スマートフォンのバッテリーがゼロになると、アプリでの施解錠操作はできません。
- 外出の際は、不測の事態に備えて非常用力ギヤや非常用収納力ギ付のリモコンキーまたはタグキーを携帯してください。

リモコン操作の場合

メイン画面で表示されているドアとBluetooth®で接続しているとき、[施錠] [解錠] アイコンをタップして、施解錠できます。



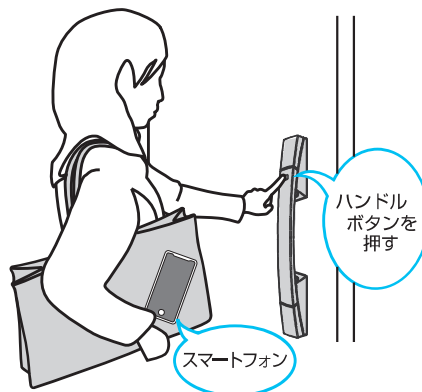
管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

ハンドルボタン操作の場合

アプリを起動したスマートフォンを携帯して、ハンドルボタンを押すことでドア（電気錠）と認証し、施解錠できます。

※アプリでのハンドルボタン操作は、ハンドルボタンを押してから反応するまでに時間がかかる場合があります。最大12秒経過しても反応しない場合は、ハンドルボタン操作が一度キャンセルされます。再度操作する場合は、ハンドルボタンを押してください。

※ハンドルボタン操作は、再度ハンドルボタンを押すと最大12秒を待たずにキャンセルできます。



スリープモード

アプリのスリープモードについて説明します。

- ・スマートフォンでのハンドルボタン操作範囲に、アプリを起動したスマートフォンを1分以上放置すると、アプリがスリープモードになります。
- ・スリープモード中は、メイン画面に「スリープモード」と表示されます。
- ・スリープモード中は、アプリでのリモコン操作およびハンドルボタン操作ができません。

【スリープモードの解除方法】

- ・アプリメイン画面の【スリープモード解除】アイコンをタップするとスリープモードが解除されます。

※ハンドルボタン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によって異なります。「ハンドルボタン操作の操作範囲設定」(→P.120)

※スリープモードは搭載されていますが、防犯上、ハンドルボタン操作の作動範囲内にスマートフォンを保管しないでください。



管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

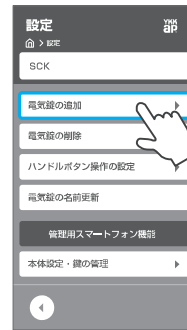
ドア（電気錠）の追加

スマートフォンに2台目以降のドア（電気錠）を登録する方法を説明します。
スマートフォン1台に対し、最大5台のドア（電気錠）を登録できます。

1

ドアの追加登録画面にする

アプリの設定画面で[電気錠の追加]を
タップします。

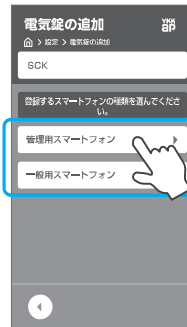


管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

2

登録するスマートフォンの種類を 選択する

登録したいスマートフォンの種類（管理
用または一般用）を選択します。



管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

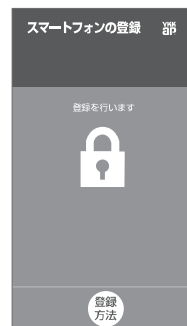
3

ドア（電気錠）を登録する

アプリ画面が右の画面に切り替わったら、
ドアを登録します。

管理用のスマートフォンを登録する場合は、
「管理用スマートフォンを登録する」(→P.80)

一般用スマートフォンを登録する場合は、
「一般用スマートフォンを登録する」(→P.91)
に従って登録してください。



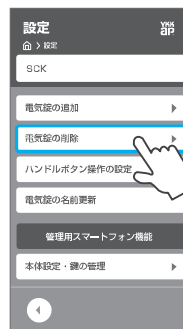
管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

ドア（電気錠）の削除

スマートフォンに登録されているドア（電気錠）の登録情報を削除します。

1 ドア（電気錠）の削除画面にする

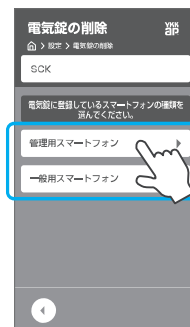
アプリの設定画面で、「電気錠の削除」をタップします。



2 スマートフォン履歴を確認する

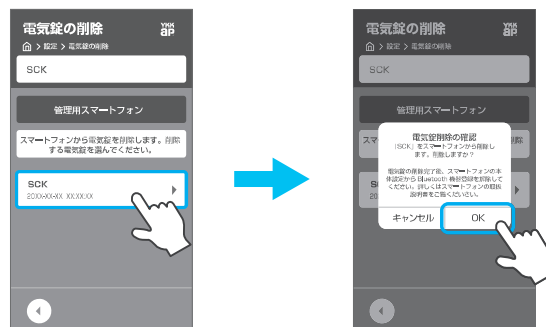
ご自分のスマートフォンの種類（管理用または一般用）を選択します。

- 削除するドア（電気錠）に対し“管理用スマートフォン”で登録していれば「管理用スマートフォン」を選択します。



3 ドア（電気錠）を削除する

削除するドア（電気錠）を選択し、「OK」をタップし削除します。

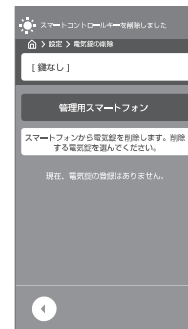


4

削除されたことを確認する

選択したドア（電気錠）が削除されていることを確認します。

- 他にドア（電気錠）の登録がない場合は、「現在、電気錠の登録はありません」と表示されます。



ハンドルボタン操作の設定

お使いのスマートフォンごとにハンドルボタン操作に関する設定の変更ができます。

■設定項目について

ハンドルボタンの設定には次の項目があります。

項目	説明	設定手順
ハンドルボタン操作	操作しているスマートフォンでのハンドルボタン操作のON/OFFを設定します。 「OFF」に設定すると、そのスマートフォンでのハンドルボタン操作ができなくなります。	P.119
操作範囲	ハンドルボタン操作の認証範囲を3段階(大/中/小)で切り替えます。 標準は「小」設定です。	P.120
操作範囲リセット	ハンドルボタン操作の認証範囲の基準を再設定します。 操作範囲を変更してもハンドルボタン操作の反応がよくなる場合にお試しください。	P.121

■ハンドルボタン操作の設定画面の表示

アプリを起動し、次の手順でハンドルボタン設定画面を開きます。



■ハンドルボタン操作のON/OFF設定

スマートフォンでのハンドルボタン操作ON/OFFの切り替えができます。

お使いのスマートフォンごとに個別で設定を行います。

「OFF」に設定すると、そのスマートフォンではハンドルボタン操作ができなくなります。

1

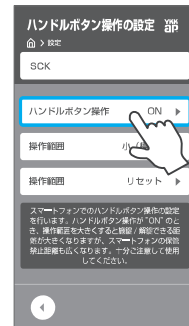
ハンドルボタン操作の設定画面を表示する

「ハンドルボタン操作の設定画面の表示」(→P.118)

2

「ハンドルボタン操作」をタップする

ハンドルボタン操作の設定画面の「ハンドルボタン操作」をタップします。

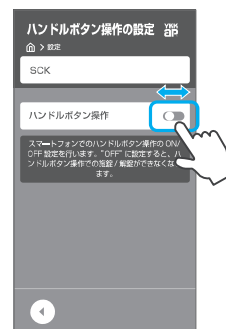


管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

3

ON/OFF を設定する

スイッチをタップしてON/OFFを切り替えます。



管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

■ハンドルボタン操作の操作範囲設定

スマートフォンでのハンドルボタン操作範囲を「大／中／小」の3段階で設定できます。

標準は「小」で、お使いのスマートフォンごとに個別に設定を行います。

設定を「大」にすると、ハンドルボタン操作で施錠／解錠できる範囲が広がりますが、スマートフォンの保管禁止範囲も広がります。

保管禁止範囲内にスマートフォンを放置してしまうと、第三者に不正に解錠されるなどのおそれがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

1

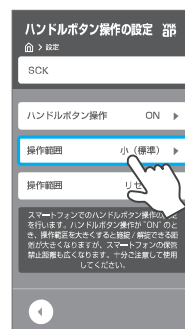
ハンドルボタン操作の設定画面を表示する

「ハンドルボタン操作の設定画面の表示」(→P.118)

2

【操作範囲】をタップする

ハンドルボタン操作の設定画面の【操作範囲】をタップします。

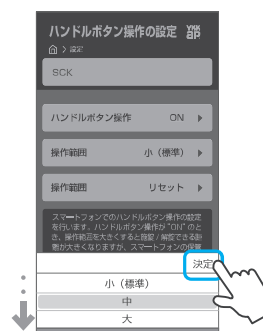


管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

3

操作範囲を設定する

スクロールで「大／中／小」から操作範囲を選択し、【決定】をタップする。



管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

■ハンドルボタン操作範囲のリセット

スマートフォンでのハンドルボタン操作範囲を再設定します。
操作範囲の設定「大／中／小」を行ってもハンドルボタン操作範囲が” 広すぎる” または” 狭すぎる” などの症状が解消されない場合は、下記手順にそって操作範囲のリセットを行ってください。

1 ハンドルボタン操作の設定画面を表示する

「ハンドルボタン操作の設定画面の表示」(→P.118)

2 ハンドルボタン操作範囲を [リセット] する

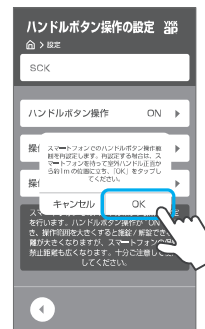
室外ハンドルの正面約1mの位置に立ち
[リセット] をタップする。



管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

3 [OK] をタップする

右の通知が表示されたら [OK] をタップします。



管理用スマートフォン／一般用スマートフォン共通

■ドア（電気錠）の名前更新

アプリ内で表示しているドア（電気錠）の名前を最新の状態に更新します。
管理用スマートフォンでドア（電気錠）の名前を更新したあと、お使いのスマートフォンごとに本作業を行ってください。（アプリに表示されるドア（電気錠）の名前は自動で更新されません）

1

ドア（電気錠）の接続状態を確認する

アプリを起動し、メイン画面で名前を更新するドア（電気錠）が選択され、Bluetooth® で接続している状態であることを確認します。



管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

2

名前を更新する

メイン画面から設定画面へ移り、【電気錠の名前更新】をタップする。



メイン画面

設定画面

管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

3

ドア（電気錠）の名前を確認する

メイン画面に戻り、ドア（電気錠）の名前が最新に更新されていることを確認します。

- 名前が最新に更新されていない場合は、手順 1 からやり直してください。



設定画面



メイン画面

最新に更新されていること

管理用スマートフォン/一般用スマートフォン共通

スマートフォンの履歴確認

お使いのスマートフォンでの施錠/解錠履歴（最大50件）を確認できます。

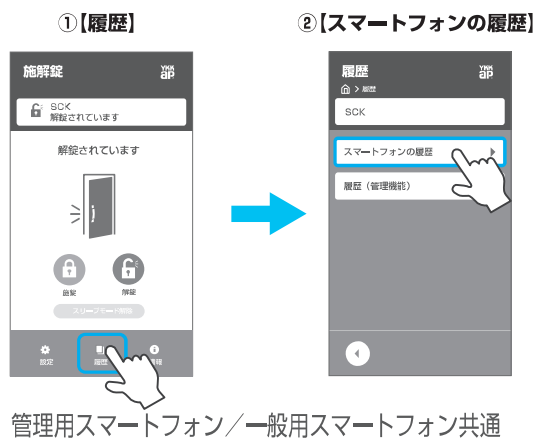
※本履歴はBluetooth® でドア（電気錠）と接続していない状態でも確認できます。

※リモコンキーやタグキー、他のスマートフォンでの施錠/解錠履歴は確認できません。

すべての施錠/解錠履歴は管理用スマートフォンで確認できます。「施解錠履歴の確認」
(→P.139)

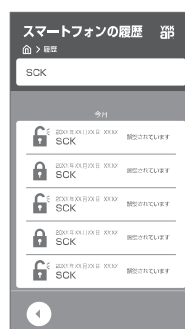
1 スマートフォン履歴の確認画面にする

下記の順にタップし、スマートフォン履歴の確認画面にします。



2 スマートフォン履歴を確認する

スマートフォンでの施解錠履歴を確認してください。



管理用スマートフォンでできること【管理機能】

本体設定・カギの管理について

管理用スマートフォンを使ってドア本体の設定やリモコンキーやタグキーなどのカギの管理ができます。

■ 設定・管理項目について

本体設定・カギの管理については次の項目があります。

項目	説明	設定手順
本体の設定	自動施錠機能、タイマー施錠機能、動作確認音、ハンドルボタン操作に関する設定ができます。	P.127
カギの管理	リモコンキー/タグキー/スマートフォンの追加登録や個別削除、名前設定ができます。	P.130
名前設定	ドア（電気錠）の名前を変更できます。	P.136
パスワードの管理	パスワードを変更できます。	P.136

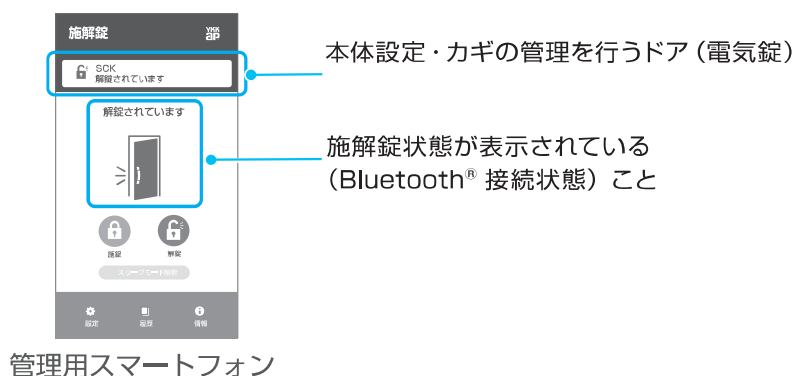
■ 本体設定・カギの管理画面の表示

- 事前に管理用スマートフォンで設定したパスワード（数字 6 桁）をご用意ください。

1

ドア（電気錠）の接続状態を確認する

アプリを起動し、メイン画面に本体設定・カギの管理を行うドア（電気錠）が選択され、Bluetooth® で接続している状態であることを確認します。



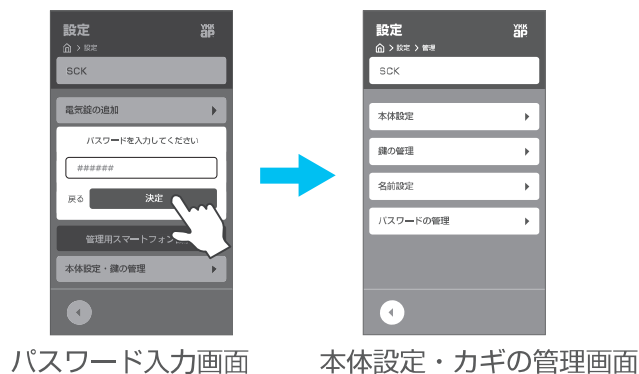
2 本体の設定・カギの管理画面を開く

メイン画面から設定画面へ移り、[本体設定・カギの管理] をタップします。



パスワード（数字6桁）を入力し、[決定] をタップします。

※アプリが本体設定・カギの管理画面に切り替わるとハンドルLEDが赤/緑点滅を開始します。
本体設定・カギの管理中は点滅し続けます。



本体設定

本体設定については次の項目があります。

項目	説明	設定手順
自動施錠機能	自動施錠機能のON/OFF設定ができます。出荷時は「OFF」設定です。（「 ■ 自動施錠機能」）	P.127
タイマー施錠機能	タイマー施錠機能の時間設定（25秒/50秒）ができます。出荷時は「25秒」設定です。（「 ■ タイマー施錠機能」）	P.128
動作確認音	施錠／解錠する際の動作確認音をON/OFF設定ができます。出荷時は「ON」設定です。（「 ■ 動作確認音のON／OFF切り替え機能」）	P.128
ハンドルボタン操作	ハンドルボタン操作のON/OFFを設定できます。出荷時は「ON」設定です。「OFF」設定にするとリモコンキー／スマートフォンでのハンドルボタン操作ができなくなります。（「 ■ ハンドルボタン操作のON／OFF切り替え機能」）	P.129

■ 自動施錠機能設定

1 本体設定画面を表示する

本体設定・カギの管理画面を開き（「本体設定・カギの管理画面の表示」（→P.125））【本体設定】をタップします。



管理用スマートフォン

2 自動施錠の ON/OFF を設定する

本体設定画面の【自動施錠】をタップします。スイッチをタップしてON/OFFを切り替えます。

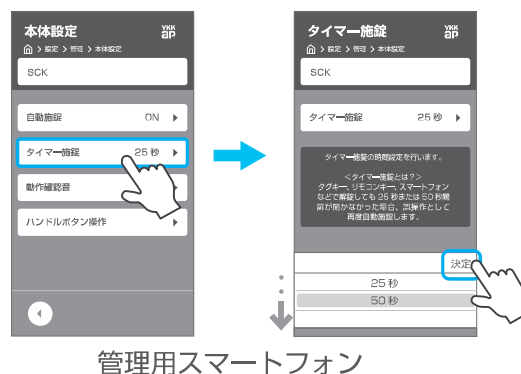


管理用スマートフォン

■ タイマー施錠機能の設定

- 1 本体設定画面を表示する
「本体設定画面を表示する」(→P.127)

- 2 タイマー施錠の時間を設定する
本体設定画面の「タイマー施錠」をタップします。
時間を選択して「決定」をタップします。



■ 動作確認音の設定

- 1 本体設定画面を表示する
「本体設定画面を表示する」(→P.127)

- 2 動作確認の ON/OFF を設定する
本体設定画面の「動作確認音」をタップします。
スイッチをタップしてON/OFFを設定します。



■ ハンドルボタン操作の設定

- 1 本体設定画面を表示する
「本体設定画面を表示する」(→P.127)

- 2 ハンドルボタン操作を設定する

ドア本体の設定

すべてのリモコンキー/スマートフォンに対して一括でON/OFFを切り替えます。
次の手順でハンドルボタン操作設定画面を開き、スイッチをタップしてON/OFFを切り替えます。



管理用スマートフォン

リモコンキーの設定

登録しているリモコンキーごとに個別でON/OFFを切り替えます。
次の手順でハンドルボタン操作設定画面を開き、スイッチをタップしてON/OFFを切り替えます。



管理用スマートフォン

リモコンキーごとにスイッチをタップして設定をする

カギの管理

カギの管理については次の管理機能があります。

管理機能	各機能内容	設定手順
タグキー／リモコンキー／スマートフォンの追加登録	タグキー／リモコンキー／スマートフォンの追加登録ができます	P.131
タグキー／リモコンキー／スマートフォンの個別削除	タグキー／リモコンキー／スマートフォンの個別削除ができます	P.134
タグキー／リモコンキー／スマートフォンの名前設定	タグキー／リモコンキー／スマートフォンの名前設定ができます	P.135

■ カギの管理画面の表示

本体設定・カギの管理画面を開き（「本体設定・カギの管理画面の表示」(➡P.125)）、[カギの管理]をタップしてカギの管理画面を開きます。



管理用スマートフォン

■ タグキー／リモコンキー／スマートフォンの追加登録

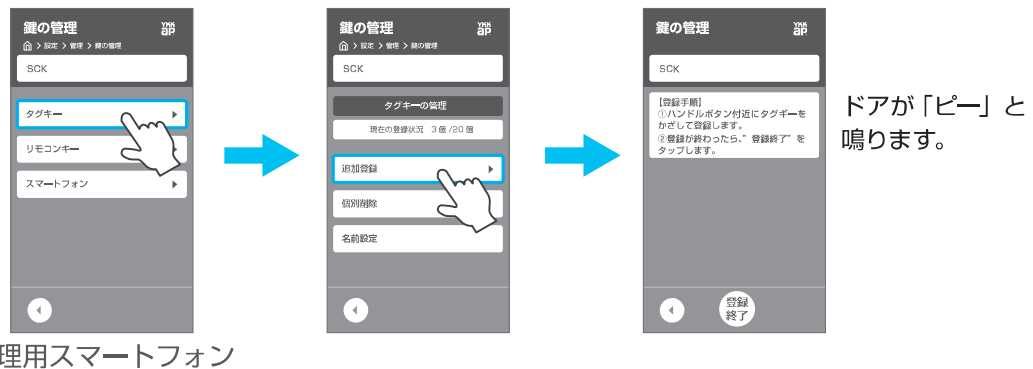
タグキーの追加登録

1 カギの管理画面を表示する

「カギの管理画面の表示」(→P.130)

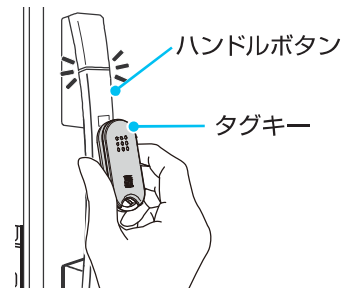
2 追加登録モードにする

次の手順でアプリを操作し、ドア（電気錠）をタグキーの追加登録モードにします。



3 タグキーを登録する

追加するタグキーをハンドルボタン付近にかざして登録します。



4 追加登録モードを終了する

「登録終了」をタップして終了します。
※ドアが「ピー」と鳴ります。



リモコンキーの追加登録

1 カギの管理画面を表示する

「カギの管理画面の表示」(→P.130)

2 追加登録モードにする

次の手順でアプリを操作し、ドア（電気錠）をリモコンキーの追加登録モードにします。

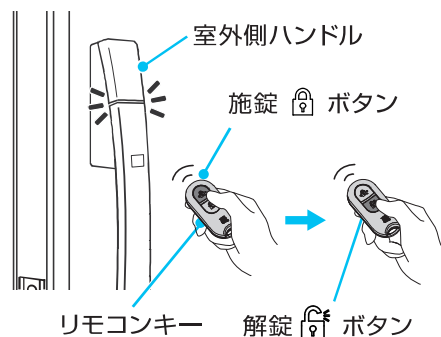


ドアが「ピー」と鳴ります。

管理用スマートフォン

3 リモコンキーを登録する

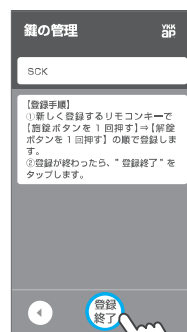
リモコンキーの施錠ボタン1回⇒解錠ボタン1回の順番で押して登録します。



4 追加登録モードを終了する

「登録終了」をタップして終了します。

※ドアが「ピー」と鳴ります。



管理用スマートフォン

スマートフォンの追加登録

1 カギの管理画面を表示する

「カギの管理画面の表示」(→P.130)

2 追加登録モードにする

次の手順でアプリを操作し、ドア（電気錠）をスマートフォンの追加登録モードにします。



管理用スマートフォン

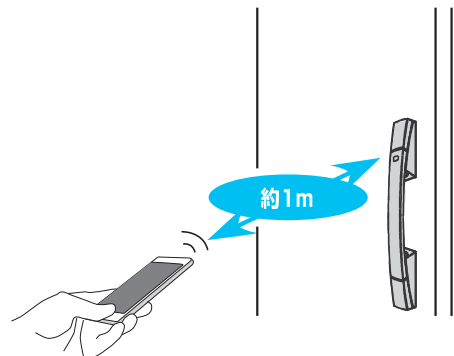
登録するスマートフォンの種類を選択し、[登録開始]をタップします。
ドアが「ピー」と鳴り、アプリが設定画面へ戻ります。

3 スマートフォンを登録する

登録するスマートフォンを持って室外ハンドルから約1mの位置に立ち、アプリ内に表示されているドア（電気錠）をタップします。

管理用のスマートフォンを登録する場合は、
「管理用スマートフォンを登録する」(→P.80)

一般用スマートフォンを登録する場合は、
「一般用スマートフォンを登録する」(→P.91)に
従って登録してください。



管理用スマートフォン

■ タグキー／リモコンキー／スマートフォンの個別削除

タグキーの個別削除

リモコンキー／スマートフォンも手順はタグキーと同じです。

1 カギの管理画面を表示する

「カギの管理画面の表示」(→P.130)

2 タグキーの個別削除画面を表示する

次の手順でアプリを操作し、タグキーの個別削除画面を表示します。
(リモコンキー／スマートフォンも手順は同じです。)



管理用スマートフォン

リモコンキー／スマートフォンを選択すると、
それぞれの個別削除画面へ移動します。

登録した順に表示されます。

3 タグキーを削除する

削除するタグキーを選択し、[OK] をタップして削除します。



管理用スマートフォン

■ タグキー／リモコンキー／スマートフォンの名前設定

タグキーの名前設定

リモコンキー／スマートフォンも手順はタグキーと同じです。

1 カギの管理画面を表示する

「カギの管理画面の表示」(→P.130)

2 タグキーの名前設定画面を表示する

次の手順でアプリを操作し、タグキーの名前設定画面を表示します。
(リモコンキー／スマートフォンも手順は同じです。)



管理用スマートフォン

リモコンキー／スマートフォンを選択すると、
それぞれの名前設定画面へ移動します。

登録した順に表示されます。

3 タグキーの名前を変更する

名前を変更するタグキーを選択します。任意の名前を入力し、[決定] をタップします。



管理用スマートフォン

ドア(電気錠)の名前設定

名前変更後、他お使いのスマートフォンごとに「ドア(電気錠)の名前更新」(→P.122)を行ってください。

■ 名前設定

本体設定・カギの管理画面を開き（「本体設定・カギの管理画面の表示」(→P.125)）、本体設定・カギの管理画面で「名前設定」をタップしてドア（電気錠）の名前を設定します。



管理用スマートフォン

名前が変わります。

パスワードの管理

■ パスワードの設定

本体設定・カギの管理画面を開き（「本体設定・カギの管理画面の表示」(→P.125)）、本体設定・カギの管理画面で「パスワードの管理」をタップしてパスワードを設定します。

- パスワードは、キーの登録・削除や各種機能の設定の際に使用します。メモを取るなどして紛失しないようにご注意ください。



管理用スマートフォン

履歴（管理機能）について

管理用スマートフォンを使ってBluetooth[®] で接続しているドア（電気錠）の施錠/解錠履歴やドアの設定変更履歴などを閲覧できます。

■ 履歴の種類

項目	説明	設定手順
施解錠履歴	タグキーやリモコンキー、管理用/一般用スマートフォン、サムターンや操作盤付きインターフェースユニットなど、すべての施錠/解錠履歴を閲覧できます。(最大100件)	P.139
設定変更履歴	ドア本体操作や管理用スマートフォン操作による、ドア（電気錠）の設定変更履歴を閲覧できます。(最大50件)	P.140
エラー通知履歴	ドア（電気錠）のエラー通知履歴を閲覧できます。(最大50件)	P.141

■ 履歴（管理機能）画面の表示

- 事前に管理用スマートフォンで設定したパスワード（数字 6 桁）をご用意ください。

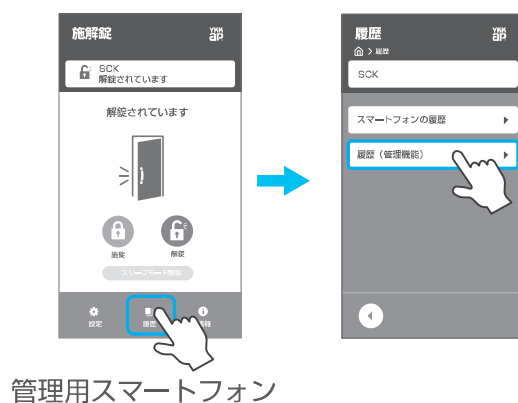
1 ドア（電気錠）の接続状態を確認する

アプリを起動し、メイン画面に本体設定・カギの管理を行うドア（電気錠）が選択され、Bluetooth® で接続している状態であることを確認します。



2 履歴（管理機能）画面を表示する

メイン画面から履歴画面へ移り、[履歴（管理機能）] をタップします。



パスワード（数字6桁）を入力し、[決定] をタップし、履歴（管理機能）画面を表示します。

※ハンドルLEDが赤/緑点滅を開始します。
履歴確認中もLEDが点滅し続けます。



履歴（管理機能）画面

■ 施解錠履歴の確認

1 履歴（管理機能）画面を表示する

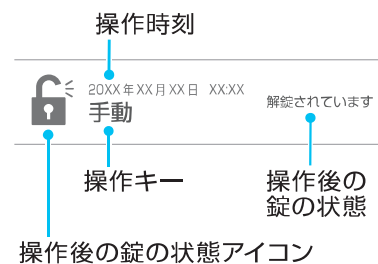
「履歴（管理機能）画面の表示」(→P.138)

2 施解錠履歴を確認する

履歴（管理機能）画面の[施解錠履歴]をタップして施解錠履歴を確認します。



履歴の見方



管理用スマートフォン

■ 履歴の種類

履歴表示	操作内容
手動	サムターン・非常用カギ・非常用収納カギで施錠／解錠したとき
TagKey- XX(番号) または設定した名前	登録されたタグキーで施錠／解錠したとき
Remote- X (番号) または設定した名前	登録されたリモコンキーでのリモコン操作/ハンドルボタン操作で施錠/解錠したとき 登録されたリモコンキーを携帯して顔認証キー（ダブル認証モード①/②）で施錠/解錠したとき
Phone- X (番号) または設定した名前	登録されたスマートフォンでリモコン操作/ハンドルボタン操作で施錠/解錠したとき 登録されたスマートフォンを携帯して顔認証キー（ダブル認証モード①/②）で施錠/解錠したとき
操作盤・増設操作盤・ JEM-A・ 電気錠コントローラー	操作盤付きインターフェースユニット、増設操作盤、 顔認証キー（顔認証 施解錠モード/解錠モード）、 他社機器(JEM-A/電気錠コントローラー)で施錠／解錠したとき
タイマー施錠	タイマー施錠機能(25秒または50秒)で施錠したとき
片掛かり施錠	ピッキング防止機能で施錠したとき
オートロック（自動施錠）	自動施錠機能で施錠したとき

■ 設定変更履歴

1 履歴（管理機能）画面を表示する

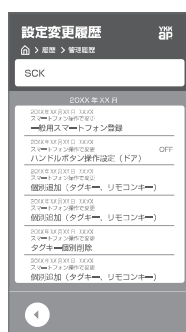
「履歴（管理機能）画面の表示」(→P.138)

2 設定変更履歴を確認する

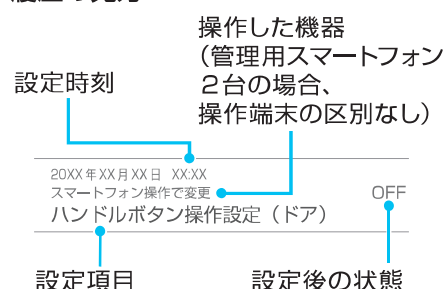
履歴（管理機能）画面の[設定変更履歴]をタップして設定変更履歴を確認します。



管理用スマートフォン



履歴の見方



■ 履歴の種類

履歴表示	設定内容
初期登録 (タグキー、リモコンキー)	登録モードでタグキー、リモコンキーを登録したとき
個別追加 (タグキー、リモコンキー)	追加登録モードでタグキー、リモコンキーを登録したとき
管理用スマートフォン登録	管理用スマートフォンを登録したとき
一般用スマートフォン登録	一般用スマートフォンを登録したとき
タグキー個別削除	管理用スマートフォンでタグキーを個別削除したとき
リモコンキー個別削除	管理用スマートフォンでリモコンキーを個別削除したとき
一括削除	削除モードで、登録されたすべてのキーを一括削除したとき
自動施錠設定 ON/OFF	自動施錠機能をON/OFF切り替えたとき
タイマー施錠 25秒/50秒	タイマー施錠機能の時間25秒/50秒を切り替えたとき
動作確認音設定 ON/OFF	施錠/解錠操作時の動作確認音をON/OFF切り替えたとき
ハンドルボタン操作設定(ドア) ON/OFF	ドア全体のハンドルボタン操作設定ON/OFFを切り替えたとき
ハンドルボタン操作設定 (リモコンキー) ON/OFF	リモコンキーごとにハンドルボタン操作設定ON/OFFを切り替えたとき
音量設定 小/大	音量設定で音量小/大を切り替えたとき
メンテナンス通知の解除設定	点検時期お知らせ機能を終了させたとき

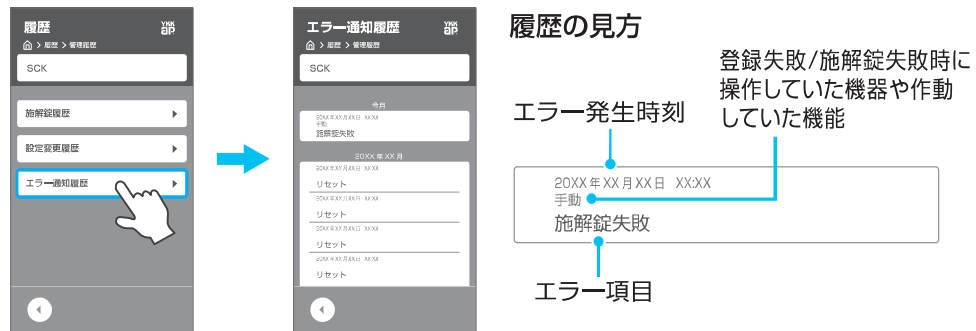
■ エラー通知履歴

1 履歴（管理機能）画面を表示する

「履歴（管理機能）画面の表示」(➡P.138)

2 エラー通知履歴を確認する

履歴（管理機能）画面の「エラー通知履歴」をタップしてエラー通知履歴を確認します。



管理用スマートフォン

■ 履歴の種類

エラー項目	エラー内容
リセット	停電などでドア（電気錠）が再起動したとき
一括削除エラー	削除モードで、登録されたすべてのキーの一括削除に失敗したとき
登録失敗	リモコンキー/スマートフォンの登録を失敗したとき
施錠失敗	次の操作でドア（電気錠）の施錠/解錠に失敗したとき ・リモコンキー（リモコン）、リモコンキー（ハンドルボタン） ・タグキー ・スマートフォン（リモコン）、スマートフォン（ハンドルボタン操作） ・操作盤・増設操作盤・JEM-A・電気錠コントローラー ・オートロック（自動施錠）、タイマー施錠、片掛かり施錠
未登録キー受け付け	ハンドルに登録していないタグキーがかざされたとき

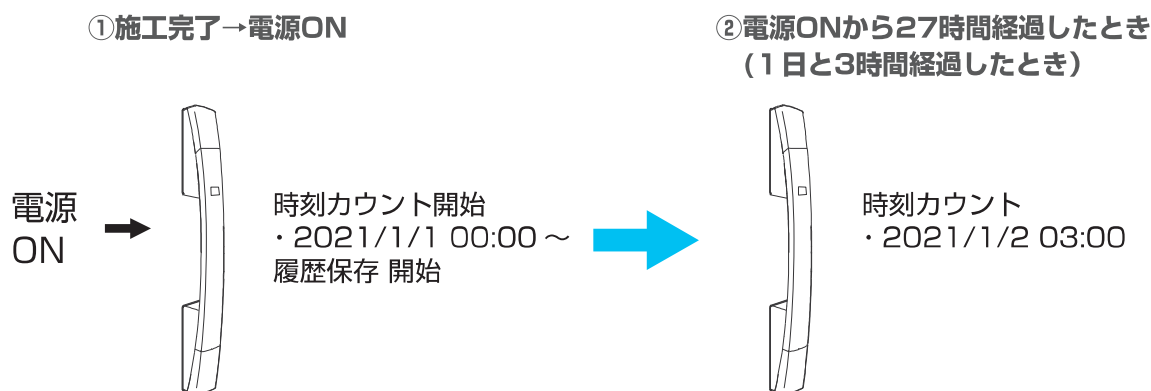
■ 履歴の表示時刻について

履歴の保存、履歴表示例、停電および停電から復帰時の履歴について説明します。

履歴はドア(電気錠)で保存しています。履歴時刻もドア（電気錠）でカウントして保存しています。

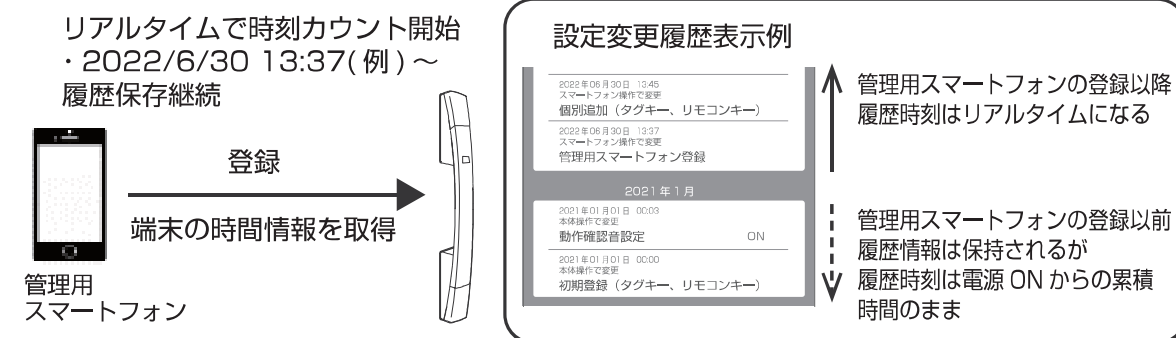
- 管理用スマートフォン（1台目）の登録後、リアルタイムでの時刻カウントがスタートします。
- 停電などで電源が OFF になった場合、時刻情報はリセットされます。電源復帰後、スマートフォンで施錠／解錠操作をすると、スマートフォンの時刻情報を再度取得し、リアルタイム時刻カウントを再開します。

- ① 施工完了後にドアの電源をONすると、「2021/1/1 00:00」から時刻カウントがスタートし、履歴を保存します。
- ② 履歴時刻は「2021/1/1 00:00」から累積されます。例えば、電源ONから27時間(1日と3時間)経過した場合、時刻は「2021/1/2 03:00」となります。



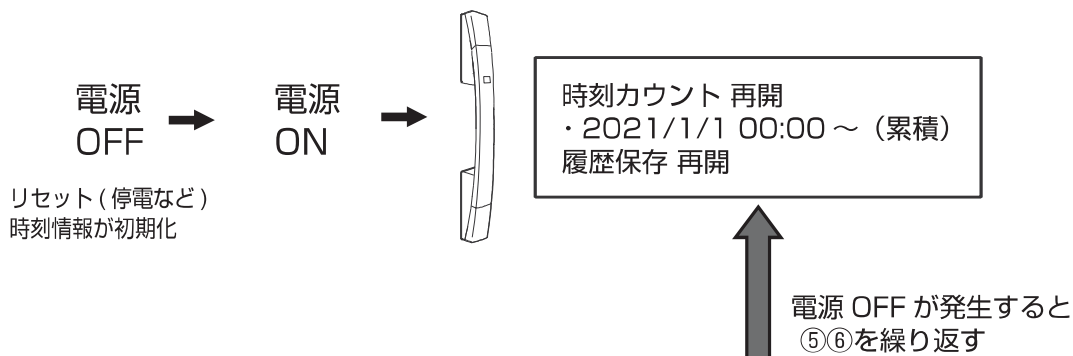
- ③ ドア（電気錠）は、1 台目の管理用スマートフォンを登録するときにスマートフォンから時刻情報を取得し、リアルタイムで時刻カウントがスタートします。その後の履歴はリアルタイムで保存します。
※このとき管理用スマートフォン登録以前の履歴は保持されます。しかし時刻は「2021/1/1 00:00」からの累積時刻のままで、リアルタイム時刻に更新はされません。

③ 管理用スマートフォン(1台目)を登録する

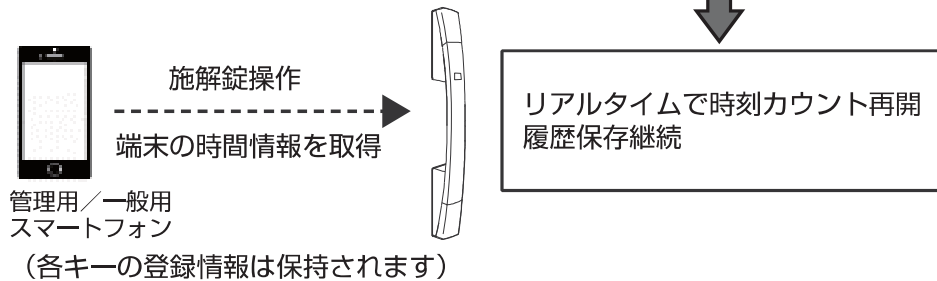


- ④停電などでドア(電気錠)の電源がOFFになると、時刻情報がリセットされます。
 ※電源OFF以前の履歴は消えず、保持されています。
 ※電源OFF中の操作については履歴として残りません。
- ⑤停電から電源が復帰(電源ON)しすると、再度「2021/1/1 00:00」から時刻カウントをスタートします。
- ⑥管理用または一般用スマートフォンで施錠／解錠操作をすると、スマートフォンの時刻情報を再度取得し、リアルタイム時刻カウントを再開して、履歴を保存します。
 ※電源復帰から時刻再取得までの履歴時刻は「2021/1/1 00:00」からのカウントで残ります。

④停電(電源OFF) ⑤復帰(電源ON)



⑥スマートフォンで施解錠



エラー通知履歴表示例

2021年01月01日 00:00
リセット
2022年6月
2022年06月30日 13:37
スマートフォン (リモコン)
登録失敗
2021年1月
2021年01月01日 00:00
リセット

- ↑ 再び停電 (リセット) すると時刻カウントは再度初期化され「2021/1/1/ 00:00」になる
- ↑ ！ スマートフォンの時刻情報を取得しリアルタイムで履歴を保存する
- ↑ ！ 停電 (リセット) で時刻カウントが初期化

商品のアップデート

管理用スマートフォンを操作してドア本体（ハンドル/下部錠）のソフトウェアのアップデートができます。

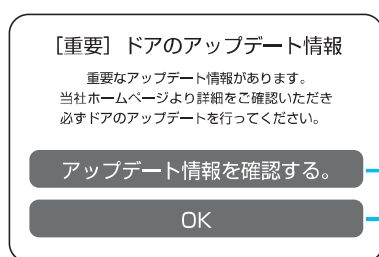
- アップデート通知がある場合は、アプリを起動したときに表示されます。
より安全・快適にお使いいただくため、最新バージョンへのアップデートをお願いします。

■ アップデートの通知

ドア本体のアップデート情報があるとき、アプリを起動したとき次のアップデート通知が表示されます。

※通知は、アップデートが完了するまでアプリを起動するたびに表示されます。

※通知は、管理用/一般用スマートフォンのどちらでも表示されます。



[アップデート情報を確認する。] をタップする
・YKKAP公式サイト「お客様サポートページ」を表示します。
・ドア本体のアップデート内容やアップデート方法などをWEBサイトで閲覧できます。

[OK] をタップする
・通知を消して、メイン画面を表示します。
・本書に沿ってアップデートを実施してください。

■ アップデートで用意するもの



登録済みの
管理用スマートフォン



ドアストッパー



非常用収納カギまたは非常用カギ

<電池式の場合>

単3形アルカリ乾電池 ×4本

■ アップデート前の準備

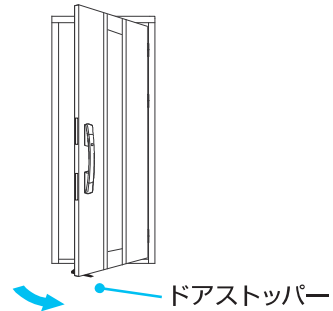
- アップデートの際は、不測の事態に備えて非常用カギまたは非常用収納カギを携帯してください。
- 事前に管理用スマートフォンで設定したパスワード（数字 6 桁）をご用意ください。

1

ドアを固定する

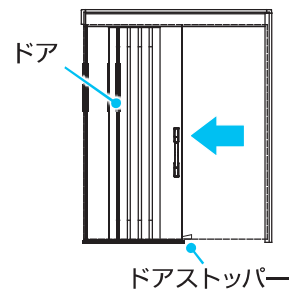
ドアの場合

ドアを開け、ドアストッパーなどで固定します。



スライディングドアの場合

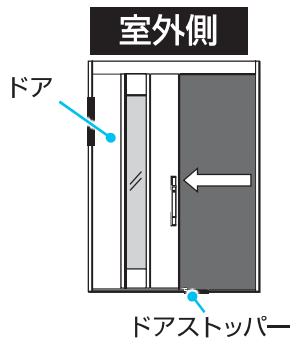
ドアを全開にして、ドアストッパーなどで固定します。



リニアシステムの場合

リニアシステムの電源を切ってから、ドアをドアストッパーなどで固定します。

「リニアシステムの電源の切り方」(→P.61)



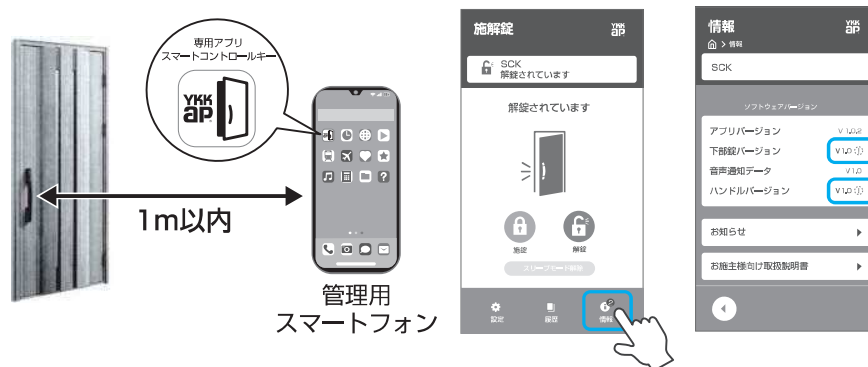
■ アップデートの手順

1

情報画面を表示する

管理用スマートフォンを持って室外ハンドル（約1m以内）に近づき、メイン画面で【情報】をタップし、情報画面を表示します。

- アップデートがある場合、下部錠 / ハンドルのそれぞれのバージョン横に「！」が表示されます。
- 下部錠 / ハンドルの両方に「！」が表示されている場合、下部錠 / ハンドルごとにそれぞれアップデート作業を行ってください。下部錠 / ハンドルを同時にアップデートすることはできません。
- アップデート作業時間は、下部錠約 5 分 / ハンドル約 5 分です。



2

アップデート開始画面を表示する

次の手順でアップデート開始画面を表示します。

※アップデート中もハンドルLEDが赤/緑点滅します。



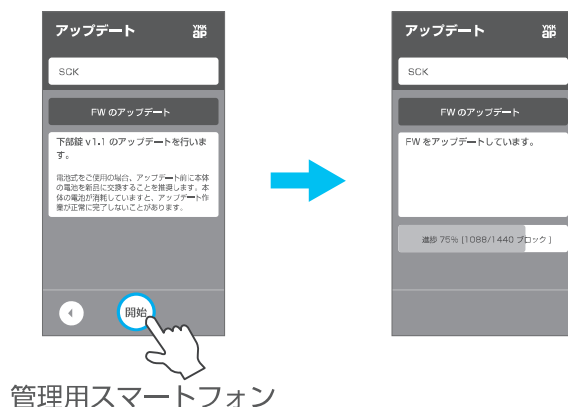
3 アップデート開始画面を開始する

「開始」をタップして、アップデートを開始します。

※アップデート中もハンドルLEDが赤/緑点滅します。

※電池式で本体電池が消耗している場合、「本体の電池を交換してください」と音声
が流れます。

本体電池を新品に交換して(➡P.23)、手順2よりやり直してください。



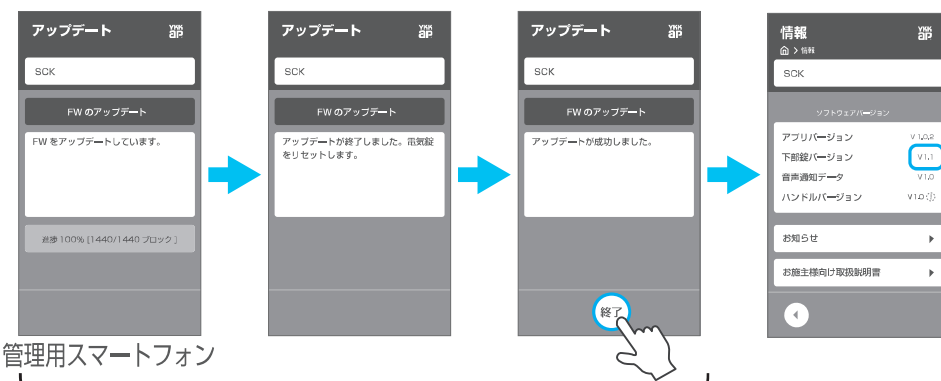
管理用スマートフォン

4 アップデートの完了を確認する

アップデートが完了したら、次の手順で情報画面に戻り、バージョンが更新されていることを確認します。

※バージョンが更新され「！」が消えていれば、アップデート成功です。

※他にも「！」が表示されていれば、同様の手順でアップデートを行います。



管理用スマートフォン

進捗が 100% になると自動で画面が切り替わります。

5 ドアを閉じる

ドアストッパーをはずしてドアを閉じます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を
入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(➡P.62)

スマートコントロールキーの使い方

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

施錠／解錠動作に異常が発生した場合

- 電気錠の作動途中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピッ!」と5回鳴ります。
- 室外側ハンドルのランプが赤色・緑色に5秒間点滅し、異常を知らせます。
- 上下錠が錠受けに確実におさまっていることを確認してください。



錠受けにおさまっていない場合

- 【玄関ドア】

錠受けの調整が必要です。「錠受けの調整（玄関ドアの場合）」（→ P.162）を参照してください。

- 【スライディングドア】 【リニアシステム】

建付けの調整が必要です。お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社窓口まで相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

☎ 0120-20-4134

電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

☎ 0120-177-881

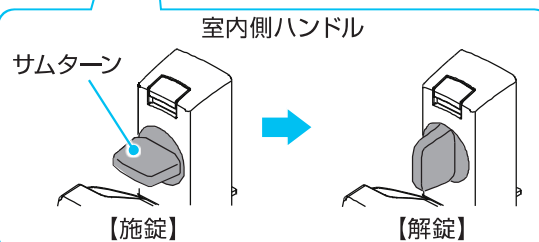
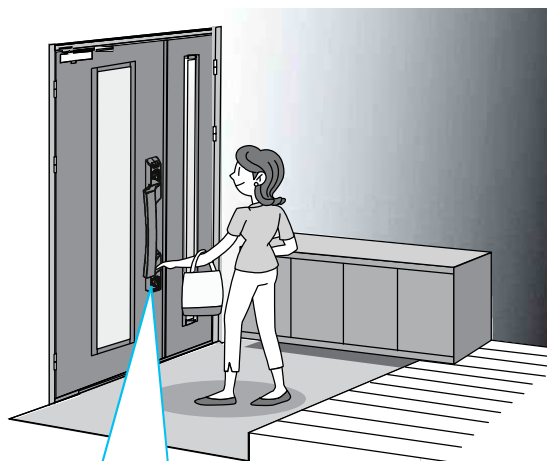
リモコンキー／タグキー／スマートフォンで施錠／解錠する

■外出時

1 サムターンをまわして解錠する

手で上下2箇所のサムターンを90°まわして解錠します。（サムターンがタテの状態）。

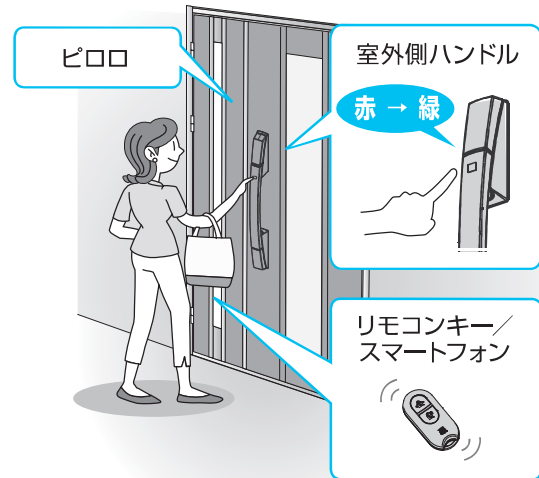
- 1箇所目のサムターンを解錠した後、ドアが開かないと50秒後に施錠状態に戻ります。（ピッキング防止機能）



2 施錠する

ハンドルボタン操作の場合

リモコンキーまたはスマートフォンを携帯した状態で、ハンドルボタンを押し、施錠します。



- スマートフォンでハンドルボタン操作をする際は、スマートフォンの Bluetooth[®] 機能を ON にして、アプリを起動しておく必要があります。
- リモコンキーとスマートフォンを登録している時、リモコンキー (2 秒) → スマートフォン (10 秒) の順で接続・認証を行います。最大 12 秒で接続・認証ができない場合、操作がキャンセルされます。
- 接続・認証中に、もう一度ハンドルボタンを押すと、操作がキャンセルされます。

〈AC100V式の場合〉

- スマートフォンを登録している場合、ハンドルボタンを押すと室外ハンドルのランプが、赤または緑で点滅します。(最大 12 秒)。
- スマートフォンの登録がない場合、ハンドルボタンを押しても室外ハンドルのランプは点滅しません。

リモコン操作の場合

リモコンキーの施錠ボタンを押す、またはスマートフォンアプリの施錠ボタンをタップして、施錠します。



タグキー／AC100V式の場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけ、施錠します。

タグキー／電池式の場合

室外側ハンドルボタンを押し、読み取り待ち受け状態にしてから、タグキーをハンドルの読み取り部に近づけ、施錠します。

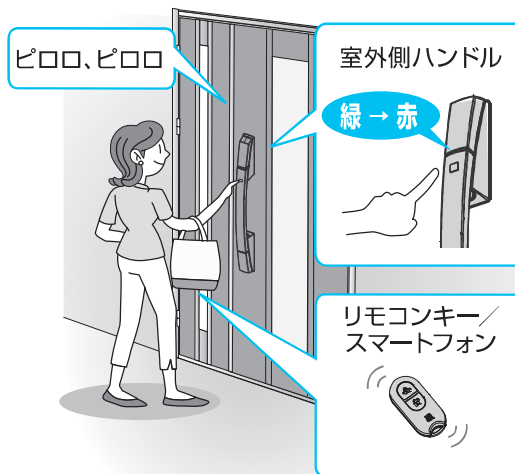
■帰宅時

1

解錠する

ハンドルボタン操作の場合

リモコンキーまたはスマートフォンを携帯した状態で、ハンドルボタンを押し、解錠します。



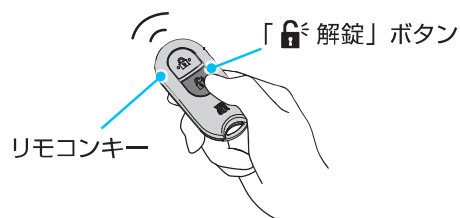
- 解錠した後、ドアが開かないと 25 秒または 50 秒後に施錠状態に戻ります。(タイマー施錠機能)
- スマートフォンでハンドルボタン操作をする際は、スマートフォンの Bluetooth® 機能を ON にして、アプリを起動しておく必要があります。
- リモコンキーとスマートフォンを登録している時、リモコンキー (2 秒) → スマートフォン (10 秒) の順で接続・認証を行います。最大 12 秒で接続・認証ができない場合、操作がキャンセルされます。
- 接続・認証中に、もう一度ハンドルボタンを押すと、操作がキャンセルされます。

〈AC100V式の場合〉

- スマートフォンを登録している場合、ハンドルボタンを押すと室外ハンドルのランプが、赤または緑で点滅します。(最大 12 秒)。
- スマートフォンの登録がない場合、ハンドルボタンを押しても室外ハンドルのランプは点滅しません。

リモコン操作の場合

リモコンキーの解錠ボタンを押す、またはスマートフォンアプリの解錠ボタンをタップして、解錠します。



タグキー／AC100V式の場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけ、解錠します。

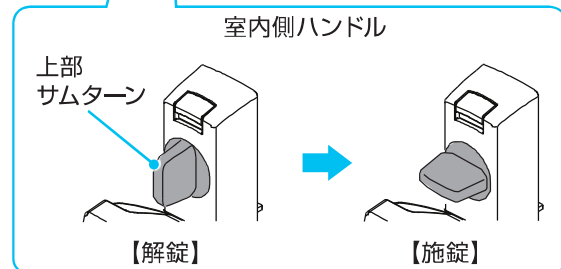
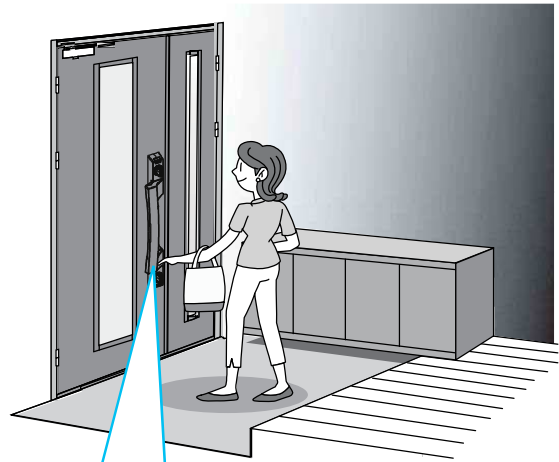
タグキー／電池式の場合

室外側ハンドルボタンを押し、読み取り待ち受け状態にしてから、タグキーをハンドルの読み取り部に近づけ、解錠します。

2 上部サムターンをまわして施錠する

手で上下2箇所の上部サムターンを90°まわして施錠します。(サムターンがヨコの状態)。

- 上部サムターンをまわすことで、下部サムターンが連動し施錠されます(連動施錠)。
- 下部サムターンをまわした場合は上部サムターンは連動しません。



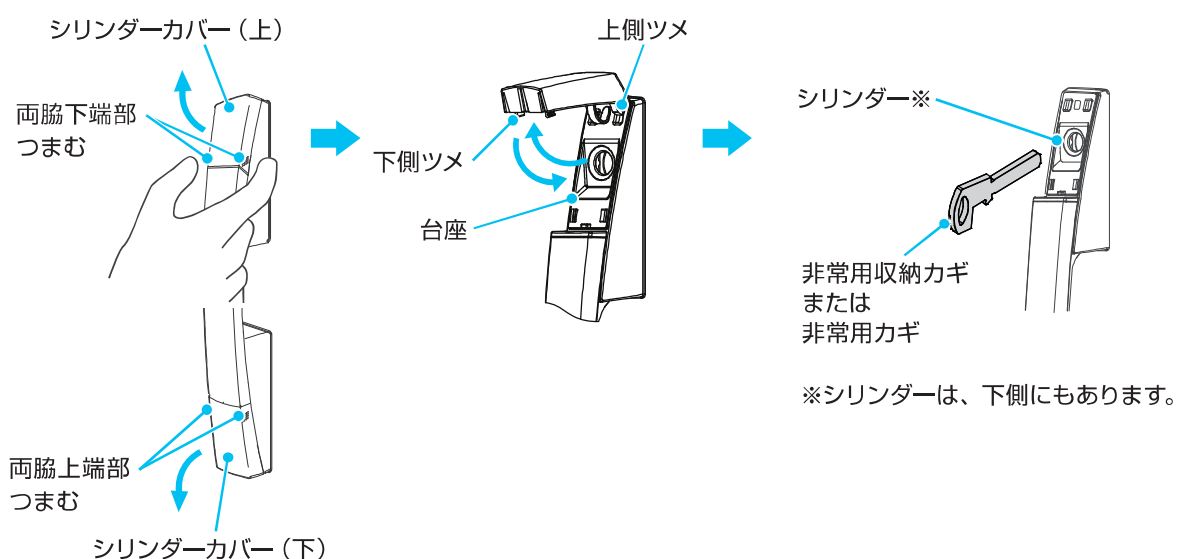
停電／電池切れの場合

停電、電池切れなどの非常時は、非常用収納カギ／非常用力ギ、サムターンをまわして手動で施錠／解錠してください。

非常用収納カギ／非常用力ギで施錠／解錠する場合

非常用収納カギ／非常用力ギで施錠／解錠する場合は、上下のシリンダーカバーをはずしてください。

●シリンダーカバーを落下させないように、ご注意ください。



※停電のタイミングにより、1つの錠のみの施錠／解錠になることがあります。

停電・電池切れなどから復旧し、電動で操作すると、ドアの錠が復旧し、通常の操作が可能になります。

停電・電池切れの際、連動施錠、ピッキング防止機能、タイマー施錠機能、自動施錠機能は停電復旧・電池交換後、最初に動作させるまで機能しません。

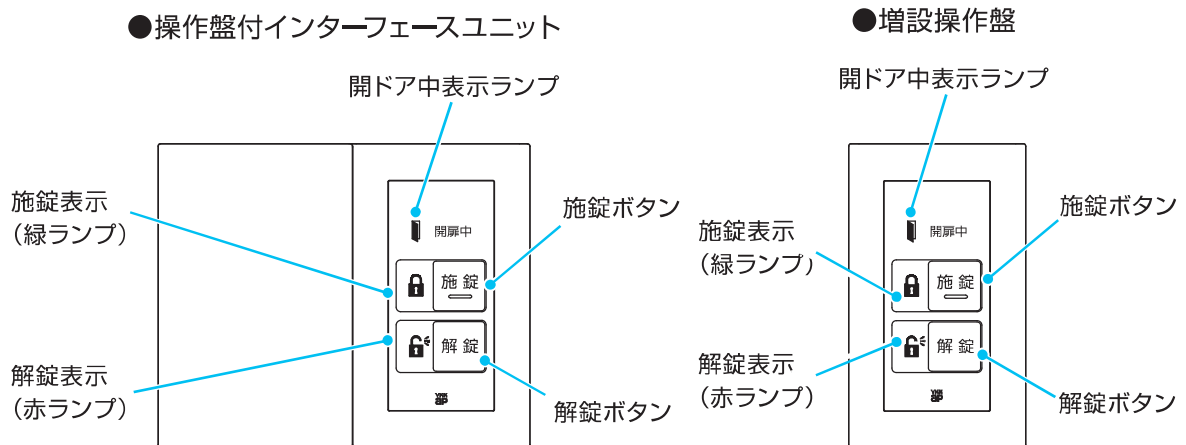
停電復旧・電池交換時に施錠／解錠動作が自動的に行われることはありません。

手動操作にて確実に施錠（解錠）を行ってください。

停電・電池切れによってリモコンキー、タグキーの登録情報が削除されることはありません。

操作盤（オプション）で施錠／解錠する （AC100V式の場合のみ）

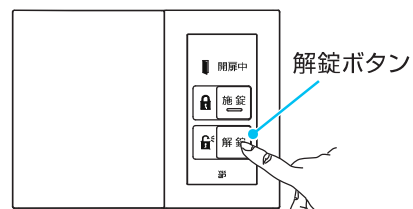
操作盤の施錠／解錠ボタンを押すと、ドアの錠が施錠／解錠されます。



解錠方法

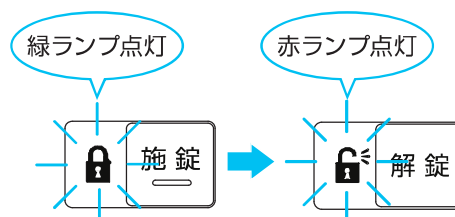
1 解錠ボタンを押す

※ ドアの錠が解錠されます。



2 解錠されたことを確認する

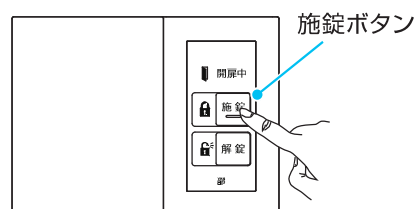
※ ドアの錠が解錠されると、施錠表示が解錠表示（赤ランプ）に切り替わります。



施錠方法

1 施錠ボタンを押す

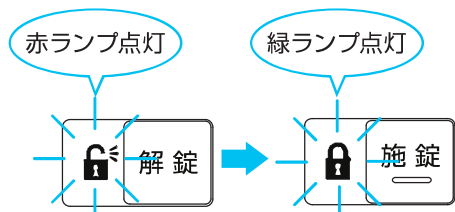
※ ドアの錠が施錠されます。



2 施錠されたことを確認する

※ ドアの錠が施錠されると、解錠表示が施錠表示（緑ランプ）に切り替わります。

※ 開ドア中ランプが点灯していると施錠できません。
開ドア中ランプはドアが開いていると点灯します。



技術資料 [仕様 (AC100V式)]

■基本仕様

使用電源	家庭用 AC100V±10V電源 50Hz/60Hz
電波法区分	小電力データ通信システム 誘導式読み書き通信設備
登録可能ID数	リモコンキー：最大8個 タグキー：最大20個 スマートフォン：最大7台（管理用：2台、一般用：5台）
使用可能温度範囲	屋外：-30℃～+80℃（凍結なきこと）、屋内：0℃～+50℃
使用可能湿度範囲	0%～90%（結露なきこと）
消費電力（待機時）	基本仕様：2.5W以下 操作盤付インターフェースユニット付きの場合：4.3W以下
消費電力（動作時）	最大20W

■リモコンキー

使用電池	コイン形電池 CR2032 (3V)
電波法区分	小電力データ通信システム
使用周波数	2.4GHz帯
使用可能温度範囲	0℃～+50℃
保存温度	-10℃～60℃
電池寿命	10回/日の操作で1年
交信距離	ハンドルボタン操作：室外側ハンドルから約20～80cm以内 リモコン操作：室外側ハンドルから約3m以内

※ 電池寿命・交信距離は使用環境・条件によって異なります。
詳しくは「知っていただきたい現象」(➡P.17)をご覧ください。

■タグキー

カード規格	ISO15693
使用周波数	13.56MHz
使用可能温度範囲	0℃～+50℃
保存温度	-10℃～+60℃
寿命（使用回数）※	10万回
読み取り距離※	室外側ハンドル読み取り部 表面から約6mm以内

※ 寿命（使用回数）・読み取り距離は使用環境・条件によって異なります。

■スマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.5.0 (LE)
出力	Bluetooth®標準規格PowerClass2
使用周波数	2.4GHz帯 (2.4000GHz～2.4835GHz)
使用Bluetooth®プロファイル	GAP/GATT

技術資料 [仕様 (電池式)]

■基本仕様

使用電池 (電池ボックス)	単3形アルカリ乾電池 4本 (リチウム乾電池も使用可)、充電式・マンガン乾電池は使用不可
電池寿命	10回/日の操作で 約1年
電波法区分	小電力データ通信システム 誘導式読み書き通信設備
登録可能ID数	リモコンキー：最大8個 タグキー：最大20個 スマートフォン：最大7台 (管理用：2台、一般用：5台)
使用可能温度範囲	屋外：-30℃～+80℃ (凍結なきこと)、屋内：0℃～+50℃
使用可能湿度範囲	0%～90% (結露なきこと)

※ 電池寿命は使用環境・条件によって異なります。

■リモコンキー

使用電池	コイン形電池 CR2032 (3V)
電波法区分	小電力データ通信システム
使用周波数	2.4GHz帯
使用可能温度範囲	0℃～+50℃
保存温度	-10℃～60℃
電池寿命	10回/日の操作で1年
交信距離	ハンドルボタン操作：室外側ハンドルから約20～80cm以内 リモコン操作：室外側ハンドルから約3m以内

※ 電池寿命・交信距離は使用環境・条件によって異なります。

詳しくは「知っていただきたい現象」(➡P.17)をご覧ください。

■タグキー

カード規格	ISO15693
使用周波数	13.56MHz
使用可能温度範囲	0℃～+50℃
保存温度	-10℃～+60℃
寿命 (使用回数)	10万回
読み取り距離	室外側ハンドル読み取り部 表面から約6mm以内

※ 寿命 (使用回数)・読み取り距離は使用環境・条件によって異なります。

■スマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.5.0 (LE)
出力	Bluetooth®標準規格PowerClass2
使用周波数	2.4GHz帯 (2.4000GHz～2.4835GHz)
使用Bluetooth®プロファイル	GAP/GATT

周波数表示について（AC100V式／電池式共通）

リモコンキー・スマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」の使用周波数は、2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）で運用されています。

- （１）本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- （２）万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかにリモコンキーおよびスマートフォン専用アプリ「スマートコントロールキー」の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
- （３）その他ご不明な点、お困りのことが起きた時は、お客様相談室までお問い合わせください。

お手入れ

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。
また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。

ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

お願い

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。

ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、
またはお客様相談室にご相談ください。

【電装商品】

お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。

電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または
お客様相談室にご相談ください。

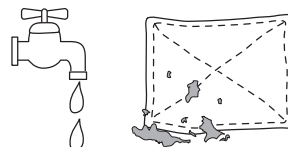
お手入れ方法

■通常のお手入れ

1

表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

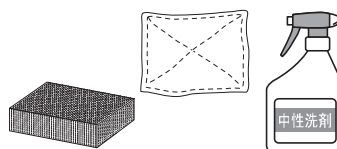


2

水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

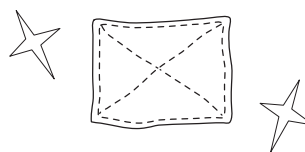
※ 水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

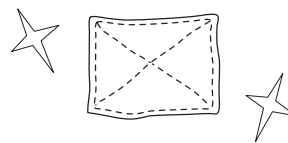


■結露・雨水などがかった場合

1

水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■リモコンキー／タグキーのお手入れ

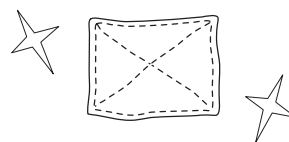
1

柔らかい布で空ぶきする

表面の汚れは、乾いた布や綿棒で軽くふき取ってください。

お願い

- リモコンキー／タグキーを水拭きしないでください。
リモコンキー／タグキーの中に水が入ると故障の原因となります。



錠受けの調整（玄関ドアの場合）

専用サイトはこちら

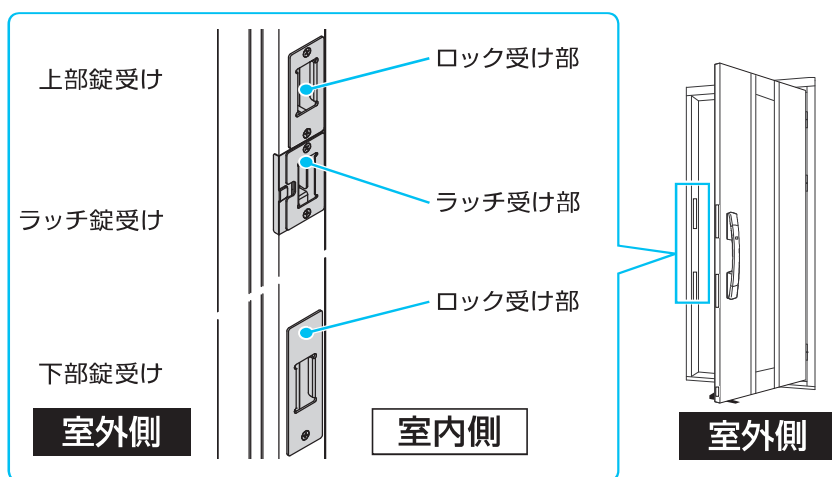
玄関ドアのロックがかかりにくくなった時は、錠受けの位置を調整してください。

商品によって錠受けの形状は異なりますが、調整方法は同じ手順となります。



お願い

- 調整は、最小限にしてください。調整時、ドアクローザの調整と併せて行ってください。（ドアクローザの調整については、「使い方&お手入れガイドブック 窓・ドア編」をご覧ください。）

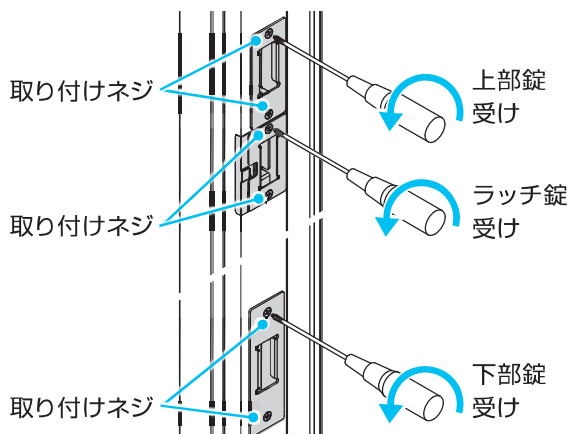


1

取り付けネジをゆるめる

錠受けの取り付けネジをゆるめます。

- ネジは絶対にはずさないでください。

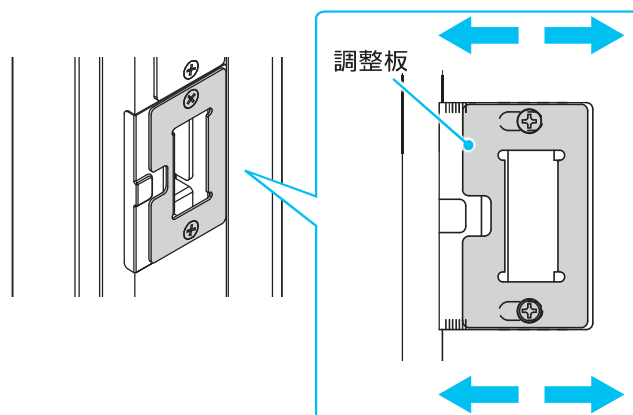


2

錠受けの位置を調整する

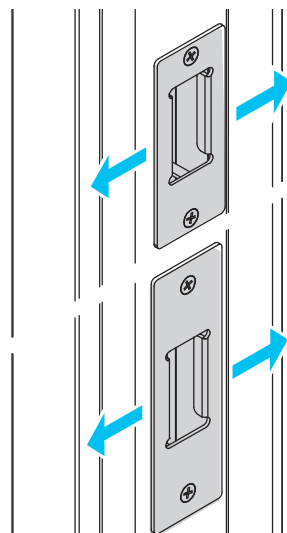
ラッチ錠受けの場合

調整板を左右に動かして右の調整範囲で調整してください。



上部錠受け、下部錠受けの場合

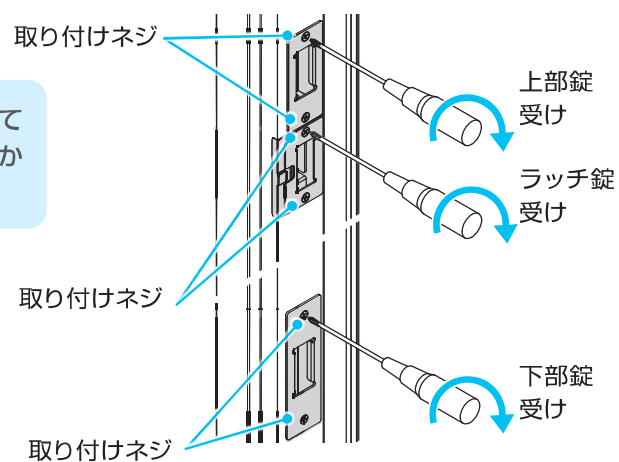
錠受け全体を左右に動かして右の調整範囲で調整してください。



3

取り付けネジをしめる

- 上下錠が錠受けへ確実におさまっていることを確認し、必ずネジをしっかり締め付けてください。



困った時には

キーを紛失した場合

万一、リモコンキー、タグキーを紛失された場合は、お手元のキーを再登録することで紛失したキーの情報が消去されますので、安心してご使用いただけます。

「登録・削除前の準備」(➡P.45)、

「登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する」(➡P.47)をご覧ください、再登録を行ってください。

※非常用収納力ギ付きのリモコンキー、タグキーを紛失した場合は、防犯配慮のため、シリンダーを交換することを推奨しています。

建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

※リモコンキーを紛失した場合は、タグキーを再登録する必要はありません。

また、タグキーを紛失した場合は、リモコンキーを再登録する必要はありません。

リモコンキーを紛失した場合

【ドア本体操作で対処する場合】

登録モードにする



使用する残りのすべてのリモコンキーを再登録する

【管理用スマートフォン操作で対処する場合】

紛失したリモコンキーを個別削除する

タグキーを紛失した場合

【ドア本体操作で対処する場合】

登録モードにする



使用する残りのすべてのタグキーを再登録する

【管理用スマートフォン操作で対処する場合】

紛失したタグキーを個別削除する

スマートフォンを紛失した場合（対処一例）

- スマートフォンを紛失した場合は紛失したスマートフォンが管理用スマートフォンか一般用スマートフォンか、ドア本体に管理用スマートフォンを何台登録しているかによって、手順が異なります。詳細は「スマートフォンを削除する」(➡ P.99) を参照してください。

【ドア本体操作で対処する場合】

削除モードにする



登録してあるすべてのリモコンキー／タグキー／スマートフォンの登録を削除する



スマートフォン登録モードにする



新たにスマートフォンを登録する

LED・ブザー音パターン/音声ガイド一覧

通常操作時の「正常な状態」の通知

音声ガイドとLEDで状態を通知します。
下記の表を参考に、状態を確認してください。

通知			状態説明	参照先
LED	ブザー音	音声ガイド		
赤点灯から緑点灯(1回)	ピッ ピロロ	-	リモコンキー、タグキー、スマートフォンで施錠操作を行った。	P.148
緑点灯から赤点滅(2回)	ピッ ピロロピロロ	-	リモコンキー、タグキー、スマートフォンで解錠操作を行った。	P.148
緑点滅	-	-	〈電池式の場合〉 ・ハンドルボタンを押し、タグキーの読み取り待ち受け状態（解錠操作）。 ・リモコンキー/スマートフォンでのハンドルボタン操作で接続・認証を行っている（解錠操作）。 〈AC100V式の場合〉 ・スマートフォンでのハンドルボタン操作で接続・認証を行っている（解錠操作）。	-
赤点滅	-	-	〈電池式の場合〉 ・ハンドルボタンを押し、タグキーの読み取り待ち受け状態（施錠操作）。 ・リモコンキー/スマートフォンでのハンドルボタン操作で接続・認証を行っている（施錠操作）。 〈AC100V式の場合〉 ・スマートフォンでのハンドルボタン操作で接続・認証を行っている（施錠操作）。	-
赤点滅 (最長10秒)	ピッピッピッピッ … (最長10秒)	リモコンキーの置き忘れがあります。	置き忘れ防止機能が作動している。 ハンドルボタン操作の作動範囲内に置き忘れているリモコンキーがある。	P.34
赤点滅 (3回×2)	ピピピ ピピピ	リモコンキーの電池を交換してください。	リモコンキーの電池が消耗している。	P.25
赤点滅 (7回)	ピピピピピピピッ	本体の電池を交換してください。 (電池式の場合)	本体の電池が消耗している。	P.29
赤点滅 (10秒間)	-	メンテナンスの時期です。	メンテナンスの時期がきている。 使用し始めてから、10年または10万回開閉している。	P.40
赤点灯	ピ——	メンテナンス通知を解除します。	点検時期お知らせ機能を終了させた。	P.40

通常操作時の「異常」の通知

音声ガイドとLEDで状態を通知します。
下記の表を参考に、状態を確認してください。

通知			状態説明	参照先
LED	ブザー音	音声ガイド		
緑と赤が交互に点滅(5秒間)	ピピピピピ	-	施錠/解錠動作に異常が発生し、停止した。	P.148
赤点滅(3回)	ピーピーピー	-	登録されていないタグキーがハンドルボタンにかざされた。	-

困った時には

登録・削除・各種設定時の「正常な状態」の通知

音声ガイドとLEDで状態を通知します。
下記の表を参考に、状態を確認してください。

通知			状態説明
LED	ブザー音	音声ガイド	
緑と赤が交互に点滅	-	-	各種設定中（管理用スマートフォンで、「本体設定・カギの管理」をタップし、パスワードを入力した）。
緑と赤が交互に点滅	-	-	各種履歴確認中（管理用スマートフォンで、「履歴（管理機能）」をタップし、パスワードを入力した）。
緑と赤が交互に点滅	-	-	商品のアップデート中（管理用スマートフォンで、ソフトウェアバージョン「！」をタップし、パスワードを入力後アップデートを開始した）。
緑と赤が交互に点滅	ピー———	登録モードです。 スマートフォン登録モードです。 追加登録モードです。 削除モードです。 自動施錠ON(OFF)です。 タイマー施錠25秒(50秒)です。 動作確認音ON(OFF)です。 ハンドルボタン操作ON(OFF)です。 音量小(大)です。	各種モードを確定し、実行中。
-	-	終了します。	各種モードを終了した。
赤緑交互の点滅が一時停止	ピッ	-	リモコンキーの施錠ボタンが押されて、仮登録の状態になった。
緑点灯(1回)	ピー——	-	タグキーが登録されたリモコンキーの解錠ボタンが押されて登録が確定された。
緑と赤が交互に点滅	ピー———	削除しました。	削除モードで削除が完了した。
-	-	削除を中止します。	削除モードがタイムアウトしキャンセルされた。

困った時には

登録・削除・各種設定時の「失敗」の通知

音声ガイドとLEDで状態を通知します。
下記の表を参考に、状態を確認してください。

通知			状態説明
LED	ブザー音	音声ガイド	
赤点滅(3回)	ピピピ	登録済みです。	すでに登録済みのリモコンキー／タグキーを登録しようとし、登録失敗した。
赤点滅(3回)	ピピピ	登録数が最大です。	最大登録数以上のリモコンキー／タグキー／管理用スマートフォン／一般用スマートフォンを登録しようとし、登録失敗した。
赤点滅(3回)	ピピピ	登録エラーです。	リモコンキー登録時にボタン操作を誤り、登録失敗した。
赤が点滅	ピー——	削除に失敗しました。	削除モードで削除に失敗した。
-	-	削除を中止します。	削除モードで操作をせずに30秒経過し、キャンセルされた。

リモコンキー／タグキー（AC100V式・電池式共通）

リモコンキー／タグキー 共通

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
施錠／解錠後に、室外側ハンドルのLEDが約10秒赤点滅し、「メンテナンスの時期です」と音声ガイドが聞こえた。	点検時期お知らせ機能が働いた。	点検（有料）を依頼されることをおすすめします。	P.178

リモコンキー

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
ハンドルボタンまたはリモコンキーの「  施錠」「  解錠」ボタンを押しても施錠／解錠されない。	停電などで製品に電源が供給されていない。	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。	P.152
	リモコンキーが作動範囲内にない。	リモコンキーが作動範囲内にあることを確認してください。	P.32
	リモコンキーの電池が切れている。	新しい電池（CR2032）に交換してください。	P.25
	リモコンキーが登録されていない。	リモコンキーを登録してください。	P.45 P.47 P.53 P.132
	家電製品や公共施設の出す電波の影響を受けている。	タグキーで施錠／解錠してください。 ※タグキーで作動する場合は、家電製品や公共施設の出す電波の影響を受けている可能性があります。	P.157
リモコンキーを持ってハンドルボタンを押しても施錠／解錠されない。	リモコンキーの置き忘れ防止機能が作動し、一時的にハンドルボタン操作に反応しなくなっている。	リモコンキーの「施錠」ボタンまたは「解錠ボタン」を押して復帰してください。	P.34
	リモコンキーがスリープモードになっている。	リモコンキーの「施錠」ボタンまたは「解錠ボタン」を押して復帰してください。	P.35
	ハンドルボタン操作が「OFF」設定になっている。	ハンドルボタン操作の設定を「ON」にしてください。	P.73 P.129

次ページへつづく

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

 0120-20-4134

 0120-177-881

リモコンキー（つづき）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
リモコンキーを持ってハンドルボタンを押しても施錠／解錠されない。	人体で電波が遮られ、リモコンキーに電波が届きにくくなっている。特に次のようにリモコンキーを持っていると電波が届きにくくなります。 ・リュックに入れ、背中に背負っている ・ズボンの後ろポケットに入れている ・リモコンキーの入れたカバンを腕で覆うように持っている ・リモコンキーを握りしめて持っている ...など	リモコンキーの持ち方を変えて操作してください。 ・ズボンの前ポケットに入れる ・リモコンキーを入れたカバンを体の前側に持ってくる	P.17
	リモコンキーを金属材質のカバンなどに入れている。 ・金属製のアタッシュケース ・アルミシートを使用した保冷バック ・金属繊維を編み込んだバック ...など	リモコンキーを布製のカバンなどに入れてご使用ください。または、カバンから取り出した状態でご使用ください。	P.17
	次に示すようなものと一緒にリモコンキーをカバンやポケットに入れて持っている。 ・金属製のキーケース ・スマートフォン、スマートフォンケース...など	金属製のものと離してリモコンキーを携帯してください。	P.17
	電波の反射や衝突(干渉)によって、電波が弱くなり、届きにくくなっている場所がある。	ハンドルボタン操作をする際の立ち位置を変えて、再度ハンドルボタンを押して施錠／解錠されるかを確認してください。	P.17
ハンドルボタンまたはリモコンキーの「  施錠」ボタンを押しても作動しない。	ドアが開いている。	ドアを閉めてください。	
ハンドルボタンまたは、リモコンキーの「  施錠」ボタンを押しても施錠しない。 [モーターの作動音がし、数秒後に「ピピピピッ!」という電子音が鳴り室外側ハンドルのランプ(赤・緑)が点滅する]	ドアが完全に閉まり切らない状態で操作したため、カギが途中で止まった。	ドアを解錠し開けた後、再度ドアが閉まったことを確認して、ハンドルボタンまたは、リモコンキーで動作の確認をしてください。 ※ サムターンでも施錠できない場合【玄関ドア】錠受け、ドアクロージの調整が必要です。 （「使い方&お手入れガイドブック 窓・ドア 編」をご覧ください） 【スライディングドア】建付けの調整が必要です。（当社営業窓口までご相談ください）	P.148

次ページへつづく

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

 0120-20-4134

電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

 0120-177-881

困った時には

リモコンキー（つづき）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
ハンドルボタンまたは、リモコンキーの「  施錠」「  解錠」ボタンを押したとき、「ピピピ、ピピピ」と音が鳴り、ハンドルのランプ（赤）が点滅する。	リモコンキーの電池が消耗している。	新しい電池（CR2032）に交換してください。	P.25
リモコンキーを所持しているのにハンドルボタンで施錠／解錠ができず、「ピッピッピッピッ…」という電子音が鳴る。	所持しているリモコンキーに振動が伝わらず、静止（置き忘れ）と判断している。	リモコンキーを少し動かしてください。	P.34
	ハンドル付近に置き忘れられているリモコンキーがある。	ハンドルボタンを押して警告を止め、置き忘れられているリモコンキーをハンドルから離れた場所で保管してください。	

タグキー

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
タグキーを室外側ハンドル読み取り部へ近づけても作動しない。	タグキーが作動範囲内にない。	室外側ハンドル読み取り部へタグキーを近接させてください。	P.32
	他ICカード、硬貨などの金属、アルミ箔や金箔などの金属と重ねて使用している。	原因となるものを重ねずご使用ください。	
タグキーを室外側ハンドルにかざすと、「ピーピーピー！」という音が鳴り、ハンドルのランプ（赤）が3回点滅する。	タグキーが登録されていない。	タグキーを登録してください。	
タグキーを近づけても解錠はするが施錠しない。	ドアが開いている。	ドアを閉めてください。	
タグキーを室外側ハンドル読み取り部へ近づけても施錠しない。 （モーターの作動音がし、数秒後「ピピピピピッ！」という電子音が鳴り、室外側ハンドルのLEDが赤色・緑色に5秒間点滅する）	ドアが完全に閉まり切らない状態で操作したため、カギが途中で止まった。	ドアを解錠し開けた後、再度ドアが閉まったことを確認してタグキーを室外側ハンドル読み取り部へ近づけてください。 ※ サムターンでも施錠できない場合 【玄関ドア】錠受け、ドアクローザの調整が必要です。 （「使い方&お手入れガイドブック 窓・ドア 編」をご覧ください） 【スライディングドア】建付けの調整が必要です。（当社営業窓口までご相談ください）	P.148

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

 0120-20-4134

電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

 0120-177-881

リモコンキー／タグキー（AC100V式）

リモコンキー

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
ハンドルボタンまたはリモコンキーの「  施錠」 「  解錠」 ボタンを押しても施錠／解錠されない。	停電などで製品に電源が供給されていない。	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。	

タグキー

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
タグキーを室外側ハンドル読み取り部へ近づけても作動しない。	停電などで製品に電源が供給されていない。	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。	

リモコンキー／タグキー（電池式）

リモコンキー

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
ハンドルボタンまたはリモコンキーの「  施錠」 「  解錠」 ボタンを押しても施錠／解錠されない。	電池切れなどで製品に電源が供給されていない。	電池をすべて新品に交換してください。	P.25 P.29
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	
	電池の向きが正しくない。	電池を正しい向きに入れてください。	
リモコンキーの「  施錠」 「  解錠」 ボタンを押しても作動しない。	電池錠の電池消耗により、一時的に使用できなくなっている。	電池錠の電池消耗警告がでていることを確認し、電池をすべて新品に交換してください。	P.29

タグキー

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
ハンドルボタンを押しても読み取り待ち受け状態にならない。	電池切れなど製品に電源が供給されていない。	電池をすべて新品に交換してください。	P.25
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	
	電池の向きが正しくない。	電池を正しい向きに入れてください。	

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、
お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

 0120-20-4134

 0120-177-881

スマートフォンアプリ（AC100V式/電池式共通）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
スマートフォンが登録できない。	登録情報が残っている。	登録情報が確実に削除されていることを確認し、登録をやり直してください。	P.176
スマートフォンのメイン画面で「近くにドアがありません」と表示される。	複数ドア（電気錠）を登録している場合、異なるドア（電気錠）を選択している。	状態確認や操作を行うドア（電気錠）を選択してください。	P.112
	ドア（電気錠）とのBluetooth®ペアリング情報が削除されている。	スマートフォンを再登録してください。	P.177
	アプリの「位置情報のアクセス」が許可されていない。	アプリの「位置情報のアクセス」を許可してください。	P.77
	スマートフォンの位置情報がOFFになっている。	スマートフォンの位置情報をONにしてください。	P.77
	スマートフォンのBluetooth®機能がOFFになっている。	スマートフォンのBluetooth®機能をONにしてください。	P.77
	ドア（電気錠）との距離が離れており、Bluetooth®で接続できていない。	ドア（電気錠）に近づきBluetooth®で接続した状態で操作を行ってください。	P.77
	〈電池式の場合〉 本体の電池が消耗している。	本体の電池を交換してください。	P.29
アプリの施錠/解錠アイコンをタップしても施解錠できない。	他のBluetooth®機器が接続されている。	イヤホンなど複数のBluetooth®が接続されていれば、切断することで解消される場合があります。	
	スマートフォンの登録情報が削除されている。	スマートフォンを再登録してください。	P.102
スマートフォンを携帯しているがハンドルボタン操作ができない。	操作しているスマートフォンのハンドルボタン操作の設定が“OFF”になっている。	操作しているスマートフォンのハンドルボタン操作の設定を“ON”にしてください。	P.119
	ハンドルボタン操作の範囲が狭くなっている。	ハンドルボタン操作の設定で操作範囲を広くしてください。	P.120
		ハンドルボタン操作の設定で操作範囲をリセットしてください。	P.121
	アプリがスリープモードになっている。	アプリのスリープモードを解除してください。	P.114
	ドアとしてのハンドルボタン操作の設定が“OFF”になっている。	本体操作または管理用スマートフォンでドアとしてのハンドルボタン操作の設定を“ON”にしてください。	P.129
	（ハンドルボタン操作に関する設定を変更しても解消されない場合） スマートフォンの登録情報が削除されている。	スマートフォンを再登録してください。	P.102

次ページへつづく

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、
お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

 0120-20-4134

電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

 0120-177-881

(つづき)

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
パスワードを入力したが「パスワードチェックエラー」と表示される。	複数ドア(電気錠)を登録している場合、異なるドア(電気錠)を選択している。	設定操作を行うドア(電気錠)を選択してください。	P.112
	ドア(電気錠)との距離が離れており、Bluetooth®で接続できていない。	ドア(電気錠)に近づきBluetooth®で接続した状態で操作を行ってください。	P.125
	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。(パスワードを紛失した場合は、管理用スマートフォンを再登録してください。)	P.102
	管理用スマートフォンの登録情報が削除されている。	管理用スマートフォンを再登録してください。	P.102
パスワードを忘れてしまった。	—	スマートフォンを再登録してください。	P.102
誤ってスマートフォンから専用アプリをアンインストールした。	—		
誤ってスマートフォンの登録情報を削除してしまった。	—		
スマートフォンを紛失・故障した。	—	紛失したスマートフォンの登録情報を削除してください。	P.59 P.134
登録しているスマートフォンの種類(管理用/一般用)を変更したい。	—	登録後のスマートフォンの種類は変更できません。種類を変更したいスマートフォンの登録を一度削除し、改めて再登録してください。	P.102
登録しているスマートフォンを機種変更したい。	—	機種変更前のスマートフォンの登録を削除し、機種変後のスマートフォンを新たに登録してください。	P.104

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、
お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

当社お客様相談室 受付時間 月～土 9:00～17:00 (日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

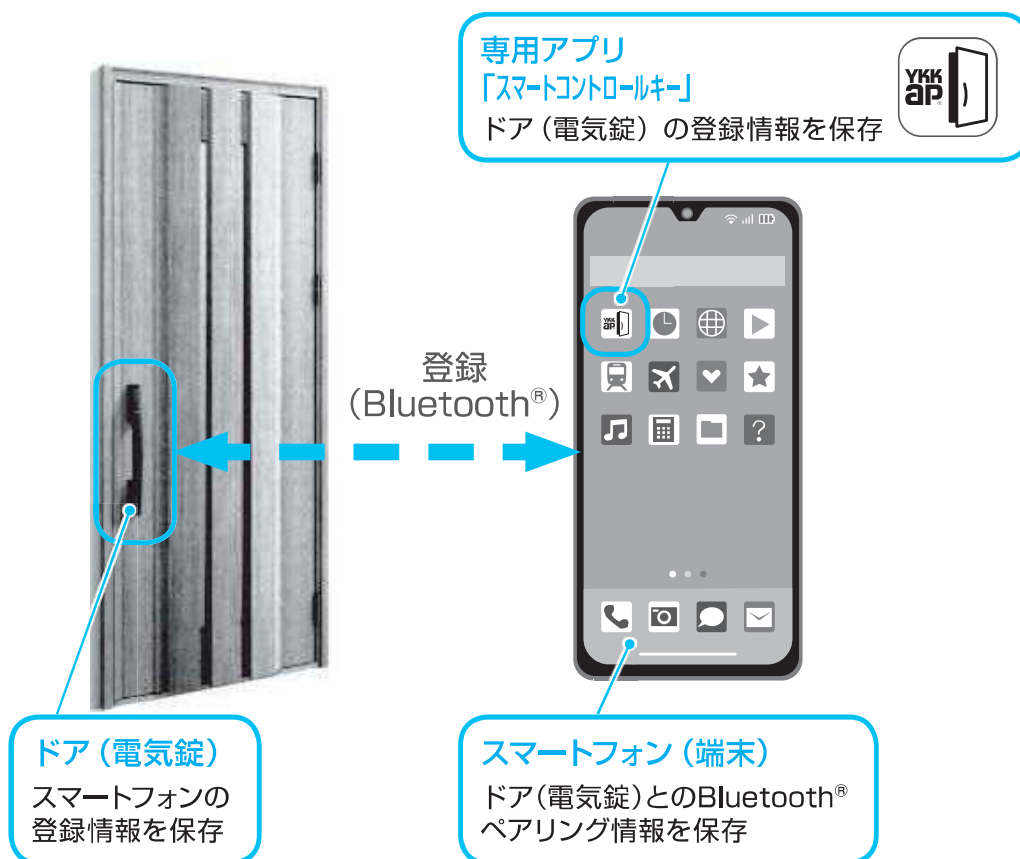
電装商品の故障・修理に関するお問い合わせ

 0120-20-4134

 0120-177-881

スマートフォンの登録情報について

スマートフォンの登録は、次のイラストに示す3つの登録情報から構成されており、それぞれ ドア（電気錠）/専用アプリ「スマートコントロールキー」/スマートフォン に保存されています。



- 3つの登録情報は「スマートフォンを登録する」(→ P.78)を行った際に、同時に保存されます。
- 3つの登録情報は、スマートフォン1台につき1セットで保存されています。
- 3つの登録情報のうち、いずれか1つでも登録情報が削除されると、そのスマートフォンでドアの操作（施錠 / 解錠、設定など）ができなくなります。誤って削除してしまった時などは、スマートフォンの再登録が必要です。
- 使用しなくなったスマートフォンの登録を削除する際は、3つの登録情報をすべて削除してください。いずれかの登録情報が削除されないままだと、スマートフォンの再登録などに支障が出る場合がございます。「スマートフォンを削除する」(→ P.99)

Bluetooth® ペ어링情報の削除

次に示す状態になったとき、お使いのスマートフォンのBluetooth® ペ어링情報を確認し、「SCK」の表示があれば、本手順書に沿って削除してください。

- ・管理用/一般用スマートフォンの登録を失敗した/中断した。
- ・アプリからドア（電気錠）を削除した。

- スマートフォンによっては Bluetooth® 機器のアドレス（英数字 12 桁）で表示される場合があります。
- 機種 / OS バージョンによっては表示が異なる場合があります。

iPhoneの場合

イラストは、イメージ図です。端末機種やOSバージョンによって表示が異なる場合があります。



Androidの場合

イラストは、イメージ図です。端末機種やOSバージョンによって表示が異なる場合があります。



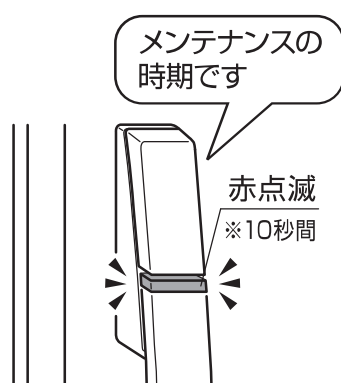
保守点検

商品点検のお知らせ

商品を長く安心してお使いいただくために定期的な点検（有料）をおすすめしています。点検をしなくても、すぐに故障するわけではありませんが、経年による機能低下や突然作動しなくなる場合があります。

お知らせ方法

施錠／解錠時に室外側ハンドルのLEDと音声ガイドでお知らせします。



お知らせ時期

お使いいただいてから10年、または10万回開閉時点のいずれか早い方です。

お知らせ期間

音声ガイドは、お知らせ開始後タグキー／リモコンキー／スマートフォンでの施錠／解錠操作10回で終了します。

室外ハンドルのLED通知は、お知らせ開始後1週間または70回開閉の遅い方で通知を終了します。

点検をご希望の方は、下記いずれかの窓口までお問い合わせください。

電装商品に関するお問い合わせ

 0120-177-881

商品のメンテナンス・修理に関するご相談

 0120-38-1134

受付時間 月～土 9:00-17:00

※日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇などを除く

キーの追加購入方法

キーは、YKK APホームページ内「パーツショップ」でオンライン購入できます。

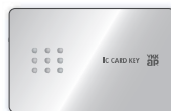
リモコンキー



タグキー



カードキー



シールキー



カードキー／シールキーは、タグキーと同様にお使いいただけます。

<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>

YKK AP | 部品 オンラインショップ
Parts SHOP



動画の案内

こちらから、キーの登録に関する動画をご覧ください。
動画は玄関ドアで説明しています

登録モードでリモコンキーを登録する
(➡P.45、P.47)



登録モードでタグキーを登録する
(➡P.45、P.47)



追加登録モードでリモコンキーを登録する
(➡P.45、P.53)



追加登録モードでタグキーを登録する
(➡P.45、P.53)



商品の保証について

商品保証とは当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理をご依頼ください。

●対象商品

☐ 一般住宅用建材商品

●保証期間

建築会社よりの引き渡し日（注）から2年間（電装部品については1年間）。

ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

（注）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

●保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する“免責事項”を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時にサッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠をこえて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出したりすることです。

- * お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は当社お客様相談室にお問い合わせください。
- * この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

- （1）商品名
- （2）商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
- （3）お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
- （4）工務店、建築会社名など
- （5）破損箇所や不具合状態

●免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- （1）当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合
（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- （2）表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- （3）建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
（例：商品を取り付けている建物の柱などが変形すること等により発生する不具合）
- （4）商品の日常の使用、機能に影響を及ぼさない部材、部品の経年変化や経年劣化
（例：商品使用期間経過に伴う消耗、磨耗、キズ、褪色、さび、かびなど）
- （5）商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合
（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温、低温、多湿による不具合など）
- （6）商品または部品の材料特性に伴う現象
（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）

- (7) 天災その他の不可抗力またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
(例：暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など)
- (8) 通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、商品発売時点で実用化されている技術では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
- (9) 小動物や虫などの害による不具合
(例：犬、猫、鳥、ねずみなどの噛みキズ、引掻きキズ等により発生する不具合)
- (10) 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例：日常のお手入れを行わないこと等により発生する不具合)
- (11) お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
(例：複層ガラス表面に図柄等含む有色のフィルムやポスターを貼ることや塗料を塗ること等により発生する不具合)
- (12) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- (13) 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
(例：窃盗を目的に家に入るため商品を破壊すること等により発生する不具合)

●補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。ただし、商品販売終了後10年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。
補修用部品に関してご不明の点がございましたら、当社お客様相談室にお問い合わせください。



- ・本書内の表示
- ・各部の名称
- ・もくじ

- ・安全上のご注意
- ・知っていただきたい現象

- ・保証書の登録
- ・電池の交換
- ・スマートコントロールキーとは
- ・各種機能の説明

- ・各モードの説明
- ・登録前の準備
- ・リモコンキー・タグキーを登録・削除
- ・リニアシステム：電源の入れ方/ 切り方

- ・各種機能の設定

- ・スマートフォン専用アプリについて
- ・スマートフォン専用アプリのインストール

- ・管理用/ 一般用スマートフォンの機能一覧
- ・管理用/ 一般用スマートフォンの登録・削除

- ・スマートフォンの画面説明
- ・施錠／解錠操作
- ・ドア（電気錠）の追加・削除

- ・各種設定
- ・カギ・パスワードの管理
- ・商品のアップデート

- ・スマートフォンの画面説明
- ・施錠／解錠操作
- ・操作盤（オプション）で施錠／解錠する
- ・仕様

- ・お手入れ時の注意事項
- ・お手入れ方法
- ・錠受けの調整（玄関ドアの場合）

- ・キーを紛失した場合
- ・LED・ブザー音パターン/ 音声ガイド一覧
- ・リモコンキー・タグキーで困った時
- ・スマートフォンの登録情報について

- ・商品点検のお知らせ
- ・キーの追加購入について

- ・商品の保証について

お客様メモ

■お問い合わせなどのために、記入しておくとう便利です。

お引き渡し日 (または入居日)	年 月 日
工務店・ 建築会社	社名 ----- TEL - -
販売店	社名 ----- TEL - -
商品名	

長期間、商品をご使用になりますと、ネジのゆるみ、ガタつきなどの不具合が発生することがあります。

そのままにしておきますと人身事故や、家財の損害などの原因になります。

対処方法が本書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

YKK AP株式会社

●表示内容は2023 年 3 月現在のものです。

ホームページ www.ykkap.co.jp/

商品に関するご相談、お問い合わせは
お客様相談室

受付時間 月～土 9:00～17:00

(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

 0120-20-4134

●お問い合わせ、ご用命は……

発行／2023年 3月（3版） Printed in Japan

No. XAAAG-K21-108A303